

科目名	時事解説		
担当教員名	岡本 卓、佐藤 公正、鈴木 弘貴、込江 雅彦		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年		ク ラ ス	
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	0
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

9・11米同時多発テロで幕が開いた混迷の21世紀は、各地での武力紛争を抱えたまま早くも十分の一が過ぎようとしている。

2008年後半に入ってアメリカ発の金融不安がアメリカの繁栄を支えてきたビッグ3＝自動車産業を直撃。“アメリカ失墜”の衝撃はアメリカ国内に留まらず、全世界の経済、産業に深刻な影響を及ぼし、未曾有の事態を招来した。日本も例外ではなく、日々の生活を支える雇用もこれまで経験したことのない深刻な事態に見舞われている。一方、地球温暖化問題は待たなしの取り組みが求められているにもかかわらず、先進国側と新興国側との溝が埋められず、効果的な対策作りは遅々として進まない。

内外のメディアは、こうした複雑で難解な諸問題についてさまざまな情報を発信し続け、我々は情報の洪水の中から、真に必要なものを的確に選び出さなければならない。そのためにも我々は、いわゆるメディアリテラシーを身につけることを求められているのである。

この授業では、政治や経済、社会問題、国際関係など、それぞれのテーマを専門とする教員が、その時々タイムリーな出来事(ニュース)を取り上げて、その意味するところや問題点、歴史的な背景、今後の展望などについて解説する。これによって、日々のニュースについてその歴史的、国際的な視点に立った多角的な分析を可能にし、現代を生きる我々に不可欠な「複眼」思考を養うものとする。

#### 内容

時事的なテーマを決めて毎回、完結した授業を行う。

08年度の例では、「“ギョーザ事件”と食の安全」「サブプライムローン問題と世界経済」「裁判員制度」「米大統領選挙」「論議を呼ぶ死刑制度」「18歳成人問題」「福田内閣と政局」「後期高齢者医療制度と老人保健制度」「環境問題」「洞爺湖サミット」「自殺社会」「靖国問題」「北朝鮮問題」「リ・マンショック」「日本の安全保障」などを取り上げた。

#### 授業の進め方

毎回の授業で、翌週のテーマと担当教員を予告する(第1回は授業のガイダンスを兼ねて行うので、あらかじめテーマを示すことはない)

受講生は、そのテーマについて参考図書や新聞記事、インターネットの情報検索などで調べ、その結果を「予習レポート」としてまとめ、授業開始直前に教室で提出する(用紙はA4版、前の週に配布する)

授業終了のおよそ10分前に、その日の授業内容の理解度をみるための「ミニテスト」を行う。「ミニテスト」用紙は授業前に各受講生に配布する。

#### 評価

毎回提出する「予習レポート」=40点、ミニテスト=30点、出席=30点 計100点、60点以上が合格

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

テーマに即した資料を配布するほか、必要に応じて参考図書などを紹介する。

科目名	時事解説		
担当教員名	岡本 卓、佐藤 公正、鈴木 弘貴、込江 雅彦		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年		ク ラ ス	
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	0
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

9・11同時多発テロで幕が開いた混迷の21世紀は、各地での武力紛争を抱えたまま早くも十分の一が過ぎようとしている。

2008年後半に入ってアメリカ発の金融不安がアメリカの繁栄を支えてきたビッグ3＝自動車産業を直撃。“アメリカ失墜”の衝撃はアメリカ国内に留まらず、全世界の経済、産業に深刻な影響を及ぼし、未曾有の事態を招来した。日本も例外ではなく、日々の生活を支える雇用もこれまで経験したことのない深刻な事態に見舞われている。一方、地球温暖化問題は待たなしの取り組みが求められているにもかかわらず、先進国側と新興国側との溝が埋められず、効果的な対策作りは遅々として進まない。

内外のメディアは、こうした複雑で難解な諸問題についてさまざまな情報を発信し続け、我々は情報の洪水の中から、真に必要なものを的確に選び出さなければならない。そのためにも我々は、いわゆるメディアリテラシーを身につけることを求められているのである。

この授業では、政治や経済、社会問題、国際関係など、それぞれのテーマを専門とする教員が、その時々タイムリーな出来事（ニュース）を取り上げて、その意味するところや問題点、歴史的な背景、今後の展望などについて解説する。これによって、日々のニュースについてその歴史的、国際的な視点に立った多角的な分析を可能にし、現代を生きる我々に不可欠な「複眼」思考を養うものとする。

#### 内容

時事的なテーマを決めて毎回、完結した授業を行う。

08年度の例では、「“ギョーザ事件”と食の安全」「サブプライムローン問題と世界経済」「裁判員制度」「米大統領選挙」「論議を呼ぶ死刑制度」「18歳成人問題」「福田内閣と政局」「後期高齢者医療制度と老人保健制度」「環境問題」「洞爺湖サミット」「自殺社会」「靖国問題」「北朝鮮問題」「リ・マンショック」「日本の安全保障」などを取り上げた。

#### 授業の進め方

毎回の授業で、翌週のテーマと担当教員を予告する（第1回は授業のガイダンスを兼ねて行うので、あらかじめテーマを示すことはない）

受講生は、そのテーマについて参考図書や新聞記事、インターネットの情報検索などで調べ、その結果を「予習レポート」としてまとめ、授業開始直前に教室で提出する（用紙はA4版、前の週に配布する）

授業終了のおよそ10分前に、その日の授業内容の理解度をみるための「ミニテスト」を行う。「ミニテスト」用紙は授業前に各受講生に配布する。

#### 評価

毎回提出する「予習レポート」＝40点、ミニテスト＝30点、出席＝30点 計100点、60点以上が合格

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

テーマに即した資料を配布するほか、必要に応じて参考図書などを紹介する。

科目名	身体表現制作ワークショップ		
担当教員名	飯田 路佳		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年		ク ラ ス	
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	0
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

「身体表現制作」を履修する学生はダンスに関する理論と実技を学び、1年かけて数々のダンスパフォーマンスの作品をつくりあげること挑戦する。

身体表現・ダンスは、人間の精神面と身体面を同時に発育調和させる最適な身体文化である。ダンスの技術はもちろんのこと、ダンスに関する様々な理論をも理解し、心身共に健やかで生き生きとした生活を生涯にわたって、計画的、継続的に行っていけることをねらいとする。

同時に、仲間と協力しあい、つくりあげていく中での協調性、思いやりなどの情緒面や社会的環境における自分という意味でもステップアップしていけるような各々の意識が重要となる。

また、コミュニティダンス(地域の人々が健康のために行っているダンス)を広め、指導にあたるインストラクター( )を目指す人のための授業内容をおりこむ。

(社)日本女子体育連盟ダンスムーブメント(ダンス的運動)インストラクターライセンスの受検資格が得られる。

#### 内容

ヒップホップ、エアロビクスダンス、ジャズダンス等基本のエクササイズからからだの各部の動かし方を体験し、リズムにのる楽しさを身に付ける。ここでは作品づくりに必要な工夫するための基礎から応用へと進める。

- 1) 基本の動き
- 2) からだの各部位の動かし方
- 3) 空間、強度などのバリエーション
- 4) フィーリングをいかした動き
- 5) 授業の成果...桐華祭に発表

#### 評価

出席状況(80%)、授業時の課題に対する意欲、関心、態度(20%)など総合的に評価

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	身体表現制作ワークショップ		
担当教員名	飯田 路佳		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年		ク ラ ス	
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	0
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

「身体表現制作」を履修する学生はダンスに関する理論と実技を学び、1年かけて数々のダンスパフォーマンスの作品をつくりあげること挑戦する。

身体表現・ダンスは、人間の精神面と身体面を同時に発育調和させる最適な身体文化である。ダンスの技術はもちろんのこと、ダンスに関する様々な理論をも理解し、心身共に健やかで生き生きとした生活を生涯にわたって、計画的、継続的に行っていけることをねらいとする。

同時に、仲間で協力しあい、つくりあげていく中での協調性、思いやりなどの情緒面や社会的環境における自分という意味でもステップアップしていけるような各々の意識が重要となる。

また、コミュニティダンス(地域の人々が健康のために行っているダンス)を広め、指導にあたるインストラクター( )を目指す人のための授業内容をおりこむ。

(社)日本女子体育連盟ダンスムーブメント(ダンス的運動)インストラクターライセンスの受検資格が得られる。

#### 内容

IIでは、Iで学んだ各部位の動きやフィーリングをいかした動きなどをもとに、作品づくりにも挑戦する。受講者個々の得意なジャンルや好きな動きを発展させ、音楽に乗って動くことの楽しさ、協力し合うことの充実感、作品をつくりあげる達成感などを得るように努力していく。

- 1) 基本の動き
- 2) からだの各部位の動かし方
- 3) 空間、強度などのバリエーション
- 4) フィーリングをいかした動き
- 5) 空間的・時間的構成

#### 評価

出席状況(80%)、授業時の課題に対する意欲、関心、態度(20%)など総合的に評価

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	コミュニケーションの心理学		
担当教員名	綿井 雅康		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年		ク ラ ス	
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	0
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

私たちが日常生活のなかで何気なく行っている様々なコミュニケーション活動(友だちと会話をする、手紙を書く、携帯電話でメールをする、電話で話す、雑誌を読む、テレビを見る、ゼミなどで発表する、アルバイトで接客をする、授業のレポートを作成する)について、心理学の視点から客観的にとらえ直してみる。

コミュニケーション活動とは、メッセージを送る人と受け取る人によって行われる行動であり、メッセージという情報が表現され伝達され受容され理解されるというプロセスからなるものである。このプロセスのなかで、人間がどのような行動を行っているのか、心や行動にどのような影響を及ぼすのか、について明らかにされている心理学的なメカニズムや法則性を中心に述べる。

私たちが普通に行っている行動に影響を及ぼす心理的な要因について、論理的かつ分析的に理解する知識を身につけるとともに、行動の潜在的な意味や目的を客観的に考える態度や視点を養ってほしい。

#### 内容

- 対人コミュニケーションの成立
  - コミュニケーションの概念と基本構成要素
  - 対人コミュニケーションの特徴
- 言語・非言語によるコミュニケーション
  - コミュニケーションにおける言語の特徴
  - 非言語メディア ・身体動作と空間行動
- 自分を知らせるコミュニケーション(自己開示)
  - 自己開示の概念と領域
  - 自己開示が果たす機能
- 自分を演出するコミュニケーション(自己呈示)
  - 自己呈示と社会的スキル
  - 防衛的自己呈示と主張的自己呈示
- 人々を動かすコミュニケーション(要請承諾・説得)
  - 説得的コミュニケーションと態度変容
  - 説得の効果を左右する要因 ・要請技法

#### 評価

授業内の小課題20点、期末テスト70点、その他10点の計100点満点により評価を行う。

評価基準となる学習到達目標は、1)教科書の記述内容を理解しようと努力したか、2)コミュニケーション行動に関するメカニズムや法則性を理解したか、3)コミュニケーション行動に関する理論を日常生活での行動に適用して説明できるかである。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】 深田博己著 『インターパーソナルコミュニケーション』 北大路書房



科目名	イギリス文学		
担当教員名	宮本 正治		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年		ク ラ ス	
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	0
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（英語） / 中学校教諭一種免許状（英語） / マスメディアコース		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

イギリスの女性作家、ジェイン・オースティン（Jane Austen, 1775-1817）の小説を読みます。主なテーマは結婚です。およそ200年前の作品であるにもかかわらず、オースティンの登場人物たちの結婚観には、現代の私たちにも興味深い点が多いと思います。当時のイギリスの社会状況や文化的な背景を学びながら、作家の主張を読み解いていきます。

## 内容

『高慢と偏見』Pride and Prejudice (1813)を読みます。毎週、受講者は翻訳を読み、物語を理解してこることが必要です。授業では、その内容を発表してもらい、確認したうえで、DVD資料によって視覚的にイメージできるようにします。授業時間内で原書をすべて読むことはできないので、重要な箇所のみプリントで配布して読み、作品の解釈につなげていきたいと思っています。

## 評価

出席：30%、参加態度・発表：30%、テスト：40%

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】ジェイン・オースティン『高慢と偏見』（上・下）、中野康司訳、ちくま文庫、各950円

科目名	キャリアサポート		
担当教員名	若山 皖一郎、岡本 卓、橋本 ヒロ子、森 美栄		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年		ク ラ ス	
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	0
資 格 関 係			

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

大学時代は自分が社会とどのようなつながりを持つか、それを探る重要な時期である。社会と関わる力やイメージを、具体的に社会で活躍する人々の話を通して学んでいくこのキャリアサポート（社会人入門）では、社会人として様々な領域、立場で仕事や活動をする人々に登場してもらい、行き方や仕事とどのようにかかわり地域で、社会で、職場で活動している様子を語ってもらう。多様に活動する社会人たちの状況を知ることから、社会生活、キャリアについての自己イメージを高め、就職活動への積極的な取り組みにつなげると同時に、社会に進出する大学生としてのキャリアプランや職業イメージを高めることに役立てて欲しい。

#### 内容

##### 第1・2回

社会人として登壇する人々の具体的なプログラム紹介。同時に、話をより有効に聞くために、その辞典での自己分析や自分のキャリアプランを想定してみる。自分自身のウォーミングアップを行う。

##### 第3回以降

様々な領域、立場で活動する社会人が登壇（下記例示。具体的なプログラムは第1回に紹介）。大学生時代、社会とのかかわり、職業や人との出会い、転職や結婚・子育てとの両立など、歩んできた行き方を語る。

- ・地域・国際ボランティアで活動する人
- ・情報に関して企業を起こした起業家
- ・ファミリー・フレンドリー企業で働く女性/仕事と家庭両立の制度利用
- ・SE職や販売・営業職として
- ・広告制作など企画部門に関わる
- ・企業管理職の立場から
- ・マスコミ関係者
- ・企業内の開発グループや事務職

第1回に行った自分のキャリアプランが社会人の話を聞いてどのように変化したかを捉える。

#### 評価

出席状況（50点）、登壇者の話に基づく「気づきレポート」の提出（40点）、最後のレポート（10点）を総合して評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業時に紹介

科目名	卒業研究		
担当教員名	萩原 昌好		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年		ク ラ ス	2Jクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	0
資 格 関 係			

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

卒業研究とは、言うまでもなく学士という学位の請求論文である。そのため、（１）先行文献、（２）研究主題、（３）独自の見解の三点を特に重視した授業を行う。また必要に応じて合宿を行い、卒論の遅れとその一層の充実を図る。

#### 内容

<ねらい>を達成するには、それらへの方法論を身につけなくてはならない。前期の においては全体的なものを扱い、は個別指導に移る。やり方としては、（１）主題（研究課題）のあり方、（２）方法論の是非、（３）独自性の発見、創造ということであるが、過去に創作作品もあったので、例外的にこれを扱うこともある。

要は、レベルをどの様に高めるか、ということである。

#### 評価

本人の意欲と、その成果如何による。但し、止むを得ない場合を除き、出席50点、卒論50点で卒論ゼミに出席しないものはこれを評価しない。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

それぞれの卒論テーマに応じた先行文献、論文等の指示表現の方法に適したものをその都度指示する。

科目名	言語表現論		
担当教員名	赤間 恵都子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

社会的な生活に必要なコミュニケーションの基本は「ことば」である。人類は「ことば」を得、文字を得ることによって格段の進歩をとげた。「ことば」による行為には「聞く・読む・話す・書く」があるが、それらの行為を自覚的な表現として考えたことがあるだろうか。

本講座では、日本に文字が輸入され、それが日本語として使用されるようになるまでの歴史や日本語の特質を学びながら、実践的な言語表現力を身に付ける。特に「書く」に重点を置き、他者に分かりやすく物事を伝えることのできる文章力を養成することを目標とする。具体的には、文章に関する問題やテーマに沿った作文に取り組みながら、文章によって自らの思いを正確かつ具体的に他人に伝える方法を学ぶ。

#### 内容

半期を通して、以下のような内容を講義し、実習する。

- 1、ことばを知る(同音異義語・同訓意義語・四字熟語・慣用表現・ことわざ等)
- 2、敬語表現を使う(尊敬語・謙譲語・丁寧語)
- 3、文章を書く
  - 文章の要約
  - 文章表現の技術(句読点・語順・接続詞・文の長さ・段落分け等)
  - 作文(原稿用紙の使い方・推敲と校正)
  - 手紙文(葉書・手紙・封筒)
- 4、文章問題を解く

実際に文章を書き、書いた文章を自ら校正したり、互いに評価しあう時間も取り入れたい。

#### 評価

出席と授業態度が30点、授業時に行うテストと提出する課題を70点とし、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

開講後、指示する。

科目名	言語表現論		
担当教員名	中川 秀太		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	1	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

大学生・社会人になると、他人とのコミュニケーションの機会が格段と増え、それぞれの場にふさわしい言葉の使い方が、会話にも文章にも求められるようになります。特に文章では、会話には見られない約束事や注意事項が多いため、授業では書き言葉を重視したいと考えています。人に見せることのない(手書きの)日記などであればともかく、普通、文章は自分以外の読み手を意識して書くものであり、わかりやすさが大事です。自分が書きたい文章、ではなく、他人に読んでもらえる文章を書くために必要な、基本的知識を学んでいただきたいと思います。

#### 内容

ガイダンス(日本語と言文一致,文字の種類など)

敬語の基礎

メールの書き方

説明の手順

アンケートのとり方

資料の読みとり

使いたくない言葉(誤用表現,陳腐な言い回し,手垢のついた決まり文句など)

レポートの書き方1

レポートの書き方2

文章校正の方法

面接の心がまえ

小論文の書き方

記号・人称の特徴と効果

エッセイ・ブログ

学期末課題

#### 評価

出席30点,授業中の課題20点,学期末の課題50点。60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】橋本修ほか編著『大学生のための日本語表現トレーニング』三省堂

科目名	文章表現コミュニケーション		
担当教員名	松本 侑壬子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、前期は、松本、岡本、松永、大西の4クラスが、後期は、松本、岡本、松永、鈴木の4クラスが設定されている。

同一科目ではあるが、各クラスごとに、ねらいと進め方が異なるので、それぞれの担当者のシラバスをよく読んでおくこと。

ただし、履修登録に際しては、事前に人数調整をする。詳細はオリエンテーションの際に説明する。人数調整後のクラス分けは掲示するので、そこで決められたクラス以外に履修登録をしても無効になる点に注意していただきたい。

#### 内容

文章を書くことに対する苦手意識あるいは恐怖心をなくすことから始めます。この世に二人といない自分自身の心のうちを、まず自分で覗き込み、自分を発見し、その自分を他人に分かってもらうための工夫をする、という手順です。授業では、始めは技術以前の自己表現としての書く意欲、書くための最低限必要な約束事を身に着け、さらに目的別の文章表現技術へと進みます。書くだけでなく、声に出して読む・耳で聞いて理解することも重要な文表現の手段です。いい本(文章)を多く読み、工夫しながらたくさん書く努力は、必ず報われます。書いたことが他人に伝わる喜び。その上で、文章を書くのは楽しいよ、と思えるようになれば最高ですね。

#### 評価

授業中に書く文章やレポート = 60 点、出席率 + 授業への取り組み = 40 点 計100 点で60 点以上を合格とします。詳細については担当教員が最初に説明します。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業中に指示します。

科目名	文章表現コミュニケーション		
担当教員名	松永 修一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、前期は、松本、岡本、松永、大西の4クラスが、後期は、松本、岡本、松永、鈴木の4クラスが設定されている。

同一科目ではあるが、各クラスごとに、ねらいと進め方が異なるので、それぞれの担当者のシラバスをよく読んでおくこと。

ただし、履修登録に際しては、事前に人数調整をする。詳細はオリエンテーションの際に説明する。人数調整後のクラス分けは掲示するので、そこで決められたクラス以外に履修登録をしても無効になる点に注意していただきたい。

#### 内容

\*参加型のアクティブラーニングで授業を進めます。

企業でも有効なコミュニケーションツールとして使われるようになったMind-mapを用い、自分の考えを言語化し、見える状態にすることから始めます。

まずは、自分の思い・考えを文字化し、伝えあうことを参加型のワークセッションを行いながら進めます。まずは、伝えることの楽しさを異種との交流を通して実感してもらいます。

授業の中で扱うテーマとしては

to doリストの作成

文章化による問題発見・解決方法育成

こだわり発見

異種理解

などをステップを踏みながら進んでいきます。

皆さんの積極的な参加を希望します。

#### 評価

授業中に書く文章やレポート = 60 点、出席率 + 授業への取り組み = 40 点 計100 点で60 点以上を合格とします。詳細については担当教員が最初に説明します。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業中に適宜伝えます。

科目名	文章表現コミュニケーション		
担当教員名	大西 正行		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	10クラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、前期は、松本、岡本、松永、大西の4クラスが、後期は、松本、岡本、松永、鈴木の4クラスが設定されている。

同一科目ではあるが、各クラスごとに、ねらいと進め方が異なるので、それぞれの担当者のシラバスをよく読んでおくこと。

ただし、履修登録に際しては、事前に人数調整をする。詳細はオリエンテーションの際に説明する。人数調整後のクラス分けは掲示するので、そこで決められたクラス以外に履修登録をしても無効になる点に注意していただきたい。

#### 内容

いざ実社会に出た時、「どのような言葉、文章で自分を表現したら、周囲や上司に信頼される人材として認められるか」に授業の主眼を置きます。そのために手紙の書き方(御礼、お詫び等のケース)をはじめ、就職活動に直結する自己PR等の文章の指導・添削等を通して、コミュニケーション能力の向上を図ります。

実社会では、敬語の使い方はもとより、使わない不快な言葉等への認識がその人の評価に直接つながります。授業では、まず常識豊かな大人の表現の型を身に付けてもらい、その土台の上に「自分の気持ち、考え方を相手にどう伝えたらよいか」を学び、自分の周囲のみならず、ビジネスシーンにも対応できるコミュニケーション力を養います。

#### 評価

授業中に書く文章やレポート=60点、出席率+授業への取り組み=40点 計100点で60点以上を合格とします。詳細については担当教員が最初に説明します。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業中に指示します。



科目名	文章表現コミュニケーション		
担当教員名	岡本 卓		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	1Dクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、前期は、松本、岡本、松永、大西の4クラスが、後期は、松本、岡本、松永、鈴木の4クラスが設定されている。

同一科目ではあるが、各クラスごとに、ねらいと進め方が異なるので、それぞれの担当者のシラバスをよく読んでおくこと。

ただし、履修登録に際しては、事前に人数調整をする。詳細はオリエンテーションの際に説明する。人数調整後のクラス分けは掲示するので、そこで決められたクラス以外に履修登録をしても無効になる点に注意していただきたい。

#### 内容

「きちんとした文章」とはどんな文章のことを言うのでしょうか。それは、その文章を何のために、誰のために書くのか、という書く目的に沿って自分の書きたいことが過不足なく書かれているか、それを読んだ人が正しく理解してくれるか、ということではないでしょうか。レポートでも手紙でも、きちんとした文章が書けるようになるには、良書をたくさん読んでたくさん書くことが重要です。授業ではいろいろな題で文章(小論文)を書き、翌週、添削したものを返却します。

#### 評価

授業中に書く文章やレポート = 60 点、出席率 + 授業への取り組み = 40 点 計100 点で60 点以上を合格とします。詳細については担当教員が最初に説明します。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業中に指示します。

科目名	文章表現コミュニケーション		
担当教員名	松本 侑壬子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、前期は、松本、岡本、松永、大西の4クラスが、後期は、松本、岡本、松永、鈴木の4クラスが設定されている。

同一科目ではあるが、各クラスごとに、ねらいと進め方が異なるので、それぞれの担当者のシラバスをよく読んでおくこと。

ただし、履修登録に際しては、事前に人数調整をする。詳細はオリエンテーションの際に説明する。人数調整後のクラス分けは掲示するので、そこで決められたクラス以外に履修登録をしても無効になる点に注意していただきたい。

#### 内容

文章を書くことに対する苦手意識あるいは恐怖心をなくすことから始めます。この世に二人といない自分自身の心のうちを、まず自分で覗き込み、自分を発見し、その自分を他人に分かってもらうための工夫をする、という手順です。授業では、始めは技術以前の自己表現としての書く意欲、書くための最低限必要な約束事を身に着け、さらに目的別の文章表現技術へと進みます。書くだけでなく、声に出して読む・耳で聞いて理解することも重要な文表現の手段です。いい本(文章)を多く読み、工夫しながらたくさん書く努力は、必ず報われます。書いたことが他人に伝わる喜び。その上で、文章を書くのは楽しいよ、と思えるようになれば最高ですね。

#### 評価

授業中に書く文章やレポート = 60 点、出席率 + 授業への取り組み = 40 点 計100 点で60 点以上を合格とします。詳細については担当教員が最初に説明します。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業中に指示します。

科目名	文章表現コミュニケーション		
担当教員名	松永 修一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、前期は、松本、岡本、松永、大西の4クラスが、後期は、松本、岡本、松永、鈴木の4クラスが設定されている。

同一科目ではあるが、各クラスごとに、ねらいと進め方が異なるので、それぞれの担当者のシラバスをよく読んでおくこと。

ただし、履修登録に際しては、事前に人数調整をする。詳細はオリエンテーションの際に説明する。人数調整後のクラス分けは掲示するので、そこで決められたクラス以外に履修登録をしても無効になる点に注意していただきたい。

#### 内容

このクラスでは、論理的な文章を書くことをトレーニングする。論理的な文章とは、読み手に対し、自説を誤解されことなく、説得的に展開する文章のことである。そのために必要な材料、構成、修辞などについて、ワークシートなどを使いながら実践的に習得していく。将来、企画書、レポート、論文などを書く際に有益な内容を目指している。

#### 評価

授業中に書く文章やレポート = 60 点、出席率 + 授業への取り組み = 40 点 計100 点で60 点以上を合格とします。詳細については担当教員が最初に説明します。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業中に指示します。

科目名	文章表現コミュニケーション		
担当教員名	鈴木 弘貴		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、前期は、松本、岡本、松永、大西の4クラスが、後期は、松本、岡本、松永、鈴木の4クラスが設定されている。

同一科目ではあるが、各クラスごとに、ねらいと進め方が異なるので、それぞれの担当者のシラバスをよく読んでおくこと。

ただし、履修登録に際しては、事前に人数調整をする。詳細はオリエンテーションの際に説明する。人数調整後のクラス分けは掲示するので、そこで決められたクラス以外に履修登録をしても無効になる点に注意していただきたい。

#### 内容

\*参加型のアクティブラーニングの手法を用い授業を進めます。

自分の考えをより効果的に相手に理解してもらうためのコミュニケーション能力の向上のためのトレーニングを行います。論理的思考、論理的文章作成、伝わる文章の作成を訓練を積み重ねることにより身につけてもらいます。前期習得したビジネスツールMind-mapをもとに様々なジャンルの文章を作成していきます。

文章化によるPlan Do Chack Actionのサイクルの定着

効果的なメール作成法、就職活動用エッセイ作成、お礼文作成など実用的な文章作成技法を身につけることを目標とします。

ワークショップ形式のグループセッションも併せて行っていきます。

#### 評価

出席3割、提出物6割、その他1割,総合的に判断する。

\*詳しい評価基準は、1回目の授業でのオリエンテーション時に説明を行う。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	文章表現コミュニケーション		
担当教員名	岡本 卓		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	2Dクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、前期は、松本、岡本、松永、大西の4クラスが、後期は、松本、岡本、松永、鈴木の4クラスが設定されている。

同一科目ではあるが、各クラスごとに、ねらいと進め方が異なるので、それぞれの担当者のシラバスをよく読んでおくこと。

ただし、履修登録に際しては、事前に人数調整をする。詳細はオリエンテーションの際に説明する。人数調整後のクラス分けは掲示するので、そこで決められたクラス以外に履修登録をしても無効になる点に注意していただきたい。

#### 内容

「きちんとした文章」とはどんな文章のことを言うのでしょうか。それは、その文章を何のために、誰のために書くのか、という書く目的に沿って自分の書きたいことが過不足なく書かれているか、それを読んだ人が正しく理解してくれるか、ということではないでしょうか。レポートでも手紙でも、きちんとした文章が書けるようになるには、良書をたくさん読んでたくさん書くことが重要です。授業ではいろいろな題で文章(小論文)を書き、翌週、添削したものを返却します。

#### 評価

授業中に書く文章やレポート = 60 点、出席率 + 授業への取り組み = 40 点 計100 点で60 点以上を合格とします。詳細については担当教員が最初に説明します。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業中に指示します。

科目名	音声表現コミュニケーション		
担当教員名	小田 貞夫		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

「聞く」ことと「話す」ことは、「読む」こと「書く」ことと並んでコミュニケーションの基本です。ところが、近頃の若者は人の話を聞いても理解できないとか、自分の考えを分かりやすく人に伝えることが下手だとか、話しことばによるコミュニケーションの力が落ちているといわれます。日本経団連が毎年行っている「新卒社員の採用に関するアンケート調査」のなかで「選考時に重視する要素」を聞いていますが、「コミュニケーション能力」を挙げた企業は5社に4社の割合にのぼり第1位です。特に求められているのが、話しことばで意思を通い合わせる力だそうです。

「聞く力」「話す力」を育てることは就職活動に有利であるとか、将来社会に出たときの必須の能力だとかいうことに止まらず、好ましい人間関係を築いていく上で不可欠のことなのです。この授業では、話しことばによるコミュニケーションの基本と応用を、理論の学習と実技の演習をとおして学びます。

#### 内容

コミュニケーション力は、日常の実践をとおして養われます。この授業では毎回、人の話を聞く、文章を読んだりスピーチをしたりする。それを互いに批評しあって、聞くことと話すことのポイントを掴むことに努める。その繰り返して理解力と表現力、構成力を付けていくことを目指します。この授業を担当する3人の教員はいずれもNHKのアナウンサーや記者として長いキャリアを持つ、話しことばによるコミュニケーションのプロです。それぞれの多彩な体験や豊富な知識を盛り込みながら授業を進め、日本語表現の素晴らしさを皆さんに理解してもらい、実践してもらいます。

授業の内容や進め方は教員によって異なりますが、概ね次のようなテーマを取り上げます。

人の話を聞いて理解する      会話を磨く      自己紹介と話しことばのコミュニケーション  
 発声と発音      声に出して読む      スピーチ      話の組み立て      報告・レポート・プレゼンテーション  
 インタビューと取材      敬意表現      会議の企画と進行      ディベート

#### 評価

最初の授業で各教員から評価について説明しますが、授業への出席状況を重視します。そのほか、授業内での実技演習、期末のテストあるいはレポートを総合して評価します。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】【推薦書】【参考図書】については、最初の授業で各教員から指示や説明があります。

科目名	音声表現コミュニケーション		
担当教員名	好本 恵		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

「聞く」ことと「話す」ことは、「読む」こと「書く」ことと並んでコミュニケーションの基本です。ところが、近頃の若者は人の話を聞いても理解できないとか、自分の考えを分かりやすく人に伝えることが下手だとか、話しことばによるコミュニケーションの力が落ちているといわれます。日本経団連が毎年行っている「新卒社員の採用に関するアンケート調査」のなかで「選考時に重視する要素」を聞いていますが、「コミュニケーション能力」を挙げた企業は5社に4社の割合にのぼり第1位です。特に求められているのが、話しことばで意思を通い合わせる力だそうです。

「聞く力」「話す力」を育てることは就職活動に有利であるとか、将来社会に出たときの必須の能力だとかいうことに止まらず、好ましい人間関係を築いていく上で不可欠のことなのです。この授業では、話しことばによるコミュニケーションの基本と応用を、理論の学習と実技の演習をとおして学びます。

#### 内容

コミュニケーション力は、日常の実践をとおして養われます。この授業では毎回、人の話を聞く、文章を読んだりスピーチをしたりする。それを互いに批評しあって、聞くことと話すことのポイントを掴むことに努める。その繰り返して理解力と表現力、構成力を付けていくことを目指します。この授業を担当する3人の教員はいずれもNHKのアナウンサーや記者として長いキャリアを持つ、話しことばによるコミュニケーションのプロです。それぞれの多彩な体験や豊富な知識を盛り込みながら授業を進め、日本語表現の素晴らしさを皆さんに理解してもらい、実践してもらいます。

授業の内容や進め方は教員によって異なりますが、概ね次のようなテーマを取り上げます。

人の話を聞いて理解する      会話を磨く      自己紹介と話しことばのコミュニケーション  
 発声と発音      声に出して読む      スピーチ      話の組み立て      報告・リポート・プレゼンテーション  
 インタビューと取材      敬意表現      会議の企画と進行      ディベート

#### 評価

最初の授業で各教員から評価について説明しますが、授業への出席状況を重視します。そのほか、授業内での実技演習、期末のテストあるいはレポートを総合して評価します。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】【推薦書】【参考図書】については、最初の授業で各教員から指示や説明があります。

科目名	音声表現コミュニケーション		
担当教員名	好本 恵		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	10クラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

「聞く」ことと「話す」ことは、「読む」こと「書く」ことと並んでコミュニケーションの基本です。ところが、近頃の若者は人の話を聞いても理解できないとか、自分の考えを分かりやすく人に伝えることが下手だとか、話しことばによるコミュニケーションの力が落ちているといわれます。日本経団連が毎年行っている「新卒社員の採用に関するアンケート調査」のなかで「選考時に重視する要素」を聞いていますが、「コミュニケーション能力」を挙げた企業は5社に4社の割合にのぼり第1位です。特に求められているのが、話しことばで意思を通い合わせる力だそうです。

「聞く力」「話す力」を育てることは就職活動に有利であるとか、将来社会に出たときの必須の能力だとかいうことに止まらず、好ましい人間関係を築いていく上で不可欠のことなのです。この授業では、話しことばによるコミュニケーションの基本と応用を、理論の学習と実技の演習をとおして学びます。

#### 内容

コミュニケーション力は、日常の実践をとおして養われます。この授業では毎回、人の話を聞く、文章を読んだりスピーチをしたりする。それを互いに批評しあって、聞くことと話すことのポイントを掴むことに努める。その繰り返して理解力と表現力、構成力を付けていくことを目指します。この授業を担当する3人の教員はいずれもNHKのアナウンサーや記者として長いキャリアを持つ、話しことばによるコミュニケーションのプロです。それぞれの多彩な体験や豊富な知識を盛り込みながら授業を進め、日本語表現の素晴らしさを皆さんに理解してもらい、実践してもらいます。

授業の内容や進め方は教員によって異なりますが、概ね次のようなテーマを取り上げます。

人の話を聞いて理解する      会話を磨く      自己紹介と話しことばのコミュニケーション  
 発声と発音      声に出して読む      スピーチ      話の組み立て      報告・リポート・プレゼンテーション  
 インタビューと取材      敬意表現      会議の企画と進行      ディベート

#### 評価

最初の授業で各教員から評価について説明しますが、授業への出席状況を重視します。そのほか、授業内での実技演習、期末のテストあるいはレポートを総合して評価します。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】【推薦書】【参考図書】については、最初の授業で各教員から指示や説明があります。



科目名	音声表現コミュニケーション		
担当教員名	川野 一字		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	1Dクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

「聞く」ことと「話す」ことは、「読む」こと「書く」ことと並んでコミュニケーションの基本です。ところが、近頃の若者は人の話を聞いても理解できないとか、自分の考えを分かりやすく人に伝えることが下手だとか、話しことばによるコミュニケーションの力が落ちているといわれます。日本経団連が毎年行っている「新卒社員の採用に関するアンケート調査」のなかで「選考時に重視する要素」を聞いていますが、「コミュニケーション能力」を挙げた企業は5社に4社の割合にのぼり第1位です。特に求められているのが、話しことばで意思を通い合わせる力だそうです。

「聞く力」「話す力」を育てることは就職活動に有利であるとか、将来社会に出たときの必須の能力だとかいうことに止まらず、好ましい人間関係を築いていく上で不可欠のことなのです。この授業では、話しことばによるコミュニケーションの基本と応用を、理論の学習と実技の演習をとおして学びます。

#### 内容

コミュニケーション力は、日常の実践をとおして養われます。この授業では毎回、人の話を聞く、文章を読んだりスピーチをしたりする。それを互いに批評しあって、聞くことと話すことのポイントを掴むことに努める。その繰り返して理解力と表現力、構成力を付けていくことを目指します。この授業を担当する3人の教員はいずれもNHKのアナウンサーや記者として長いキャリアを持つ、話しことばによるコミュニケーションのプロです。それぞれの多彩な体験や豊富な知識を盛り込みながら授業を進め、日本語表現の素晴らしさを皆さんに理解してもらい、実践してもらいます。

授業の内容や進め方は教員によって異なりますが、概ね次のようなテーマを取り上げます。

人の話を聞いて理解する      会話を磨く      自己紹介と話しことばのコミュニケーション  
 発声と発音      声に出して読む      スピーチ      話の組み立て      報告・リポート・プレゼンテーション  
 インタビューと取材      敬意表現      会議の企画と進行      ディベート

#### 評価

最初の授業で各教員から評価について説明しますが、授業への出席状況を重視します。そのほか、授業内での実技演習、期末のテストあるいはレポートを総合して評価します。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】【推薦書】【参考図書】については、最初の授業で各教員から指示や説明があります。

科目名	音声表現コミュニケーション		
担当教員名	小田 貞夫		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

「聞く」ことと「話す」ことは、「読む」こと「書く」ことと並んでコミュニケーションの基本です。ところが、近頃の若者は人の話を聞いても理解できないとか、自分の考えを分かりやすく人に伝えることが下手だとか、話しことばによるコミュニケーションの力が落ちているといわれます。日本経団連が毎年行っている「新卒社員の採用に関するアンケート調査」のなかで「選考時に重視する要素」を聞いていますが、「コミュニケーション能力」を挙げた企業は5社に4社の割合にのぼり第1位です。特に求められているのが、話しことばで意思を通い合わせる力だそうです。

「聞く力」「話す力」を育てることは就職活動に有利であるとか、将来社会に出たときの必須の能力だとかいうことに止まらず、好ましい人間関係を築いていく上で不可欠のことなのです。この授業では、話しことばによるコミュニケーションの基本と応用を、理論の学習と実技の演習をとおして学びます。

#### 内容

コミュニケーション力は、日常の実践をとおして養われます。この授業では毎回、人の話を聞く、文章を読んだりスピーチをしたりする。それを互いに批評しあって、聞くことと話すことのポイントを掴むことに努める。その繰り返して理解力と表現力、構成力を付けていくことを目指します。この授業を担当する3人の教員はいずれもNHKのアナウンサーや記者として長いキャリアを持つ、話しことばによるコミュニケーションのプロです。それぞれの多彩な体験や豊富な知識を盛り込みながら授業を進め、日本語表現の素晴らしさを皆さんに理解してもらい、実践してもらいます。

授業の内容や進め方は教員によって異なりますが、概ね次のようなテーマを取り上げます。

人の話を聞いて理解する      会話を磨く      自己紹介と話しことばのコミュニケーション  
 発声と発音      声に出して読む      スピーチ      話の組み立て      報告・リポート・プレゼンテーション  
 インタビューと取材      敬意表現      会議の企画と進行      ディベート

#### 評価

最初の授業で各教員から評価について説明しますが、授業への出席状況を重視します。そのほか、授業内での実技演習、期末のテストあるいはレポートを総合して評価します。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】【推薦書】【参考図書】については、最初の授業で各教員から指示や説明があります。

科目名	音声表現コミュニケーション		
担当教員名	好本 恵		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

「聞く」ことと「話す」ことは、「読む」こと「書く」ことと並んでコミュニケーションの基本です。ところが、近頃の若者は人の話を聞いても理解できないとか、自分の考えを分かりやすく人に伝えることが下手だとか、話しことばによるコミュニケーションの力が落ちているといわれます。日本経団連が毎年行っている「新卒社員の採用に関するアンケート調査」のなかで「選考時に重視する要素」を聞いていますが、「コミュニケーション能力」を挙げた企業は5社に4社の割合にのぼり第1位です。特に求められているのが、話しことばで意思を通い合わせる力だそうです。

「聞く力」「話す力」を育てることは就職活動に有利であるとか、将来社会に出たときの必須の能力だとかいうことに止まらず、好ましい人間関係を築いていく上で不可欠のことなのです。この授業では、話しことばによるコミュニケーションの基本と応用を、理論の学習と実技の演習をとおして学びます。

#### 内容

コミュニケーション力は、日常の実践をとおして養われます。この授業では毎回、人の話を聞く、文章を読んだりスピーチをしたりする。それを互いに批評しあって、聞くことと話すことのポイントを掴むことに努める。その繰り返して理解力と表現力、構成力を付けていくことを目指します。この授業を担当する3人の教員はいずれもNHKのアナウンサーや記者として長いキャリアを持つ、話しことばによるコミュニケーションのプロです。それぞれの多彩な体験や豊富な知識を盛り込みながら授業を進め、日本語表現の素晴らしさを皆さんに理解してもらい、実践してもらいます。

授業の内容や進め方は教員によって異なりますが、概ね次のようなテーマを取り上げます。

人の話を聞いて理解する      会話を磨く      自己紹介と話しことばのコミュニケーション  
 発声と発音      声に出して読む      スピーチ      話の組み立て      報告・リポート・プレゼンテーション  
 インタビューと取材      敬意表現      会議の企画と進行      ディベート

#### 評価

最初の授業で各教員から評価について説明しますが、授業への出席状況を重視します。そのほか、授業内での実技演習、期末のテストあるいはレポートを総合して評価します。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】【推薦書】【参考図書】については、最初の授業で各教員から指示や説明があります。

科目名	音声表現コミュニケーション		
担当教員名	好本 恵		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

「聞く」ことと「話す」ことは、「読む」こと「書く」ことと並んでコミュニケーションの基本です。ところが、近頃の若者は人の話を聞いても理解できないとか、自分の考えを分かりやすく人に伝えることが下手だとか、話しことばによるコミュニケーションの力が落ちているといわれます。日本経団連が毎年行っている「新卒社員の採用に関するアンケート調査」のなかで「選考時に重視する要素」を聞いていますが、「コミュニケーション能力」を挙げた企業は5社に4社の割合にのぼり第1位です。特に求められているのが、話しことばで意思を通い合わせる力だそうです。

「聞く力」「話す力」を育てることは就職活動に有利であるとか、将来社会に出たときの必須の能力だとかいうことに止まらず、好ましい人間関係を築いていく上で不可欠のことなのです。この授業では、話しことばによるコミュニケーションの基本と応用を、理論の学習と実技の演習をとおして学びます。

#### 内容

コミュニケーション力は、日常の実践をとおして養われます。この授業では毎回、人の話を聞く、文章を読んだりスピーチをしたりする。それを互いに批評しあって、聞くことと話すことのポイントを掴むことに努める。その繰り返して理解力と表現力、構成力を付けていくことを目指します。この授業を担当する3人の教員はいずれもNHKのアナウンサーや記者として長いキャリアを持つ、話しことばによるコミュニケーションのプロです。それぞれの多彩な体験や豊富な知識を盛り込みながら授業を進め、日本語表現の素晴らしさを皆さんに理解してもらい、実践してもらいます。

授業の内容や進め方は教員によって異なりますが、概ね次のようなテーマを取り上げます。

人の話を聞いて理解する      会話を磨く      自己紹介と話しことばのコミュニケーション  
 発声と発音      声に出して読む      スピーチ      話の組み立て      報告・レポート・プレゼンテーション  
 インタビューと取材      敬意表現      会議の企画と進行      ディベート

#### 評価

最初の授業で各教員から評価について説明しますが、授業への出席状況を重視します。そのほか、授業内での実技演習、期末のテストあるいはレポートを総合して評価します。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】【推薦書】【参考図書】については、最初の授業で各教員から指示や説明があります。

科目名	音声表現コミュニケーション		
担当教員名	川野 一字		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	2Dクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

「聞く」ことと「話す」ことは、「読む」こと「書く」ことと並んでコミュニケーションの基本です。ところが、近頃の若者は人の話を聞いても理解できないとか、自分の考えを分かりやすく人に伝えることが下手だとか、話しことばによるコミュニケーションの力が落ちているといわれます。日本経団連が毎年行っている「新卒社員の採用に関するアンケート調査」のなかで「選考時に重視する要素」を聞いていますが、「コミュニケーション能力」を挙げた企業は5社に4社の割合にのぼり第1位です。特に求められているのが、話しことばで意思を通い合わせる力だそうです。

「聞く力」「話す力」を育てることは就職活動に有利であるとか、将来社会に出たときの必須の能力だとかいうことに止まらず、好ましい人間関係を築いていく上で不可欠のことなのです。この授業では、話しことばによるコミュニケーションの基本と応用を、理論の学習と実技の演習をとおして学びます。

#### 内容

コミュニケーション力は、日常の実践をとおして養われます。この授業では毎回、人の話を聞く、文章を読んだりスピーチをしたりする。それを互いに批評しあって、聞くことと話すことのポイントを掴むことに努める。その繰り返して理解力と表現力、構成力を付けていくことを目指します。この授業を担当する3人の教員はいずれもNHKのアナウンサーや記者として長いキャリアを持つ、話しことばによるコミュニケーションのプロです。それぞれの多彩な体験や豊富な知識を盛り込みながら授業を進め、日本語表現の素晴らしさを皆さんに理解してもらい、実践してもらいます。

授業の内容や進め方は教員によって異なりますが、概ね次のようなテーマを取り上げます。

人の話を聞いて理解する      会話を磨く      自己紹介と話しことばのコミュニケーション  
 発声と発音      声に出して読む      スピーチ      話の組み立て      報告・リポート・プレゼンテーション  
 インタビューと取材      敬意表現      会議の企画と進行      ディベート

#### 評価

最初の授業で各教員から評価について説明しますが、授業への出席状況を重視します。そのほか、授業内での実技演習、期末のテストあるいはレポートを総合して評価します。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】【推薦書】【参考図書】については、最初の授業で各教員から指示や説明があります。

科目名	ビジネス文書演習		
担当教員名	福田 弘		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3,4	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択,選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

あらゆる企業(組織)の運営は文書を介して行われているといっても過言ではない。ビジネスにおける文書は人体における血液のように、組織の隅々にまでいきわたり組織の維持に不可欠な役割を果たしている。それは単にコミュニケーションの手段としてのみならず、組織そのものの一部を形成している。本科目ではビジネス文書作成の演習を通じ表現力の向上を目的とすることは勿論であるが、ビジネスにおける文書という視点から企業における意思決定の仕組みや、文書の中で非常に重要な意味を持つ契約書の基本知識も学ぶことも狙いとしている。

#### 内容

各週の学習内容は下記を基本とする。

1. コース紹介
2. ビジネス文書の概要
3. ビジネス文書作成の基本的ポイント
4. 簡単な社内届出文書(定型フォーム)作成演習
5. 社内報告文書作成演習
6. 社内企画書(提案書)作成演習
7. 4, 5, 6で作成した文書の受講者による批評及び復習小テスト
8. 稟議 企業的意思決定機関(取締役会など)
9. 社外向け文書の作成のポイント(3.の復習も含む)
10. 社外向け文書(挨拶状、通知状等)作成演習
11. 社外向け文書(謝罪文)作成演習
12. 社外向け企画書(提案書)作成演習
13. 10, 11, 12で作成した文書の受講者による批評
14. 契約関係文書
15. まとめ及び復習小テスト

文書の作成は、Words、Excel、Power Point等を使用して行う。

提出された文書は添削し返却することを原則とする。

7. 13.で行う批評は受講者の作成した文書を受講者が批評する。(作成者の氏名は出ない)

#### 評価

評価は演習において作成した文書、随時行う小テスト、出席等を総合しておこなう。出席に40%、その他に60%を配分する。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【参考図書】菊地康人・敬語・講談社学術文庫

永崎一則・正しい敬語の使い方・PHP文庫

科目名	ビジネス文書演習		
担当教員名	福田 弘		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3,4	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

あらゆる企業(組織)の運営は文書を介して行われているといっても過言ではない。ビジネスにおける文書は人体における血液のように、組織の隅々にまでいきわたり組織の維持に不可欠な役割を果たしている。それは単にコミュニケーションの手段としてのみならず、組織そのものの一部を形成している。本科目ではビジネス文書作成の演習を通じ表現力の向上を目的とすることは勿論であるが、ビジネスにおける文書という視点から企業における意思決定の仕組みや、文書の中で非常に重要な意味を持つ契約書の基本知識も学ぶことも狙いとしている。

#### 内容

各週の学習内容は下記を基本とする。

1. コース紹介
2. ビジネス文書の概要
3. ビジネス文書作成の基本的ポイント
4. 簡単な社内届出文書(定型フォーム)作成演習
5. 社内報告文書作成演習
6. 社内企画書(提案書)作成演習
7. 4, 5, 6で作成した文書の受講者による批評及び復習小テスト
8. 稟議 企業の意味決定機関(取締役会など)
9. 社外向け文書の作成のポイント(3.の復習も含む)
10. 社外向け文書(挨拶状、通知状等)作成演習
11. 社外向け文書(謝罪文)作成演習
12. 社外向け企画書(提案書)作成演習
13. 10, 11, 12で作成した文書の受講者による批評
14. 契約関係文書
15. まとめ及び復習小テスト

文書の作成は、Words、Excel、Power Point等を使用して行う。

提出された文書は添削し返却することを原則とする。

7. 13.で行う批評は受講者の作成した文書を受講者が批評する。(作成者の氏名は出ない)

#### 評価

評価は演習において作成した文書、随時行う小テスト、出席等を総合しておこなう。出席に40%、その他に60%を配分する。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【参考図書】菊地康人・敬語・講談社学術文庫

永崎一則・正しい敬語の使い方・PHP文庫

科目名	文章表現ワークショップ		
担当教員名	松永 修一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3,4	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

自分のメディア力を高める!

この授業は、アクティブラーニング(学生が自ら正解を探す「能動的学習スタイル」)による参加型授業です。考える道具としての文章表現、説得するための文章表現、楽しむための文章表現、それぞれの能力を演習を通して向上させることを目的とします。Webやブログ、雑誌の中の効果的な表現を分析的に見ていきます。また、ここから学んだTipsを用い実践的な演習を積み、表現能力の向上を目指します。授業はグループワークセッションを基本に進めます。ワークの中ではMind-mapを用いたOut putの訓練も併せておこないます。

講義の性質上、授業内の演習だけでなく、たくさんの課題を課すこととなりますが、学生諸君の積極的な参加を希望します。

## 内容

- 第1回 何のための文章表現?
- 第2回 Mind-mapと文章作成
- 第3回 表現とフィードバック
- 第4回 身近なメディアを使った文章表現
- 第5回 ゲスト
- 第6回 分かりやすさ分かりにくさの分析
- 第7回 Web・ブログでの文章表現分析
- 第8回 課題プレゼン1
- 第9回 コンテンツを探す
- 第10回 情報の編集とOut put
- 第11回 グループセッション1
- 第12回 グループセッション2
- 第13回~第15回 まとめOut put 1~3

## 評価

獲得したポイントにより下記のように評価します。\* 毎回授業後48時間以内に まとめ&感想(質問含む) Self-evaluationクラスの「良い点」「気になる点」「ネクストステップ(具体的な修正アイデア)」をメールで送信。 日常出席まとめ感想メール...1~7ポイント(提出【基礎点】...1ポイント、まとめ&感想...1~3ポイント、Self-evaluation1~3ポイント) レポート・課題...3~8ポイント(6回以上[授業2回につき1つ程度]課す) 最終課題or試験...5~10ポイント 合計ポイントと評価...D<60 C<70 B<80 A (4回以上の欠席は受講放棄とみなします)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業中に指示します。



科目名	文章表現ワークショップ		
担当教員名	小沢 章友		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3,4	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

小説家になる夢を抱いている。いずれは、文章表現者になりたい。ゆくゆくは、プロの小説家をめざしたい。そうした人のための、小説家養成講座です。それを実現するために、みずからの個性と才能をどう発見し、それをどう伸ばしていくか。さらに、自分の個性にふさわしい文章表現はいかなるものか、それらを、段階的・総合的に学んでいきます。

#### 内容

受講者には、毎回、こちらからテーマをあたえます。そのテーマを通して、受講者は、講義時間内に、作品を書きあげます。この過程を通して、まずは、自分にあった文章の書き方を見つけるのです。それらの作品は翌週発表されます。こうして自分が書いたものの客観的な批評を受けると同時に、小説を書くための、登場人物キャラクターの立て方、ストーリーの作り方、うねらせ方、心理や情景描写の手法などを、順次、学んでいくこととなります。

なお、受講生の数は、原則として、20名までとします。もしも希望者が多い場合は、人数制限することがあります。

#### 評価

毎回提出される作品(50点)出席状況(50点)で、成績を評価します。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】小沢章友『三国志』講談社青い鳥文庫

【参考図書】小沢章友『龍之介地獄変』新潮社

小沢章友『三島転生』ポプラ社

小沢章友『運命の環』文芸春秋

小沢章友『夢魔の森』集英社文庫

小沢章友『遊民爺さん』小学館文庫

科目名	文章表現ワークショップ		
担当教員名	大西 正行		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3,4	ク ラ ス	10クラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

いきなり書き始めないこと。まず「見出し」を考える。次に「リード」を書き、「本文」を綴っていきなさい。

このアドバイスは、春からの授業で皆さんにお配りする私の編著「講義資料」(記者・編集者を志す人への手引き)から引いた一文です。この逆転の手法は、私が新聞記者だったころ、苦勞してつかんだ特ダネを社会面で大きく扱ってもらおうと実践で身に付けたものです。記者の仕事に限らず、皆さんがこれから社会に出て文章を書く時に大いに役立つはずです。

なぜ「見出し」なのでしょう。見聞したことを順番に並べてみても、それは情報を羅列しただけに過ぎません。しかし、その中で何がニュースかを絞り込んだ「見出し」、つまりキーワードに導かれた瞬間、文章に命が吹き込まれるからです。見出しは、思考力の源であり、文章制作の司令塔なのです。

「女の子を出産。母子とも元気」。「母危篤、すぐ帰れ」。何と短く、胸に迫る表現なのでしょう。この数文字が伝える事実と事実に伴う人間の喜怒哀楽が文章の始まりなのです。

文章は天才だけのものではありません。人の心を揺さぶる文章を書きたい。雑誌の編集者になりたい。広報の仕事をしたい。広告代理店で働きたい等々。文章表現と関わる仕事を望む人はもちろんのこと、文章を人生の糧としたい人の水先案内人を務めます。

#### 内容

- 1 少人数の授業で、作文、レポートなどを書き、添削します。講評、漢字チェック等も行います。
- 2 「講義資料」(記者・編集者を志す人への手引き)などを活用し、構成力などの習得を図ります。
- 3 「分かりやすさ」「洞察力」「語彙」「基礎知識」を文章表現力向上の4要素と位置付け、人間の常識に裏打ちされた感性を持って、的確に人の心をとらえる文章作成能力が備わるよう、双方向の指導をいたします。

#### 評価

出席40点及び期末の試験60点により評価を行い、60点以上を合格とします。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】大西正行編著「講義資料」(記者・編集者を志す人への手引き)非売品・高橋印刷(無料配布)

【参考図書】「記者ハンドブック 新聞用字用語集」 共同通信社

科目名	文章表現ワークショップ		
担当教員名	小沢 章友		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3,4	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

小説家養成講座です。原則として、前期を履修した受講生が、ひきつづいて後期を受けます。

## 内容

前期同様、毎回受講生はテーマに応じて、講義時間内に、作品を書きます。

ファンタジー、ホラー、ユーモア、推理小説、恋愛小説、時代小説、純文学。ジャンルに応じた書き方にチャレンジします。さらに、短編、中篇、長編の書き分け方と、新人作家として、世にデビューするための、さまざまな方法、そして出版社および編集者とのつきあいかたなども、あわせて学んでいきます。

## 評価

毎回提出する作品(50点)と、出席状況(50点)で、成績を評価します。

## 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】小沢章友『三国志』講談社青い鳥文庫

【参考図書】小沢章友著作『龍之介地獄変』新潮社、『運命の環』文芸春秋、『夢魔の森』集英社文庫、『曼荼羅華』講談社、『怪域』朝日新聞社、『荒野狼』徳間書店、『不死』小学館、『極楽鳥』角川春樹事務所、『遊民爺さん』小学館文庫、『ムーン・ドラゴン』理論社

小沢章友の怪異幻想劇場(<http://timebooktown.jp>)ケータイ連載小説

科目名	文章表現ワークショップ		
担当教員名	大西 正行		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3,4	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

「文章表現ワークショップ」の授業は、前期の「文章表現ワークショップ」の授業と密接なつながりがありますので、前期の授業もぜひ受講してください。

「文章表現ワークショップ」では、前期の蓄積をベースとして、文章力に自信がつくように、また文章表現上求められる配慮などもきめ細かく指導します。

もちろん、前期で指導する「見出しをつけて文章を書く」習慣を身に付けることが、「文章表現ワークショップ」の眼目の1つであります。「悪戦苦闘、なお道遠し」は文章修行の常です。しかし、キーワードを絞り込んで文章を紡いでいく地道な努力の延長線上に、構成力、表現力が向上していく手応えをきっと感じることはできるはずです。

文章力を身に付けてマスコミの仕事に関わりたい、あるいはマスコミの動静に関心を持ち続けたいと思う受講者も多いと思います。文章能力向上のための作文、講評の合間に、記者や編集者の生き生きとした姿についても触れ、私がデスク、皆さんが記者になったような気さくな雰囲気、受講者のニーズに応える授業を進めます。

#### 内容

- 1 少人数の授業で、作文、レポートなどを書き、添削します。講評、漢字チェック等も行います。
- 2 私の編著「講義資料」(記者・編集者を志す人への手引き、非売品・授業で配布)などを活用し、表現方法の習得を図ります。
- 3 「分かりやすさ」「洞察力」「語彙」「基礎知識」を文章表現力向上の4要素と位置付け、これを伸ばしていく方向性は前期と同様ですが、新聞などの名文に触れてもらう機会も多くし、各自の文章力がさらにレベルアップするよう努めます。

#### 評価

出席40点及び期末の試験60点により評価を行い、60点以上を合格とします。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】大西正行編著「講義資料」(記者・編集者を志す人への手引き)非売品・高橋印刷(無料配布)

【参考図書】「記者ハンドブック 新聞用字用語集」 共同通信社

科目名	音声表現ワークショップ		
担当教員名	大西 勝也		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3,4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

コミュニケーションにおいて、相互尊重の精神に基づいて相手の話しをじっくりと聞き、場面に配慮してことばを遣い分けて話すことが求められています。これからの社会生活では、その時々にあふさわしい方法で自己表現する、つまり自己の人格・立場・態度を「分かりやすく、正確なことば遣い」で表すことです。

マスメディアコース2年生は、必修科目「音声表現コミュニケーション」で1年間基礎的な知識を身につけてきました。この授業ではそれを受けて、さらに実践的なトレーニングを積み重ね、社会生活に役立つ“コミュニケーション力”を培っていきます。

#### 内容

「音声表現コミュニケーション」で学んだことをさらに深め、より実践的な課題解決に取り組む実習を中心に、次のようなテーマで授業を進めます。この授業は「ワークショップ」(小規模な研究会)ですから、毎回出席者が意見を発表し、意見交換しながら展開しますので積極的な参加を求めます。

スピーチ・報告する・意見を述べる……[自己表現力]

意見を聞く・聞き出す……[問う力・聞く力]

取材・調査・資料整理・話題(情報)の収集・構成・活用・発表……[プレゼンテーション]

依頼・謝罪・断りなどの応接・電話の対応(敬語・マナー)……[人間関係を作る]

討議・司会……[相互の意思確認と集約]

#### 評価

出席点(30%) + 授業中の発表、授業への参加状況(30%) + テーマごとにある課題のリポート作成や発表など(40%)を基準にして総合的に評価します。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

##### 【参考図書】

木下是雄『理科系の作文技術』(中公新書)

山口弘明『プレゼンテーションの進め方』(日経文庫)

齊籐 孝『人を10分ひきつける 話す力』(大和書房)

科目名	音声表現ワークショップ		
担当教員名	大西 勝也		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3,4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

コミュニケーションにおいて、相互尊重の精神に基づいて相手の話しをじっくりと聞き、場面に配慮してことばを遣い分けて話すことが求められています。これからの社会生活では、その時々にはふさわしい方法で自己表現をする、「分かりやすく、正確なことば遣い」で表すことです。

この授業では、これまでの経験・知識を基に、より実践的なトレーニングに重点を置き、実際の社会生活に役立つ“コミュニケーション力”を培っていくことを目標にします。

#### 内容

「ワークショップ」では、各テーマについて で身につけた理論と実践をもとに、より現実に直面する課題の解決をめざして実習を重ねます。「ワークショップ」の授業として、授業出席者の相互の発表や検討などによって授業を展開していきます。授業への積極的な参加によってお互いに学び合い、実社会に役立つ方法を学習します。

スピーチをする・意見を論理的に組み立てて話す……[自己表現力]

相手の意見を要約する、相手の考えをまとめて話す……[問う力・聞く力]

企画する・取材、調査、まとめ・論点の整理、把握・発表の技法……[プレゼンテーション]

応対・面接……[人間関係をつくる力 聞き上手であること]

交渉する……[交渉力] (事前の準備の大切さ)

説得する……[説得力] (相手の話をねばり強く聴き、相手を理解する)

#### 評価

出席点(30%) + 授業中の発表、授業への参加状況(30%) + テーマごとにある課題のレポート作成や発表など(40%)を基準にして総合的に評価します。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

##### 【参考図書】

木下是雄『理科系の作文技術』(中公新書)

菅谷明子『メディア・リテラシー～世界の現場から～』(岩波新書)

ロジャー・フィシャー&ダニエル・シャピロ著『新ハーバード流交際術』(印南一路訳 講談社)

科目名	トレンド・ウォッチ		
担当教員名	大西 正行		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

この時事問題の授業を、大学生となったあなたが、自分の頭で考え心豊かに生きることのできるパワーと大人のバランス感覚を身に付ける出発点にしてほしい、と願っています。

私は、自分の息子の世代の若者(30代)を食事に誘ったことがあります。その若者の話が、自分の家にまつわる身の上話で終始したことにがっかりし、後に続く世代全体に対する危惧を覚えました。身の上話を全否定はしません。しかし、せっかくの機会なのだから、もっと社会を見渡した味わい深い会話も交わしたかったのに、というのが私の偽らざる実感でした。

私は授業を始めるにあたり、まずあなたが「自分の身の周りの世界の話だけしか興味を持ってない人」ではなく、社会の出来事に感動したり悲しんだりする人間としての幅を広げてもらうつもりです。大事件や経済、政治、文化、スポーツ等のニュース主役たちの愚かさ、素晴らしさに反応し、同時にこれを自分の周囲の出来事とも重ね合わせて、ものを考える基礎的な力を養ってほしいのです。

この科目は、次年度以降の時事問題の授業の橋渡しとして必修に位置付けられています。従って、授業では、なぜ、こうしたことが起きるのかという「ものの見方」、言い換えれば「ニュースを引き起こす人間や組織の業(ごう)」のようなものにも触れて、2年生からの勉強につなげてほしいと考えています。ニュースの主役である人間を読むあなたの観察力が増すよう努めます。

#### 内容

- 1 日刊紙等をベースにニュースの流れを追い、日々ニュースに親しむ環境を高めます。時代を映す世相風俗も視野において進めます。
- 2 特に経済ニュースは、就職氷河期を意識する学生にとって重要であり、その把握に力を入れます。「何が売れるのか」というトレンドなテーマも取り上げます。
- 3 90分の授業は、時事問題の知識を増すニュースチェックのほか、 裁判員制度、選挙など差し迫った時事的テーマを中心とした説明 目の前に現れるニュースの奥に潜む人間性とあわせて大系的、歴史的な理解を増す解説を中心とします。

#### 評価

出席40点及び期末の試験60点より評価を行い、60点以上を合格とします。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

参考図書等は、その都度、授業中に紹介します。

科目名	トレンド・ウォッチ		
担当教員名	大西 正行		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

前期で学んだ内容を踏まえて、あなたの洞察力、ニュース感覚が一層増すよう努めます。

洞察力とは何でしょうか。私がベルサイユ宮殿を訪れた時のことです。歴史を勉強しているというパリの女性ガイドは、こう説明したのです。「太陽王といわれたルイ14世は、16世を見た瞬間、『この子は気が弱い。ルイ王朝は滅亡するだろう』と嘆きました。果たしてその通りになりました」と。

私は、このガイドの名解説に感心しました。位の高い人なら誰でも崇めてしまう日本の観光地のガイドと一味も二味も違う歴史観。つまりルイ16世の奥さんのマリー・アントワネットも処刑され、今日の民主主義の流れの一つとなったフランス革命という歴史的な大事件を見る洞察力が生きていたからです。

歴史的な事件の裏には、貧しさや、圧政・腐敗に対する民衆の権力者への怒りがあったり、権力者同士の反目があったり、クレオパトラの悲劇のようにお金や名誉のみならず異性関係が絡む場合も珍しくありません。欲望の対極にある慈愛も仁も礼も含めて歴史を動かすものは、あまりに人間的で、人間の業ゆえに今も同じようなことが繰り返され、それが時事問題として目の前に現れているのだと思います。

ITに至るまでの発明を含め歴史を作ってきた「人間」というものを分けることが、時事問題の本質を見抜くポイントです。それによって、あなたの人生が豊かになり、ニューストレンドを見抜く目が養われ、いち早い取り組みが求められる就職活動の自信にもつながっていくのだと確信いたします。

#### 内容

- 1 前期の授業の蓄積をもとに、一層、日々ニュースに親しむ環境を作り、ニュースを「読む、見る、聞く」習慣が身に付き、幅の広い学びの楽しさが高まるように努めます。
- 2 ニュースの経済的側面を重視することはもとより、前期の授業の流れを踏まえて、時事問題の背後にあるものを見抜く力がさらに増すようにし、時事的な問題の考察があなたの思考力、ひいては文章力の向上につながっていく土台作りを意識します。新聞の社会面等で描かれる社会世相・風俗やトレンドな経済ニュースも絡めます。
- 3 90分の授業が、時事問題の知識を増すニュースチェックとともに、時事的テーマを中心とした説明。目の前に現れるニュースの大系的、歴史的な理解を増す解説を中心とする点は前期と変わりません。

#### 評価

出席40点及び期末の試験60点より評価を行い、60点以上を合格とします。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

参考図書等は、その都度、授業中に紹介します。



科目名	時事問題ワークショップ		
担当教員名	岡本 卓		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、マスメディアコース3年生の必修科目で、1年次の「トレンド・ウォッチ」、2年次の「時事解説」で養った、時事問題に関する背景知識と視点を元に、現代社会のさまざまな問題を自ら深く調べ、議論する。こうした行為を繰り返していく中で、これまで得た、時事問題に関する「知識」を元に、それに対する自分の「意見」を形成し、さらにそれをプレゼンテーションする能力を養うのが目的である。

#### 内容

担当者により異なるので、必ず初回の講義に出席して、担当者の指示を受けること。

#### 評価

担当者により異なるので、必ず初回の講義に出席して、担当者の指示を受けること。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

担当者により異なるので、必ず初回の講義に出席して、担当者の指示を受けること。

科目名	時事問題ワークショップ		
担当教員名	鈴木 弘貴		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、マスメディアコース3年生の必修科目で、1年次の「トレンド・ウォッチ」、2年次の「時事解説」で養った、時事問題に関する背景知識と視点を元に、現代社会のさまざまな問題を自ら深く調べ、議論する。こうした行為を繰り返していく中で、これまで得た、時事問題に関する「知識」を元に、それに対する自分の「意見」を形成し、さらにそれをプレゼンテーションする能力を養うのが目的である。

#### 内容

担当者により異なるので、必ず初回の講義に出席して、担当者の指示を受けること。

#### 評価

担当者により異なるので、必ず初回の講義に出席して、担当者の指示を受けること。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

担当者により異なるので、必ず初回の講義に出席して、担当者の指示を受けること。

科目名	時事問題ワークショップ		
担当教員名	鈴木 弘貴		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	10クラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、マスメディアコース3年生の必修科目で、1年次の「トレンド・ウォッチ」、2年次の「時事解説」で養った、時事問題に関する背景知識と視点を元に、現代社会のさまざまな問題を自ら深く調べ、議論する。こうした行為を繰り返していく中で、これまで得た、時事問題に関する「知識」を元に、それに対する自分の「意見」を形成し、さらにそれをプレゼンテーションする能力を養うのが目的である。

#### 内容

担当者により異なるので、必ず初回の講義に出席して、担当者の指示を受けること。

#### 評価

担当者により異なるので、必ず初回の講義に出席して、担当者の指示を受けること。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

担当者により異なるので、必ず初回の講義に出席して、担当者の指示を受けること。

科目名	時事問題ワークショップ		
担当教員名	岡本 卓		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	1Dクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、マスメディアコース3年生の必修科目で、1年次の「トレンド・ウォッチ」、2年次の「時事解説」で養った、時事問題に関する背景知識と視点を元に、現代社会のさまざまな問題を自ら深く調べ、議論する。こうした行為を繰り返していく中で、これまで得た、時事問題に関する「知識」を元に、それに対する自分の「意見」を形成し、さらにそれをプレゼンテーションする能力を養うのが目的である。

#### 内容

担当者により異なるので、必ず初回の講義に出席して、担当者の指示を受けること。

#### 評価

担当者により異なるので、必ず初回の講義に出席して、担当者の指示を受けること。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

担当者により異なるので、必ず初回の講義に出席して、担当者の指示を受けること。

科目名	時事問題ワークショップ		
担当教員名	岡本 卓		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、マスメディアコース3年生の必修科目で、1年次の「トレンド・ウォッチ」、2年次の「時事解説」で養った、時事問題に関する背景知識と視点を元に、現代社会のさまざまな問題を自ら深く調べ、議論する。こうした行為を繰り返していく中で、これまで得た、時事問題に関する「知識」を元に、それに対する自分の「意見」を形成し、さらにそれをプレゼンテーションする能力を養うのが目的である。

#### 内容

担当者により異なるので、必ず初回の講義に出席して、担当者の指示を受けること。

#### 評価

担当者により異なるので、必ず初回の講義に出席して、担当者の指示を受けること。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

担当者により異なるので、必ず初回の講義に出席して、担当者の指示を受けること。

科目名	時事問題ワークショップ		
担当教員名	鈴木 弘貴		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、マスメディアコース3年生の必修科目で、1年次の「トレンド・ウォッチ」、2年次の「時事解説」で養った、時事問題に関する背景知識と視点を元に、現代社会のさまざまな問題を自ら深く調べ、議論する。こうした行為を繰り返していく中で、これまで得た、時事問題に関する「知識」を元に、それに対する自分の「意見」を形成し、さらにそれをプレゼンテーションする能力を養うのが目的である。

#### 内容

担当者により異なるので、必ず初回の講義に出席して、担当者の指示を受けること。

#### 評価

担当者により異なるので、必ず初回の講義に出席して、担当者の指示を受けること。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

担当者により異なるので、必ず初回の講義に出席して、担当者の指示を受けること。

科目名	時事問題ワークショップ		
担当教員名	鈴木 弘貴		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、マスメディアコース3年生の必修科目で、1年次の「トレンド・ウォッチ」、2年次の「時事解説」で養った、時事問題に関する背景知識と視点を元に、現代社会のさまざまな問題を自ら深く調べ、議論する。こうした行為を繰り返していく中で、これまで得た、時事問題に関する「知識」を元に、それに対する自分の「意見」を形成し、さらにそれをプレゼンテーションする能力を養うのが目的である。

#### 内容

担当者により異なるので、必ず初回の講義に出席して、担当者の指示を受けること。

#### 評価

担当者により異なるので、必ず初回の講義に出席して、担当者の指示を受けること。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

担当者により異なるので、必ず初回の講義に出席して、担当者の指示を受けること。

科目名	時事問題ワークショップ		
担当教員名	岡本 卓		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	2Dクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、マスメディアコース3年生の必修科目で、1年次の「トレンド・ウォッチ」、2年次の「時事解説」で養った、時事問題に関する背景知識と視点を元に、現代社会のさまざまな問題を自ら深く調べ、議論する。こうした行為を繰り返していく中で、これまで得た、時事問題に関する「知識」を元に、それに対する自分の「意見」を形成し、さらにそれをプレゼンテーションする能力を養うのが目的である。

#### 内容

担当者により異なるので、必ず初回の講義に出席して、担当者の指示を受けること。

#### 評価

担当者により異なるので、必ず初回の講義に出席して、担当者の指示を受けること。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

担当者により異なるので、必ず初回の講義に出席して、担当者の指示を受けること。



科目名	コンピュータプレゼンテーション技法		
担当教員名	松永 修一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	1,2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

デジタルデバイスを用いた効果的なプレゼンテーションスキルの習得と自分のメディア力を高める。

この授業は、アクティブラーニング(学生が自ら正解を探す「能動的学習スタイル」)による参加型授業です。ビジネスにおいても、ほぼ標準となったPower Pointを使える武器として使えるように実践的なスキルを、各自のコンテンツのプレゼンテーションをおこなうことを通して学びます。文字のレイアウト、音声、画像、動画の処理など高度なテクニックも取り入れたCoolなプレゼンテーションのTipsを習得しましょう。授業内の実習だけでは技術は向上しません、課題などハードなハードルも乗り越え、より高いもの達成したいという学生の受講を期待します。

#### 内容

1	コミュニケーションツールとしてのプレゼン技術
2	プレゼンテーションのゴールとは
3	わかりやすさわかりにくさの正体
4	PCデバイス利用の短所・長所
5	パワーポイント 基礎1
6	パワーポイント 基礎2
7	パワーポイント 基礎3
8	レイアウト 画像処理
9	パワーポイント 応用1
10	パワーポイント 応用2
11	パワーポイント 応用3
12	コンテンツ完成
13	コンテンツ発表1
14	コンテンツ発表2
15	コンテンツ発表フィードバック

#### 評価

獲得したポイントにより下記のように評価します。\* 毎回授業後48時間以内に まとめ&感想(質問含む) Self-evaluationクラスの「良い点」「気になる点」「ネクストステップ(具体的な修正アイデア)」をメールで送信。 日常出席まとめ感想メール...1~7ポイント(提出【基礎点】...1ポイント、まとめ&感想...1~3ポイント、Self-evaluation1~3ポイント) レポート・課題...3~8ポイント(6回以上[授業2回につき1つ程度]課す) 最終課題or試験...5~10ポイント 合計ポイントと評価...D<60 C<70 B<80 A (4回以上の欠席は受講放棄とみなします)

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業中に指示します。

科目名	コンピュータプレゼンテーション技法		
担当教員名	大西 由華		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	1,2	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

プレゼンテーションスキルは、今や社会人に不可欠なスキルの一つです。人前で挨拶をする、商品の説明をする、企画を発表するなど、伝えたいことを分かりやすく表現する能力が求められています。しかし、いきなり身につくものではありません。社会に出て必ず役に立つプレゼンテーションスキルを、今から少しずつ積み上げておきましょう。

授業では、標準プレゼンテーションツールともいえる『PowerPoint』の基本操作を覚え、内容を構成し、スライド作成をマスターします。そしてプレゼンテーションを実際に行い、周囲のフィードバックを受けながらプレゼンテーションの基礎を身につけていきます。

コンピュータ操作が中心となるため、履修人数を制限することがあります。

#### 内容

- ・『PowerPoint』の基本操作
- ・プレゼンテーションのプランニングと構成
- ・スライドの作成
- ・人前で話すための基本姿勢
- ・プレゼンテーション演習

#### 評価

出席40点、授業態度20点、演習40点により評価を行い、60点以上を合格とします。試験は行いません。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

自主プリントを中心に使用し、必要に応じて随時紹介します。

科目名	DTP演習		
担当教員名	大西 由華		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2,3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択,選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本の出版物がコンピュータで編集されるようになって20年が経ちました。アプリケーションソフトも成熟し、専門家だけでなくとも編集レイアウトが出来て、基本ルールを覚えれば、さらに美しく日本語を組むことが出来るようになりました。この授業では、レイアウトソフト『Adobe InDesign』を使って、DTPや組版の基礎から応用を学んでいきます。「コンピュータによるマガジン制作演習」を受講された方は、ステップアップ編として位置付けることができます。

コンピュータ操作が中心となるため、履修人数を制限することがあります。

#### 内容

- ・オリエンテーション
- ・プリプレス基礎知識
- ・DTP 基礎知識
- ・組版基礎
- ・イラストや画像
- ・ツールの基本操作
- ・マスターページ
- ・ページレイアウト
- ・印刷

#### 評価

出席40点、授業態度20点、課題制作40点により評価を行い、60点以上を合格とします。試験は行いません。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

自主プリントを中心に使用し、必要に応じて随時紹介します。

科目名	DTP演習		
担当教員名	大西 由華		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2,3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択,選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本の出版物がコンピュータで編集されるようになって20年が経ちました。アプリケーションソフトも成熟し、専門家だけでなくとも編集レイアウトが出来て、基本ルールを覚えれば、さらに美しく日本語を組むことが出来るようになりました。この授業では、レイアウトソフト『Adobe InDesign』を使って、DTPや組版の基礎から応用を学んでいきます。「コンピュータによるマガジン制作演習」を受講された方は、ステップアップ編として位置付けることができます。

コンピュータ操作が中心となるため、履修人数を制限することがあります。

#### 内容

- ・オリエンテーション
- ・プリプレス基礎知識
- ・DTP 基礎知識
- ・組版基礎
- ・イラストや画像
- ・ツールの基本操作
- ・マスターページ
- ・ページレイアウト
- ・印刷

#### 評価

出席40点、授業態度20点、課題制作40点により評価を行い、60点以上を合格とします。試験は行いません。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

自主プリントを中心に使用し、必要に応じて随時紹介します。

科目名	ウェブ・デザイン		
担当教員名	松永 修一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2,3,4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

Webサイトのデザインを通して、情報をデザインする方法を学ぶ。

この授業は、アクティブラーニング(学生が自ら正解を探す「能動的学習スタイル」)による参加型授業です。受講者には1年次の情報処理演習・で基礎スキルを身につけ、自ら発信したいコンテンツを持っている人であることが望ましい。デジタル環境下でのデザイン能力には、現実世界のアナログ情報とネット上のデジタル情報を収集・編集・統合し、自分のコンセプトや知見を具現化した新しいデジタルコンテンツとして再構築するスキルが求められる。各自の研究テーマに関連する知識リソースを収集し、それらを各自の視点に基づいて再編集した後、Web上での知識アーカイブとして発信するまでの、実践的デザイン能力を身に付けることを目指す。Webサイト作成の実習は授業だけでなく自習での作業が必須となる。したがって、多少、ハードな課題が多くなることが考えられる。

#### 内容

- 第1回 基本スキルチェック、Webと情報デザイン
- 第2回 Webサイト研究 マーケティング・コミュニケーション
- 第3回 デザインとディレクション
- 第4回 各自プロジェクトの発表
- 第5回 HTML・XHTML
- 第6回 インターフェイスとユーザビリティ
- 第7回 アクセシビリティとSEO
- 第8回 レイアウトとCSS、Flash
- 第9回 Webページのコーディング
- 第10回 コーディング演習1
- 第11回 コーディング演習2
- 第12回 プレゼンテーション
- 第13回 ~第15回 Webサイトの構築演習1~3

#### 評価

獲得したポイントにより下記のように評価します。\* 毎回授業後48時間以内に まとめ&感想(質問含む) Self-evaluationクラスの「良い点」「気になる点」「ネクストステップ(具体的な修正アイデア)」をメールで送信。 日常出席まとめ感想メール...1~7ポイント(提出【基礎点】...1ポイント、まとめ&感想...1~3ポイント、Self-evaluation1~3ポイント) レポート・課題...3~8ポイント(6回以上[授業2回につき1つ程度]課す) 最終課題or試験...5~10ポイント 合計ポイントと評価...D<60 C<70 B<80 A (4回以上の欠席は受講放棄とみなします)

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業中に指示します。

科目名	コンピュータミュージック		
担当教員名	棚谷 祐一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2,3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

コンピュータを使った音楽制作、音声の編集などを実習形式で学びます。

近年のパソコンの高性能化と周辺機器の低価格化によって家庭用PCのレベルでもハードディスクレコーディングによる音声の録音、編集などが比較的容易にあつかえるようになりました。

自宅あるいはオフィスで音楽(音声)コンテンツを作り、発信するというのがもはや決して特別なことではなくなり、それらのコンテンツや音楽ファイルの適切な取扱いができることは社会人として重要なスキルのひとつとなりつつあります。本年度からのシステムのリニューアルに伴い、この「コンピュータミュージック」も大幅に内容を刷新しました。定番シーケンスソフトのひとつ Cubase(キューベース)ファミリーの入門版であるCubaseAI 4を導入し、最新のDAW(デジタル・オーディオ・ワークステーション)の世界を体験的に学習します。

#### 内容

受講条件...コンピュータによる音楽や音声コンテンツの制作に興味があること。

音楽の専門的知識や楽器の演奏経験は必要ありません。

- ・Cubase AI4の基本操作
- ・MIDI による音楽データの作成
- ・VSTインストゥルメントを使ってみよう
- ・オーディオループ素材を活用した音楽制作
- ・オーディオレコーディングとオーディオデータの編集
- ・オーディオエフェクトとミックス
- ・オーディオファイルの書き出しとCDライティング など

#### 評価

出席60~70%、平常点&提出物30~40%(細部の配分は各担当者の裁量による)

総合60点以上を合格とする

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

以下すべて推薦図書(必須ではない)

- ・書籍(ガイドブック)

Cubase Seires 徹底操作ガイド...株式会社 リットーミュージック

- ・DVD

Cubase AI4(LE対応)使い方DVD講座...株式会社 ウォンツ

ミュージック・マスターガイドDVD "CUBASE 4"...株式会社 ミュージックマスター

科目名	コンピュータミュージック		
担当教員名	棚谷 祐一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2,3	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

コンピュータを使った音楽制作、音声の編集などを実習形式で学びます。

近年のパソコンの高性能化と周辺機器の低価格化によって家庭用PCのレベルでもハードディスクレコーディングによる音声の録音、編集などが比較的容易にあつかえるようになりました。

自宅あるいはオフィスで音楽(音声)コンテンツを作り、発信するというのがもはや決して特別なことではなくなり、それらのコンテンツや音楽ファイルの適切な取扱いができることは社会人として重要なスキルのひとつとなりつつあります。本年度からのシステムのリニューアルに伴い、この「コンピュータミュージック」も大幅に内容を刷新しました。定番シーケンスソフトのひとつ Cubase(キューベース)ファミリーの入門版であるCubaseAI 4を導入し、最新のDAW(デジタル・オーディオ・ワークステーション)の世界を体験的に学習します。

#### 内容

受講条件...コンピュータによる音楽や音声コンテンツの制作に興味があること。

音楽の専門的知識や楽器の演奏経験は必要ありません。

- ・Cubase AI4の基本操作
- ・MIDI による音楽データの作成
- ・VSTインストゥルメントを使ってみよう
- ・オーディオループ素材を活用した音楽制作
- ・オーディオレコーディングとオーディオデータの編集
- ・オーディオエフェクトとミックス
- ・オーディオファイルの書き出しとCDライティング など

#### 評価

出席60~70%、平常点&提出物30~40%(細部の配分は各担当者の裁量による)

総合60点以上を合格とする

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

以下すべて推薦図書(必須ではない)

- ・書籍(ガイドブック)

Cubase Seires 徹底操作ガイド...株式会社 リットーミュージック

- ・DVD

Cubase AI4(LE対応)使い方DVD講座...株式会社 ウォンツ

ミュージック・マスターガイドDVD "CUBASE 4"...株式会社 ミュージックマスター



科目名	コンピュータミュージック		
担当教員名	小西 真理		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2,3	ク ラ ス	1Cクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択,選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

コンピュータを使った音楽制作、音声の編集などを実習形式で学びます。

近年のパソコンの高性能化と周辺機器の低価格化によって家庭用PCのレベルでもハードディスクレコーディングによる音声の録音、編集などが比較的容易にあつかえるようになりました。

自宅あるいはオフィスで音楽(音声)コンテンツを作り、発信するというのがもはや決して特別なことではなくなり、それらのコンテンツや音楽ファイルの適切な取扱いができることは社会人として重要なスキルのひとつとなりつつあります。本年度からのシステムのリニューアルに伴い、この「コンピュータミュージック」も大幅に内容を刷新しました。定番シーケンスソフトのひとつである Cubase(キューベース)ファミリーの入門版であるCubaseAI 4を導入し、最新のDAWの世界を体験的に学習します。

#### 内容

受講条件はコンピュータによる音楽や音声コンテンツの制作に興味があること。

音楽の専門的知識や楽器の演奏経験は必要ありません。

- ・Cubase AI4の基本操作
- ・MIDI による音楽データの作成
- ・VSTインストゥルメントを使ってみよう
- ・オーディオループ素材を活用した音楽制作
- ・オーディオレコーディングとオーディオデータの編集
- ・オーディオエフェクトとミックス
- ・オーディオファイルの書き出しとCDライティング など

#### 評価

出席60~70%、平常点&提出物30~40%(細部の配分は各担当者の裁量による)

総合60点以上を合格とする

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

以下すべて推薦図書(必須ではない)

- ・書籍(ガイドブック)
  - 『Cubase Seires 徹底操作ガイド』(株)リットーミュージック
- ・DVD
  - 『Cubase AI4(LE対応)使い方DVD講座』(株) ウォンツ
  - 『ミュージック・マスターガイドDVD “CUBASE 4”』(株)ミュージックマスター

科目名	コンピュータミュージック		
担当教員名	小西 真理		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2,3	ク ラ ス	1Dクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

コンピュータを使った音楽制作、音声の編集などを実習形式で学びます。

近年のパソコンの高性能化と周辺機器の低価格化によって家庭用PCのレベルでもハードディスクレコーディングによる音声の録音、編集などが比較的容易にあつかえるようになりました。

自宅あるいはオフィスで音楽(音声)コンテンツを作り、発信するというのがもはや決して特別なことではなくなり、それらのコンテンツや音楽ファイルの適切な取扱いができることは社会人として重要なスキルのひとつとなりつつあります。本年度からのシステムのリニューアルに伴い、この「コンピュータミュージック」も大幅に内容を刷新しました。定番シーケンスソフトのひとつである Cubase (キューベース) ファミリーの入門版であるCubaseAI 4 を導入し、最新のDAWの世界を体験的に学習します。

#### 内容

受講条件はコンピュータによる音楽や音声コンテンツの制作に興味があること。

音楽の専門的知識や楽器の演奏経験は必要ありません。

- ・ Cubase AI4の基本操作
- ・ MIDI による音楽データの作成
- ・ VSTインストゥルメントを使ってみよう
- ・ オーディオループ素材を活用した音楽制作
- ・ オーディオレコーディングとオーディオデータの編集
- ・ オーディオエフェクトとミックス
- ・ オーディオファイルの書き出しとCDライティング など

#### 評価

出席60~70%、平常点&提出物30~40% (細部の配分は各担当者の裁量による)

総合60点以上を合格とする

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

以下すべて推薦図書(必須ではない)

- ・ 書籍(ガイドブック)
  - 『Cubase Seires 徹底操作ガイド』(株)リットーミュージック
- ・ DVD
  - 『Cubase AI4(LE対応)使い方DVD講座』(株) ウォンツ
  - 『ミュージック・マスターガイドDVD “CUBASE 4”』(株)ミュージックマスター

科目名	コンピュータミュージック		
担当教員名	棚谷 祐一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2,3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

コンピュータを使った音楽制作、音声の編集などを実習形式で学びます。

近年のパソコンの高性能化と周辺機器の低価格化によって家庭用PCのレベルでもハードディスクレコーディングによる音声の録音、編集などが比較的容易にあつかえるようになりました。

自宅あるいはオフィスで音楽(音声)コンテンツを作り、発信するというのがもはや決して特別なことではなくなり、それらのコンテンツや音楽ファイルの適切な取扱いができることは社会人として重要なスキルのひとつとなりつつあります。本年度からのシステムのリニューアルに伴い、この「コンピュータミュージック」も大幅に内容を刷新しました。定番シーケンスソフトのひとつ、Cubase(キューベース)ファミリーの入門版であるCubaseAI 4を導入し、最新のDAW(デジタル・オーディオ・ワークステーション)の世界を体験的に学習します。

#### 内容

受講条件はコンピュータによる音楽や音声コンテンツの制作に興味があること。

音楽の専門的知識や楽器の演奏経験は必要ありません。

「コンピュータミュージックI」を履修していない学生は、「I」の内容に準拠しますので、そちらを参照してください。

「コンピュータミュージックI」を履修した学生は、さらに複雑な楽曲制作に取り組みます。それに伴い、コードに関する知識や編曲の実際などを、実習を通して学習していきます。

最終的には自分で作った楽曲に語り(声)をのせた作品を発表することを、目標とします。

#### 評価

出席60~70%、平常点&提出物30~40%(細部の配分は各担当者の裁量による)

総合60点以上を合格とする

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

以下すべて推薦図書(必須ではない)

・書籍(ガイドブック)

Cubase Seires 徹底操作ガイド...株式会社 リットーミュージック

・DVD

Cubase AI4(LE対応)使い方DVD講座...株式会社 ウォンツ

ミュージック・マスターガイドDVD "CUBASE 4" ...株式会社 ミュージックマスター

科目名	コンピュータミュージック		
担当教員名	小西 真理		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2,3	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

コンピュータを使った音楽制作、音声の編集などを実習形式で学びます。

近年のパソコンの高性能化と周辺機器の低価格化によって家庭用PCのレベルでもハードディスクレコーディングによる音声の録音、編集などが比較的容易にあつかえるようになりました。

自宅あるいはオフィスで音楽(音声)コンテンツを作り、発信するというのがもはや決して特別なことではなくなり、それらのコンテンツや音楽ファイルの適切な取扱いができることは社会人として重要なスキルのひとつとなりつつあります。本年度からのシステムのリニューアルに伴い、この「コンピュータミュージック」も大幅に内容を刷新しました。定番シーケンスソフトのひとつである Cubase (キューベース) ファミリーの入門版であるCubaseAI 4 を導入し、最新のDAWの世界を体験的に学習します。

#### 内容

受講条件はコンピュータによる音楽や音声コンテンツの制作に興味があること。

音楽の専門的知識や楽器の演奏経験は必要ありません。

「コンピュータミュージックI」を履修していない学生は、「I」の内容に準拠しますので、そちらを参照してください。

「コンピュータミュージックI」を履修した学生は、さらに複雑な楽曲制作に取り組みます。それに伴い、コードに関する知識や編曲の実際などを、実習を通して学習していきます。

最終的には自分で作った楽曲に語り(声)のをせた作品を発表することを、目標とします。

#### 評価

出席60~70%、平常点&提出物30~40%(細部の配分は各担当者の裁量による)

総合60点以上を合格とする

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

以下すべて推薦図書(必須ではない)

・書籍(ガイドブック)

『Cubase Seires 徹底操作ガイド』(株)リットーミュージック

・DVD

『Cubase AI4(LE対応)使い方DVD講座』(株) ウォンツ

『ミュージック・マスターガイドDVD “CUBASE 4”』(株)ミュージックマスター

科目名	コンピュータミュージック		
担当教員名	小西 真理		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2,3	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

コンピュータを使った音楽制作、音声の編集などを実習形式で学びます。

近年のパソコンの高性能化と周辺機器の低価格化によって家庭用PCのレベルでもハードディスクレコーディングによる音声の録音、編集などが比較的容易にあつかえるようになりました。

自宅あるいはオフィスで音楽(音声)コンテンツを作り、発信するというのがもはや決して特別なことではなくなり、それらのコンテンツや音楽ファイルの適切な取扱いができることは社会人として重要なスキルのひとつとなりつつあります。本年度からのシステムのリニューアルに伴い、この「コンピュータミュージック」も大幅に内容を刷新しました。定番シーケンスソフトのひとつである Cubase (キューベース) ファミリーの入門版であるCubaseAI 4 を導入し、最新のDAWの世界を体験的に学習します。

#### 内容

受講条件はコンピュータによる音楽や音声コンテンツの制作に興味があること。

音楽の専門的知識や楽器の演奏経験は必要ありません。

「コンピュータミュージックI」を履修していない学生は、「I」の内容に準拠しますので、そちらを参照してください。

「コンピュータミュージックI」を履修した学生は、さらに複雑な楽曲制作に取り組みます。それに伴い、コードに関する知識や編曲の実際などを、実習を通して学習していきます。

最終的には自分で作った楽曲に語り(声)のをせた作品を発表することを、目標とします。

#### 評価

出席60~70%、平常点&提出物30~40%(細部の配分は各担当者の裁量による)

総合60点以上を合格とする

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

以下すべて推薦図書(必須ではない)

・書籍(ガイドブック)

『Cubase Seires 徹底操作ガイド』(株)リットーミュージック

・DVD

『Cubase AI4(LE対応)使い方DVD講座』(株) ウォンツ

『ミュージック・マスターガイドDVD “CUBASE 4”』(株)ミュージックマスター

科目名	サウンド処理演習		
担当教員名	設楽 優子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2,3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

本演習においては、主に言語音声デジタルに扱う。

英語と日本語の言語の個々の単音(母音、子音)の音響的特徴をコンピュータの画面で観察する。

表現的側面では、音声ファイルの簡単な編集加工(速度調節・逆再生・コピー・無音上書き・挿入貼り付けなど)も行う。また、パソコン上の録音をほぼ毎回行い、サウンドスペクトログラム(いわゆる声紋)画面をMSワードに貼り付け、適切なタイトルをつけるなどのタスクも重視する。ききわけ実験用音声作成にもできればつなげたい。

また、人間の聴覚のしくみについても触れ、耳がどのような音響分析をしているかも考える。

#### 内容

毎回の課題のほとんどで、マイクが必要である。モノラルマイク付ヘッドセットはスカイプ用などの安価なものでよいので、初回授業の後速やかに購入し、各自毎回持参のこと(マイクとヘッドフォンは一体でなくても良い)。ヘッドフォン部分はイヤフォン式でもよいが、両耳のものを用意すること。

録音と音声分析は、無料ソフトWaveSurferかPraatを使う予定(下記ではWaveSurferとのみ示す)。

1	音と聴覚の基本
2	サウンドレコーダーで録音し、Windows Media Playerで速度を変更したり逆再生をしたりする
3	WaveSurferで録音し、波形を拡大して観察する
4	ステレオ音声と位相・動いている音源
5	母音 その1 (サウンドスペクトログラムとフォルマント、猫のmieaouとの比較)
6	母音 その2 (男女の発音の比較)
7	母音 その3 (音声環境[隣接する子音]による比較)
8	子音 その1 (カ行・ガ行・タ行・ダ行・パ行・バ行音の特徴)
9	子音 その2 (促音「ッ」とは何か)
10	子音 その3 (サ行・ザ行・ハ行音の特徴)
11	子音 その4 (日本語のザ行音について[有声破擦音])
12	子音 その5 (ガ行鼻濁音とナ行・マ行音と「ン」)
13	子音 その6 (ラ行[流音]・ヤ行とワ[半母音])
14	ピッチ その1 (日本語の語アクセント[と中国語の四声])
15	ピッチ その2 (文の抑揚イントネーション)

#### 評価

15回の課題の提出物をそれぞれ6.6点満点(最終回のみ7.6点満点)で計算し、合計60点以上を合格とする。なお、提出物の評価点には、授業中に提出した物に名前が書けていれば出席点として2.6点を含めるので、総合点の4割は出席点となる。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【推薦書】石井直樹著、『音声工房を用いた音声処理入門』（CD-ROM付）、コロナ社、2800円。 007.1/I

レイ・D・ケント、チャールズ・リード著、『音声の音響分析』、海文堂出版、3200円。 801.1/K

ジャック・ライアルズ著、『音声知覚の基礎』、海文堂出版、2500円。 801.1/R

科目名	コンピュータグラフィック		
担当教員名	北原 俊一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2,3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

ソフトウェアPhotoshop を主に使用して、名刺、ポストカードなどのデザインをする。さまざまな作品例を題材に、その手法やソフトの操作について自分で納得しながら学び取っていく。将来、なんらかのデザインをしなくてはならなくなったとき、実現可能なデザインで、かつその手法が頭に浮かんでくるようになればよいと考えている。

なお、コンピュータグラフィック とは連動していないので、この科目の履修するにあたって、同科目の履修の有無は問わない。また、特にこの種のソフトウェアに関する予備的な知識は求めない。

#### 内容

プリントを配布し、その時間にマスターすべき技術を学んだ後、課題に取り組む。基本的には、一時間毎に完結する内容である。

1. パスの練習。パスを使って図形を描く。パスの保存と再利用。レイヤーの利用。
2. 選択ツールの練習。四角形選択ツール。マグネット選択ツールなど。  
パスを使った範囲選択。色域指定を利用した範囲選択。選択範囲の保存など。
3. 画像の合成。2枚以上の画像を1枚に合成する。
4. マスクの利用。マスクを理解して、画像合成時に透明度の違いによる効果をつける。
5. 描画モードの練習。レイヤーの合成方法をいくつか学び、それらを効果的に使うことを考える。
6. レイヤー効果とフィルタ。レイヤーに特殊効果をつける技術を学び、表現に幅を持たせる。
7. 紙、プラスチック、金属、水などのテーマで、作品を制作する。

#### 評価

出席状況20%、提出された課題を80%で評価。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

毎時間プリントを配布する。また、ネットワーク上にもプリントを置くようにする。参考書は適宜紹介する。



科目名	コンピュータアニメーション		
担当教員名	北原 俊一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2,3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択,選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

ホームページ上で動く数秒～数十秒の短いアニメーションを作成する。パラパラ漫画のようにすべてのフレームを描くのではなく、コンピュータを使って効率よくアニメーションを制作していく。その手法はトゥーンアニメーションというもので、動きの最初と最後のフレームだけを描き、中間のフレームはコンピュータに計算してもらおうということをする。このようなアニメーションの制作ツールとして広く知られているFLASH というソフトウェアを使用する。基本的に、毎時間に短いアニメーションをひとつ(あるいは数個)作成していき、その時間で完結するようにする。したがって、数分に及ぶ長いアニメーションを作りたいと考えている人には不向きな授業であるので注意して欲しい。

最終的に、表現したいアニメーションを自力で作れるようになればよいと考えている。最後の2・3時間は自分でひとつアニメーションを制作し、クラスの中で公開する予定である。

#### 内容

FLASH には大きく分けて描画機能とアニメーション機能がある。この2つをマスターしていく。

##### 【描画】

線と塗り。図形の分割と型抜き。

楕円ツールと線ツール。

図形のグループ化。

文字の加工。図形の分解。

グラデーションの利用。

##### 【アニメーション】

位置を変えるアニメーション。モーショントゥイーン

変形、回転するアニメーション。透明度が変化するアニメーション。

形を変えるアニメーション。シェイプトゥイーン

アニメーションの軌跡を指定する。モーションガイドレイヤー。

画面の一部を隠す。マスクレイヤー。

写真や効果音を利用したアニメーション

写真や効果音の取り込みとその利用。

#### 評価

出席状況20%、課題提出40%と最終作品40%により評価する。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

ネットワーク上に課題プリントを置くようにする。参考書は適宜紹介する。

科目名	マガジン制作ワークショップ		
担当教員名	佐藤 公正		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

「ワークショップ」とは仕事場のことですが、ひとつの課題について参加者が研究成果や試行の結果を述べ合い、初心者も理論と実技をあわせた基本を学ぶことができるような会議を意味しています。

「マガジン制作」では、まずニュース誌、ファッション誌、情報誌、写真誌、総合誌など多種多様な雑誌のなかでとくに女性誌を中心に取り上げて、その歴史と現状、課題などを知り、雑誌メディアの特質を学びます。

そのうえで、履修生はいくつかのグループごとに「編集部」を構成し、雑誌編集の実際に即して、その理論から企画会議、取材、執筆、レイアウトまで編集の基本的な技能と作業工程を全員で体験しながら自分版雑誌の手作りに挑戦します。したがって、この科目の前期 と後期 は連続して履修する必要があり、どちらか一方だけの履修は認められません。

このマガジン制作ワークショップ ・ の履修は、2年以上の配当科目である「コンピュータによるマガジン制作演習」、さらに「DTP」へと発展的に学ぶための土台となります。なお、作業上の制約から履修人数を制限することがあります。

#### 内容

##### 1. 雑誌の基礎知識

- ・ 発展の歴史(とくに女性誌を中心に)
- ・ 出版社の現状
- ・ 週刊誌報道の光と影

##### 2. 雑誌編集の理論と実際

- ・ 編集企画のたて方
- ・ 取材の方法
- ・ 原稿の書き方

##### 3. 取材と執筆と整理

- ・ 特集企画記事の決定と分担
- ・ 実際の取材と撮影
- ・ 原稿を仕上げる
- ・ レイアウト

##### 4. 完成作品の相互批評

実際の取材・編集作業の段階では、編集部単位で自主的に活動することが求められます。

#### 評価

前期の は企画内容を含むレポート80点、出席20点。後期の は完成した作品の評価100点。いずれも総計60点以上を合格とします。なお、4回以上の欠席は履修放棄とみなします。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

必要に応じてプリント資料を配布するほか、参考図書を紹介します。

科目名	マガジン制作ワークショップ		
担当教員名	佐藤 公正		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

「ワークショップ」とは仕事場のことですが、ひとつの課題について参加者が研究成果や試行の結果を述べ合い、初心者も理論と実技をあわせた基本を学ぶことができるような会議を意味しています。

「マガジン制作」では、まずニュース誌、ファッション誌、情報誌、写真誌、総合誌など多種多様な雑誌のなかでとくに女性誌を中心に取り上げて、その歴史と現状、課題などを知り、雑誌メディアの特質を学びます。

そのうえで、履修生はいくつかのグループごとに「編集部」を構成し、雑誌編集の実際に即して、その理論から企画会議、取材、執筆、レイアウトまで編集の基本的な技能と作業工程を全員で体験しながら自分版雑誌の手作りに挑戦します。したがって、この科目の前期 と後期 は連続して履修する必要があり、どちらか一方だけの履修は認められません。

このマガジン制作ワークショップ ・ の履修は、2年以上の配当科目である「コンピュータによるマガジン制作演習」、さらに「DTP」へと発展的に学ぶための土台となります。なお、作業上の制約から履修人数を制限することがあります。

#### 内容

##### 1. 雑誌の基礎知識

- ・ 発展の歴史(とくに女性誌を中心に)
- ・ 出版社の現状
- ・ 週刊誌報道の光と影

##### 2. 雑誌編集の理論と実際

- ・ 編集企画のたて方
- ・ 取材の方法
- ・ 原稿の書き方

##### 3. 取材と執筆と整理

- ・ 特集企画記事の決定と分担
- ・ 実際の取材と撮影
- ・ 原稿を仕上げる
- ・ レイアウト

##### 4. 完成作品の相互批評

実際の取材・編集作業の段階では、編集部単位で自主的に活動することが求められます。

#### 評価

完成した作品の評価100点。60点以上を合格とします。なお、4回以上の欠席は履修放棄とみなします。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

必要に応じてプリント資料を配布するほか、参考図書を紹介します。

科目名	ラジオ番組制作ワークショップ		
担当教員名	勝田 裕之		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

「ワークショップ」とは仕事場とか作業場の意味です。所定の課題について研究結果を持ち寄って討議を重ねる研修会などを指す言葉でもあります。

この授業では教室を「仕事場」と考えて、できる限り放送局で行われている方法に近い形で授業を進め、「ラジオ番組制作」の理論と実技を学びます。

#### 内容

##### < 理論 >

メディア多様化の中で、ラジオ番組とは何かを考える

- ・ラジオは古くて新しいメディア
- ・映像のないことを逆にとる(ラジオは聞き手の想像力を活性化する)
- ・小回りの利くラジオは災害報道に真価を発揮する

##### < 実技 >

放送機材の使い方

インタビュー番組を作る(インタビューは放送の基本)

- ・インタビューを通して人物を紹介する/インタビューを通して情報を伝える
- ・ディスクジョッキー番組を作る(広義にはすべてのラジオ番組はディスクジョッキー)
- ・話題中心のディスクジョッキー/音楽中心のディスクジョッキー
- 録音構成を作る
- ニュース番組を作る

以上のことを前期、後期を通して学んでいきます。

#### 評価

出席40点及びレポート60点により評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テキストは特に使用しません。その都度、資料を配ります。

【推薦書】『NHKことばのハンドブック』 NHK放送文化研究所編 NHK出版協会発行 810/N

科目名	ラジオ番組制作ワークショップ		
担当教員名	勝田 裕之		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	1	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

「ワークショップ」とは仕事場とか作業場の意味です。所定の課題について研究結果を持ち寄って討議を重ねる研修会などを指す言葉でもあります。

この授業では教室を「仕事場」と考えて、できる限り放送局で行われている方法に近い形で授業を進め、「ラジオ番組制作」の理論と実技を学びます。

#### 内容

##### < 理論 >

メディア多様化の中で、ラジオ番組とは何かを考える

- ・ラジオは古くて新しいメディア
- ・映像のないことを逆にとる(ラジオは聞き手の想像力を活性化する)
- ・小回りの利くラジオは災害報道に真価を発揮する

##### < 実技 >

放送機材の使い方

インタビュー番組を作る(インタビューは放送の基本)

- ・インタビューを通して人物を紹介する/インタビューを通して情報を伝える
- ・ディスクジョッキー番組を作る(広義にはすべてのラジオ番組はディスクジョッキー)
- ・話題中心のディスクジョッキー/音楽中心のディスクジョッキー
- 録音構成を作る
- ニュース番組を作る

以上のことを前期、後期を通して学んでいきます。

#### 評価

出席40点及びレポート60点により評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テキストは特に使用しません。その都度、資料を配ります。

【推薦書】『NHKことばのハンドブック』 NHK放送文化研究所編 NHK出版協会発行 810/N

科目名	ラジオ番組制作ワークショップ		
担当教員名	勝田 裕之		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

「ワークショップ」とは仕事場とか作業場の意味です。所定の課題について研究結果を持ち寄って討議を重ねる研修会などを指す言葉でもあります。

この授業では教室を「仕事場」と考えて、できる限り放送局で行われている方法に近い形で授業を進め、「ラジオ番組制作」の理論と実技を学びます。

#### 内容

##### < 理論 >

メディア多様化の中で、ラジオ番組とは何かを考える

- ・ラジオは古くて新しいメディア
- ・映像のないことを逆にとる(ラジオは聞き手の想像力を活性化する)
- ・小回りの利くラジオは災害報道に真価を発揮する

##### < 実技 >

放送機材の使い方

インタビュー番組を作る(インタビューは放送の基本)

- ・インタビューを通して人物を紹介する/インタビューを通して情報を伝える
- ・ディスクジョッキー番組を作る(広義にはすべてのラジオ番組はディスクジョッキー)
- ・話題中心のディスクジョッキー/音楽中心のディスクジョッキー
- 録音構成を作る
- ニュース番組を作る

以上のことを前期、後期を通して学んでいきます。

#### 評価

出席40点及びレポート60点により評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テキストは特に使用しません。その都度、資料を配ります。

【推薦書】『NHKことばのハンドブック』 NHK放送文化研究所編 NHK出版協会発行 810/N

科目名	ラジオ番組制作ワークショップ		
担当教員名	勝田 裕之		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	1	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

「ワークショップ」とは仕事場とか作業場の意味です。所定の課題について研究結果を持ち寄って討議を重ねる研修会などを指す言葉でもあります。

この授業では教室を「仕事場」と考えて、できる限り放送局で行われている方法に近い形で授業を進め、「ラジオ番組制作」の理論と実技を学びます。

#### 内容

##### < 理論 >

メディア多様化の中で、ラジオ番組とは何かを考える

- ・ラジオは古くて新しいメディア
- ・映像のないことを逆にとる(ラジオは聞き手の想像力を活性化する)
- ・小回りの利くラジオは災害報道に真価を発揮する

##### < 実技 >

放送機材の使い方

インタビュー番組を作る(インタビューは放送の基本)

- ・インタビューを通して人物を紹介する/インタビューを通して情報を伝える
- ・ディスクジョッキー番組を作る(広義にはすべてのラジオ番組はディスクジョッキー)
- ・話題中心のディスクジョッキー/音楽中心のディスクジョッキー

録音構成を作る

ニュース番組を作る

以上のことを前期、後期を通して学んでいきます。

#### 評価

出席40点及びレポート60点により評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テキストは特に使用しません。その都度、資料を配ります。

【推薦書】『NHKことばのハンドブック』 NHK放送文化研究所編 NHK出版協会発行 810/N

科目名	ビデオ制作ワークショップ		
担当教員名	岡崎 正義		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

『ワークショップ』とは仕事場とか作業場の意味です。所定の課題について研究結果を持ち寄って討議を重ねる研究会などをさす言葉でもあります。

『ビデオ制作』ではビデオカメラを使用して、学生自身が映像作品を作ります。

具体的には、毎年10月に行われる学園祭『桐華祭』をビデオ作品としてまとめます。

作り手の側からの実体験で、映像による表現を批判的に受け止める力(メディアリテラシー)をつけることをねらいとします。

#### 内容

##### 《前期》ビデオ制作ワークショップ

制作に必要な機器についての機能、特性、取り扱い。

カメラワークの習得。レンズの知識。

何をどう描くのか、テーマを決めて撮るとは、構成を考える。

三脚、マイクロホンの取り扱い。音の収録。インタビュー。

自然光を活かしたとり撮り方、斜光、順光、逆光。

##### 《後期》ビデオ制作ワークショップ

多くの学生が『桐華祭』のために準備してきた。その成果がどのように発揮されるのか、その様子をしっかりと作品としてまとめるのが後期の狙いです。

制作のプロセスを考え、各種のイベント、展示、屋台、フリーマーケット、路上ライブなどをいくつかの班に分かれて『桐華祭』を取材し、ノンリニア編集作業、コメント作成、音入れなどの作業をへて作品に完成するまでを実践します。

#### 評価

出席40点、実習30点、レポート30点による評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

『ビデオ取りの基本』野口著 『ビデオ制作の基本』野口共著の中から、各項目に応じた内容の資料を配付。その他必要なのは、そのつど配布する。



科目名	ビデオ制作ワークショップ		
担当教員名	岡崎 正義		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

『ワークショップ』とは仕事場とか作業場の意味です。所定の課題について研究結果を持ち寄って討議を重ねる研究会などをさす言葉でもあります。

『ビデオ制作』ではビデオカメラを使用して、学生自身が映像作品を作ります。

具体的には、毎年10月に行われる学園祭『桐華祭』をビデオ作品としてまとめます。

作り手の側からの実体験で、映像による表現を批判的に受け止める力(メディアリテラシー)をつけることをねらいとします。

#### 内容

##### 《前期》ビデオ制作ワークショップ

制作に必要な機器についての機能、特性、取り扱い。

カメラワークの習得。レンズの知識。

何をどう描くのか、テーマを決めて撮るとは、構成を考える。

三脚、マイクロホンの取り扱い。音の収録。インタビュー。

自然光を活かしたとり撮り方、斜光、順光、逆光。

##### 《後期》ビデオ制作ワークショップ

多くの学生が『桐華祭』のために準備してきた。その成果がどのように発揮されるのか、その様子をしっかり作品としてまとめるのが後期の狙いです。

制作のプロセスを考え、各種のイベント、展示、屋台、フリーマーケット、路上ライブなどをいくつかの班に分かれて『桐華祭』を取材し、ノンリニア編集作業、コメント作成、音入れなどの作業をへて作品に完成するまでを実践します。

#### 評価

出席40点、実習30点、レポート30点による評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

『ビデオ取りの基本』野口著 『ビデオ制作の基本』野口共著の中から、各項目に応じた内容の資料を配付。その他必要なのは、そのつど配布する。

科目名	フォト・ビデオジャーナリズム演習		
担当教員名	岡崎 正義		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2,3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

新聞・雑誌などの活字メディアから始まったジャーナリズムは、写真やビデオまで範囲を広げてきた。Seeing is believing. 確かに写真もビデオも見れば理屈抜きに分かることが多い。反面、意図的に加工された写真やビデオも存在する。受け取る側としては、そうしたフォト・ビデオジャーナリズムに対して、判別する目を持っていたい。見る目を養おう。まずは、自分で撮ってみることから始めてみよう。そして、他人に見てもらふ為の映像とは、どのようなものか考えてみよう。実習で検証しながら進めていきます。

#### 内容

1. オリエンテーション
2. 写真1 まず撮ってみよう
3. 写真2 シャッターチャンス、フォーカス、絞り、ポジション
4. 写真3 画角(写角)、構図、光の質と方向
5. 写真4 テーマを決めて撮る
6. 写真5 デジタルで保存する
7. 写真の良さ。ビデオの良さ
8. 動画から生まれた
9. 長さ(時間)の要素
10. 音を効果的に使う
11. アングルを変え、サイズを変え、多角的に。
12. 被写体が動く。カメラとVTRが動く。
13. 編集の役割
14. レポートについて
15. まとめ

#### 評価

実習による評価と期末に掲示された課題によるレポート。出席状況も評価の対象とする。出席40点、実習30点及びレポート30点の合計で評価し、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

必要な教材は、その都度、資料として配布する。

科目名	フォト・ビデオジャーナリズム演習		
担当教員名	岡崎 正義		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2,3	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

新聞・雑誌などの活字メディアから始まったジャーナリズムは、写真やビデオまで範囲を広げてきた。Seeing is believing. 確かに写真もビデオも見れば理屈抜きに分かることが多い。反面、意図的に加工された写真やビデオも存在する。受け取る側としては、そうしたフォト・ビデオジャーナリズムに対して、判別する目を持っていたい。見る目を養おう。まずは、自分で撮ってみることから始めてみよう。そして、他人に見てもらふ為の映像とは、どのようなものか考えてみよう。実習で検証しながら進めていきます。

#### 内容

1. オリエンテーション
2. 写真1 まず撮ってみよう
3. 写真2 シャッターチャンス、フォーカス、絞り、ポジション
4. 写真3 画角(写角)、構図、光の質と方向
5. 写真4 テーマを決めて撮る
6. 写真5 デジタルで保存する
7. 写真の良さ。ビデオの良さ。
8. 動画から生まれた
9. 長さ(時間)の要素
10. 音を効果的に使う
11. アングルを変え、サイズを変え、多角的に
12. 被写体が動く。カメラとVTRが動く。
13. 編集の役割
14. レポートについて
13. まとめ

#### 評価

実習による評価と期末に掲示された課題によるレポート。出席状況も評価の対象とする。出席40点、実習30点及びレポート30点の合計で評価し、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

必要な教材は、その都度、資料として配布する。

科目名	フォト・ビデオジャーナリズム演習		
担当教員名	岡崎 正義		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2,3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

新聞・雑誌などの活字メディアから始まったジャーナリズムは、写真やビデオまで範囲を広げてきた。Seeing is believing. 確かに写真もビデオも見れば理屈抜きに分かることが多い。反面、意図的に加工された写真やビデオも存在する。受け取る側としては、そうしたフォト・ビデオジャーナリズムに対して、判別する目を持っていたい。見る目を養おう。まずは、自分で撮ってみることから始めてみよう。そして、他人に見てもらふ為の映像とは、どのようなものか考えてみよう。実習で検証しながら進めていきます。

#### 内容

1. オリエンテーション
2. 写真1 まず撮ってみよう
3. 写真2 シャッターチャンス、フォーカス、絞り、ポジション
4. 写真3 画角(写角)、構図、光の質と方向
5. 写真4 テーマを決めて撮る
6. 写真5 デジタルで保存する
7. 写真の良さ。ビデオの良さ。
8. 動画から生まれた
9. 長さ(時間)の要素
10. 音を効果的に使う
11. アングルを変え、サイズを変え、多角的に
12. 被写体が動く。カメラとVTRが動く。
13. 編集の役割
14. レポートについて
15. まとめ

#### 評価

実習による評価と期末に掲示された課題によるレポート。出席状況も評価の対象とする。出席40点、実習30点及びレポート30点の合計で評価し、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

必要な教材は、その都度、資料として配布する。

科目名	ラジオ番組制作演習		
担当教員名	勝田 裕之		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2,3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

1年次の「ラジオ番組制作ワークショップ」を基に、さらに一歩進めた形で番組制作の実際を学びます。特にラジオ番組の企画立案・制作・評価という一つの流れを重視して授業を進めていきます。具体的には、「提案」をどのように作品化していくのかというプロセスの中で、番組制作の理論と実技を習得します。

#### 内容

< 番組は提案から始まる >

- ・常に「これは番組になるか」という好奇心を持続させる
- ・その上でどのようにして説得力のある提案書を書くか/通る提案書を書くコツを学ぶ
- ・提案書を基に番組意図を口頭で説明する(周囲の者に面白いと感じさせなければ番組は出来ない)

< 制作の実際 >

インタビュー番組

- ・相手から何を引き出すのか、目標を明確にする/インタビューの技法
- ディスクジョッキー番組(広義にはすべてのラジオ番組はディスクジョッキーといえる)
- ・話題中心/音楽中心のディスクジョッキー いずれの場合もコンセプトをはっきりさせる

録音構成番組

- ・ねらい、構成をしっかり立てる/構成表の作り方/スクリプトをどう書くか
- ラジオニュース
- ・何がニュースなのか/ラジオニュースの文章で大切なこと

< 作品合評会 >

- ・完成した番組をどう評価するか

1年次の「ラジオ番組制作ワークショップ」を一歩進めた形の授業になるので、これを履修した学生の受講が望ましい。

#### 評価

出席40点及びレポート60点により評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テキストは特に使用しません。その都度、資料を配ります。

【推薦書】『NHKことばのハンドブック』 NHK放送文化研究所編 NHK出版協会発行 810/N

科目名	ラジオ番組制作演習		
担当教員名	勝田 裕之		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2,3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

1年次の「ラジオ番組制作ワークショップ」を基に、さらに一歩進めた形で番組制作の実際を学びます。特にラジオ番組の企画立案・制作・評価という一つの流れを重視して授業を進めていきます。具体的には、「提案」をどのように作品化していくのかというプロセスの中で、番組制作の理論と実技を習得します。

#### 内容

< 番組は提案から始まる >

- ・常に「これは番組になるか」という好奇心を持続させる
- ・その上でどのようにして説得力のある提案書を書くか/通る提案書を書くコツを学ぶ
- ・提案書を基に番組意図を口頭で説明する(周囲の者に面白いと感じさせなければ番組は出来ない)

< 制作の実際 >

インタビュー番組

- ・相手から何を引き出すのか、目標を明確にする/インタビューの技法
- ディスクジョッキー番組(広義にはすべてのラジオ番組はディスクジョッキーといえる)
- ・話題中心/音楽中心のディスクジョッキー いずれの場合もコンセプトをはっきりさせる

録音構成番組

- ・ねらい、構成をしっかり立てる/構成表の作り方/スクリプトをどう書くか
- ラジオニュース
- ・何がニュースなのか/ラジオニュースの文章で大切なこと

< 作品合評会 >

- ・完成した番組をどう評価するか

1年次の「ラジオ番組制作ワークショップ」を一歩進めた形の授業になるので、これを履修した学生の受講が望ましい。

#### 評価

出席40点及びレポート60点により評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テキストは特に使用しません。その都度、資料を配ります。

【推薦書】『NHKことばのハンドブック』 NHK放送文化研究所編 NHK出版協会発行 810/N

科目名	映像編集演習		
担当教員名	岡崎 正義		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2,3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

ビデオカメラで撮影したもの(ショット)を並べ替え、リズムとテンポを考えながら、長さを決めていく。構成にしたがって「ねらい」を絞って、工夫して撮ったものを、カットして、「よく分かるように」つなぐ。少し大袈裟な表現ですが、「生かすも殺すも編集次第」です。

その際、編集する人のものの見方や感性が入り込みます。10人いれば10通りの編集になる筈です。編集するにあたって、当初考えていた構成の通りでよいかどうか、考え直す機会でもあります。

何を、誰に、如何にみせたいのか? それを絵と音で表現しようとするものです。

もちろん、ビデオの撮影がしっかりとできていることが前提となります。

#### 内容

1. オリエンテーション(ノンリニアの編集機を使って編集します)
2. アドビプレミアについて
3. 編集の約束事(方向性、目線、時間と空間のとばし方、サイズ、長さ、イマジナリーライン、など)
4. 何を見せたいのか? 「ねらい」は何か?
5. 構成を考える。編集のための素材を集める。ノンリニア編集機にとりこむ(キャプチャーする)。
6. カノーブスについて
7. 編集開始。どのような順番でカットをならべるか? どこを切り取るべきか?
8. 音を生かそう
9. エフェクトについて考えよう。
10. 文字を入れよう。カット表を作ろう。
11. コメントを書く。 選曲する。
12. コメント入れ。 音入れ(音楽、効果音)。
13. 必要に応じて手直し。
14. 視聴、検討。
15. まとめ

受け入れられる人数に制限があります。20人程度に絞って実施します。

#### 評価

出席50点及び実習50点の合計で評価し、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

必要な教材は、その都度、資料として配布する。

科目名	映像編集演習		
担当教員名	岡崎 正義		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2,3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

ビデオカメラで撮影したもの(ショット)を並べ替え、リズムとテンポを考えながら、長さを決めていく。構成にしたがって「ねらい」を絞って、工夫して撮ったものを、カットして、「よく分かるように」つなぐ。少し大袈裟な表現ですが、「生かすも殺すも編集次第」です。

その際、編集する人のものの見方や感性が入り込みます。10人いれば10通りの編集になる筈です。編集するにあたって、当初考えていた構成の通りでよいかどうか、考え直す機会でもあります。

何を、誰に、如何にみせたいのか? それを絵と音で表現しようとするものです。

もちろん、ビデオの撮影がしっかりとできていることが前提となります。

#### 内容

1. オリエンテーション(ノンリニアの編集機を使って編集します)
2. アドビプレミアについて
3. 編集の約束事(方向性、目線、時間と空間のとばし方、サイズ、長さ、イマジナリーライン、など)
4. 何を見せたいのか? 「ねらい」は何か?
5. 構成を考える。編集のための素材を集める。ノンリニア編集機にとりこむ(キャプチャーする)。
6. カノーブスについて
7. 編集開始。どのような順番でカットをならべるか? どこを切り取るべきか?
8. 音を生かそう
9. エフェクトについて考えよう。
10. 文字を入れよう。カット表を作ろう。
11. コメントを書く。 選曲する。
12. コメント入れ。 音入れ(音楽、効果音)。
13. 必要に応じて手直し。
14. 視聴、検討。
15. まとめ

受け入れられる人数に制限があります。20人程度に絞って実施します。

#### 評価

出席50点及び実習50点の合計で評価し、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

必要な教材は、その都度、資料として配布する。



科目名	映像編集演習		
担当教員名	岡崎 正義		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2,3	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

ビデオカメラで撮影したもの(ショット)を並べ替え、リズムとテンポを考えながら、長さを決めていく。構成にしたがって「ねらい」を絞って、工夫して撮ったものを、カットして、「よく分かるように」つなぐ。少し大袈裟な表現ですが、「生かすも殺すも編集次第」です。

その際、編集する人のものの見方や感性が入り込みます。10人いれば10通りの編集になる筈です。編集するにあたって、当初考えていた構成の通りでよいかどうか、考え直す機会でもあります。

何を、誰に、如何にみせたいのか? それを絵と音で表現しようとするものです。

もちろん、ビデオの撮影がしっかりとできていることが前提となります。

#### 内容

1. オリエンテーション(ノンリニアの編集機を使って編集します)
2. アドビプレミアについて
3. 編集の約束事(方向性、目線、時間と空間のとばし方、サイズ、長さ、イマジナリーライン、など)
4. 何を見せたいのか? 「ねらい」は何か?
5. 構成を考える。編集のための素材を集める。ノンリニア編集機にとりこむ(キャプチャーする)。
6. カノーブスについて
7. 編集開始。どのような順番でカットをならべるか? どこを切り取るべきか?
8. 音を生かそう
9. エフェクトについて考えよう。
10. 文字を入れよう。カット表を作ろう。
11. コメントを書く。 選曲する。
12. コメント入れ。 音入れ(音楽、効果音)。
13. 必要に応じて手直し。
14. 視聴、検討。
15. まとめ

受け入れられる人数に制限があります。20人程度に絞って実施します。

#### 評価

出席50点及び実習50点の合計で評価し、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

必要な教材は、その都度、資料として配布する。

科目名	イベント・CM制作演習		
担当教員名	河井 真也		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2,3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択,選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

1. コミュニケーションメディアとしての映像とは何かを、実際の映像物を通して考察する。
2. 「映画」はアートとしての作品性もあるが、商品としても捉えることも出来る。映画そのものがイベントであり映画をヒットさせる為に、15 秒のCM を制作したりする。どのようにして、ゼロから生まれた映画を、宣伝戦略と共に大衆にアピールしてゆくのかを考察します。。
3. 前半は私が製作した映画(「スワロウテイル」「リング」や「手紙」)やドラマ「スカイハイ」などを見ながら制作の過程を考察します。後半はチームに分かれて生徒によるショートドラマを実際に制作します。プロデューサー、監督、脚本、俳優などそれぞれの役割を実体験してもらいます。作品として映像に録ることも予定しています。

## 内容

1	映画・ドラマ・CMなど映像エンタテインメントとは何か。
2	企画する。プロットを書く。自分が何を表現したいか。
3	見る
4	シナリオを書いてみる
5	見る
6	俳優・監督・プロデューサー・スタッフの仕事
7	見る
8	音楽(音)の役割
9	宣伝・マーケティングの役割と実際
10	映画・ドラマのつくりかた
11	映画・ドラマのつくりかた
12	映画・ドラマのつくりかた
13	チーム別の実際の制作
14	チーム別の実際の制作
15	チーム別の実際の制作

## 評価

平常(出席含む)50 レポート(企画書など)50 合計100点として60点以上を合格とする。

## 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【参考図書】『リング』『らせん』(鈴木光司・角川文庫)「手紙」(東野圭吾・文春文庫)

【参考映画】「リング」「Jam Films」「病院へ行こう」「私をスキーに連れてって」「スワロウテイル」「初恋

」「手紙」「ぼくたちと駐在さんの700日戦争」

科目名	コンピュータによるマガジン制作演習		
担当教員名	大西 由華		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2,3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本の出版物がコンピュータで編集されるようになって20年が経ちました。アプリケーションソフトも成熟し、専門家だけでなくとも編集レイアウトが出来て、ちょっとしたコツを覚えれば、誰でもページを美しく仕上げることが出来るようになりました。

この授業では、レイアウトソフト『Adobe InDesign』を使って、編集に慣れていなくても、ひとまずコンピュータでマガジン制作してみたい人に体験いただける内容です。

「マガジン制作ワークショップ」を受講された方はステップアップ編として位置付けることができ、翌年の受講が優先されます。また「DTP 演習」を受講される方は、その前の受講をお勧めします。

コンピュータ操作が中心となるため、履修人数を制限することがあります。

#### 内容

- ・オリエンテーション
- ・DTP 基礎知識
- ・イラストや画像
- ・ツールの基本操作
- ・マスターページ
- ・ページレイアウト
- ・印刷

#### 評価

出席40点、授業態度20点、課題制作40点により評価を行い、60点以上を合格とします。試験は行いません。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

自主プリントを中心に使用し、必要に応じて随時紹介します。

科目名	コンピュータによるマガジン制作演習		
担当教員名	大西 由華		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2,3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本の出版物がコンピュータで編集されるようになって20年が経ちました。アプリケーションソフトも成熟し、専門家だけでなくとも編集レイアウトが出来て、ちょっとしたコツを覚えれば、誰でもページを美しく仕上げることが出来るようになりました。

この授業では、レイアウトソフト『Adobe InDesign』を使って、編集に慣れていなくても、ひとまずコンピュータでマガジン制作してみたい人に体験いただける内容です。

「マガジン制作ワークショップ」を受講された方はステップアップ編として位置付けることができ、翌年の受講が優先されます。また「DTP 演習」を受講される方は、その前の受講をお勧めします。

コンピュータ操作が中心となるため、履修人数を制限することがあります。

#### 内容

- ・オリエンテーション
- ・DTP 基礎知識
- ・イラストや画像
- ・ツールの基本操作
- ・マスターページ
- ・ページレイアウト
- ・印刷

#### 評価

出席40点、授業態度20点、課題制作40点により評価を行い、60点以上を合格とします。試験は行いません。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

自主プリントを中心に使用し、必要に応じて随時紹介します。

科目名	情報倫理		
担当教員名	佐藤 公正		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	1,4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

シティー(都市)に生活する人はシティズン(市民)ですが、情報ネットワークに依存して生活する人びとは「ネティズン」という新しい呼び名を与えられています。私たちはもうその一員に組み込まれています。モノに代わって情報の価値の生産と利用を軸に発展していく情報社会は、情報通信技術( ICT)の革新とともに未知の世界を作り出しています。そこには、便利さと背中合わせに大きな危険もひそんでいます。この新しいけれども未熟な社会にふさわしい新しいルールやマナーが必要不可欠です。

しかし、現実にはネットワーク上での誹謗中傷、プライバシーの侵害や有害情報の氾濫、経済犯罪、詐欺、著作権侵害などの事件が増える一方です。あなた自身、そうした被害者にも加害者にもなってしまうネティズンのひとりなのです。表現の自由と人権侵害、情報弱者と強者の格差問題もあります。情報ネット社会が日常生活にもたらす「光と影」について具体的な事例をもとに検証し、情報社会を快適に生きる基本的な知識とルールを身につけます。

#### 内容

1. インターネット社会の特質
2. 個人情報の保護
3. 情報セキュリティ
4. 人権の侵害
5. 有害情報と表現の自由
6. 著作権の保護と侵害
7. うまい話の危険性と被害回復
8. 電子メールのマナー
9. 情報社会の未来

#### 評価

原則として毎回、授業内容に関して「私の意見」と質問をリアクションペーパーの形で書き、提出してもらいます。その内容30点、期末のペーパーテスト70点とし、総計60点以上を合格とします。なお、原則として4回以上の欠席は履修放棄とみなします。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

##### 【教科書】

次の教科書を各自購入し、持参すること。

情報教育学研究会・情報倫理教育研究グループ『インターネット社会を生きるための情報倫理』(実教出版)。このほか、授業にあわせて毎回プリント資料を教材として配布します。

科目名	漫画論		
担当教員名	清水 玲子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	1,2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

世界に誇れる日本のマンガ文化を総合的に考察します。文化学、文学、音楽学、社会学、歴史学の方法論による学術的な分析と、現場からの報告等を重ね合わせながら、文化現象としてのマンガメディアについての講義が展開します。

具体的には、マンガ表現の歴史、マンガ表現の方法、マンガ表現の効果、テレビアニメの現在、マンガの書き方、マンガ市場、アニメの主題歌、マンガ批評や理論などを、分析・紹介し、多面的に考察します。

それぞれの領域については、本学内外の教員、さらに実作者や編集者を外部から講師として、マンガ文化についての理解を深めます。(今年度の特別講師は、「鉄腕アトム」の手塚プロ・マンガ家・声優・出版社の方を予定)

#### 内容

1. マンガ文化概説
2. マンガの歴史
3. マンガの批評と理論
4. マンガからアニメーションへ
5. アニメーション論
6. アニメーションと音楽
- 7~9. マンガの書き方
10. マンガビジネス
11. 著作権について
12. マンガと小説
13. マンガと舞台
14. マンガと映画・ドラマ
15. まとめ

特別講師の日程により、順序が変更の場合があります。

#### 評価

出席40%、毎回提出のレポート課題点60%で総合して評価する。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

適宜、テキスト・プリントを使用し紹介する。

科目名	国際マスコミュニケーション論		
担当教員名	鈴木 弘貴		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	1,2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

「国際マスコミュニケーション」とは、マス・メディアを中心にした国を越えた社会の間のコミュニケーションをいいます。例えば、高校のときに韓国に旅行にいかれた方は、向こうでNHKを見ることが出来るのに驚いたのではないのでしょうか。グローバル化の進展に伴い、国際マスコミュニケーションは質・量共に増大しつづけており、それが国家および社会にとってどのような影響を与えているのかを考えるのが本講義の目的です。「国境を越えるマス・コミュニケーションのインパクト」が講義のサブタイトルです。

関連科目として、「グローバル・ジャーナリズム」がありますが、両方受講する場合は、できれば「国際マスコミュニケーション論」を先に受講しておくことをお勧めします。

この講義を受けると、マスメディアやマスコミュニケーションの国際的な動きの、「一歩先」を考えるヒントがつかめると思います。

#### 内容

授業の進め方は、取り扱う内容が現在進行形の現象であることから、抽象的な議論のみに終始せず、ビデオなど生きた教材を活用していく予定です。一コマにつき、一つのキーワードについて、具体例をあげながらわかりやすく考えていこうと思っています。プリントに加え、ビデオやワークシートを使って、皆さんが飽きないように進めるつもりです。

取り扱うテーマは、前半は、「国際マスコミュニケーション」を議論していく上で必要な、基本的な事象や概念について、具体的な事例を交えながら解説していきます。取り扱う主な事象・概念は、文化帝国主義、情報主権、国境を越えるテレビ、集团的帰属意識などです。

後半は、ヨーロッパ・北米・アジアなどにおける具体的な「国際マスコミュニケーション」の状況を紹介しながら、前半で解説した概念の理解を深めていきます。講義の締めくくりでは、現在の日本を取り巻く「国際マスコミュニケーション」の状況を考えてみたいと思っています。

#### 評価

中間テスト(40%)と期末レポート(60%)

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

##### 推薦書

「情報化社会をめぐる諸相 - 国境を越えるコミュニケーションのインパクト」(共著、田中浩編著『現代思想とはなにか - 近・現代350年を検証する』所収、P.216-232龍星出版、1996年)



科目名	国際マスコミュニケーション論		
担当教員名	鈴木 弘貴		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	1,2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

「国際マスコミュニケーション」とは、マス・メディアを中心にした国を越えた社会の間のコミュニケーションをいいます。例えば、高校のときに韓国に旅行にいかれた方は、向こうでNHKを見ることが出来るのに驚いたのではないのでしょうか。グローバル化の進展に伴い、国際マスコミュニケーションは質・量共に増大しつづけており、それが国家および社会にとってどのような影響を与えているのかを考えるのが本講義の目的です。「国境を越えるマス・コミュニケーションのインパクト」が講義のサブタイトルです。

関連科目として、「グローバル・ジャーナリズム」がありますが、両方受講する場合は、できれば「国際マスコミュニケーション論」を先に受講しておくことをお勧めします。

この講義を受けると、マスメディアやマスコミュニケーションの国際的な動きの、「一歩先」を考えるヒントがつかめると思います。

#### 内容

授業の進め方は、取り扱う内容が現在進行形の現象であることから、抽象的な議論のみに終始せず、ビデオなど生きた教材を活用していく予定です。一コマにつき、一つのキーワードについて、具体例をあげながらわかりやすく考えていこうと思っています。プリントに加え、ビデオやワークシートを使って、皆さんが飽きないように進めるつもりです。

取り扱うテーマは、前半は、「国際マスコミュニケーション」を議論していく上で必要な、基本的な事象や概念について、具体的な事例を交えながら解説していきます。取り扱う主な事象・概念は、文化帝国主義、情報主権、国境を越えるテレビ、集团的帰属意識などです。

後半は、ヨーロッパ・北米・アジアなどにおける具体的な「国際マスコミュニケーション」の状況を紹介しながら、前半で解説した概念の理解を深めていきます。講義の締めくくりでは、現在の日本を取り巻く「国際マスコミュニケーション」の状況を考えてみたいと思っています。

#### 評価

中間テスト(40%)と期末レポート(60%)

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

##### 推薦書

「情報化社会をめぐる諸相 - 国境を越えるコミュニケーションのインパクト」(共著、田中浩編著『現代思想とはなにか - 近・現代350年を検証する』所収、P.216-232龍星出版、1996年)

科目名	グローバルジャーナリズム		
担当教員名	鈴木 弘貴		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	1,2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

この講義では、ニュースが国境を越えて飛び交い、かつ国境を越えて同じニュースが受容されているという、現代の新たな状況を考える。この「グローバル・ジャーナリズム」という用語の背景にあるさまざまな現象や含意は、現代社会のあり方の一面を切り取っているとさえ言え、今後、ジャーナリズムやグローバリゼーションのゆくえを考えるものにとって重要度が増していく視点となろう。そこでこの講義では、テレビジャーナリズムを中心にしながらその概念整理をしたうえで、CNNインターナショナルやBBCワールド、アルジャジーラといった事例をみてみたい。

やや内容が高度なので、事前に「国際マスコミュニケーション論」または、他のジャーナリズム関連科目を既に履修していることが望ましい。

#### 内容

1. 「グローバル」とは何か
2. ジャーナリズムと市民社会
3. ジャーナリズムを成立させている要件
4. グローバルなニュースの収集
5. グローバルなニュースの伝達
6. グローバルなニュースの選択・解釈
  - (ア)「国際ニュース」の問題点
    - 国民的フレームワークとステレオタイプ
    - 世界の中心と周辺」 - 報道の地域的偏りと情報格差
  - (イ)グローバルなニュースとは？
7. 「グローバル・ジャーナリズム」の現状 - 問題点と可能性

#### 評価

中間テスト(40%)と期末レポート(60%)

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

##### 推薦書

「グローバル・ジャーナリズム」(共著、田村、林、大井編『現代ジャーナリズムを学ぶ人のために』所収、p.178-195.世界思想社、2004年)

科目名	放送ジャーナリズム		
担当教員名	岡本 卓		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	1,2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

マスメディアは世界、国家、社会を映す鏡である。しかし、鏡が曇っていてはそれらを正しく映し出すことはできない。その結果、真に必要なとされ役に立つ情報を人々に安定的に提供することが出来なくなり、最近のマスメディアは放送メディアも活字メディアも多くの難問を抱えている。

特に大きな影響力を持つに至ったテレビは、人々の生活にとって必要不可欠の社会装置でありながら、『発掘！あるある大事典』のような捏造や視聴率至上主義の弊害、さらには政治(家)との関係のありようなど、さまざまな課題に直面している。

放送ジャーナリズムでは、こうしたテレビについて、影響力が大きいがために法の規制を受ける放送制度と言論・表現の自由や「知る権利」を中心とするジャーナリズムの原理原則との狭間で試行錯誤を繰り返している現状を検証し、テレビの社会的な機能や役割について考える。

また、テレビが伝えるさまざまなニュースを分析することによって、授業をテレビ報道の背後にある複雑な現代(史)を読み解く場としても位置づける。

#### 内容

1. ジャーナリズムとは～タイタニック号遭難から9・11米同時多発テロ・イラク戦争の今日まで
2. 「放送」とは～届かなければ放送じゃない 「あまねく論」「ユニバーサルサービス」
3. 放送と通信の融合(連携)～デジタル技術が可能にしたもの
4. 報道被害とBPO～メディアスクラム 送り手の論理と受け手の勝手 番組基準
5. 放送と政治～多様性の確保と所有規制問題 ケネディ対ニクソンTV討論から「小泉劇場」まで トナム戦争とマスメディア 放送の有事対応
6. 言論・表現の自由&知る権利と制約～名誉毀損とプライバシーの保護 少年法と少年犯罪報道
7. 戦争報道のありよう～ベトナム戦争から9・11同時多発テロ&イラク戦争 テレビの戦争報道ガイドライン ”ロボット戦争”とペン&カメラの力
8. 誰のための放送か～放送の公共性 視聴率至上主義

以上のようなテーマについて、それぞれ1回ないし数回に分けて授業を行う。

#### 評価

期末試験 = 50点 レポート(随時) = 30点 出席 = 20点 計100点 合格は60点以上

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書として授業で使う書物は特にない。資料はその都度配布する。

- 【推薦書】松田 浩『NHK』(岩波新書)  
 佐藤卓巳『メディア社会』(岩波新書)  
 平敷安常『キャパになれなかったカメラマン』(講談社)

NHK放送文化研究所 『放送の20世紀』（日本放送出版協会）

科目名	放送ジャーナリズム		
担当教員名	岡本 卓		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	1,2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

マスメディアは世界、国家、社会を映す鏡である。しかし、鏡が曇っていてはそれらを正しく映し出すことはできない。その結果、真に必要なとされ役に立つ情報を人々に安定的に提供することが出来なくなり、最近のマスメディアは放送メディアも活字メディアも多くの難問を抱えている。

特に大きな影響力を持つに至ったテレビは、人々の生活にとって必要不可欠の社会装置でありながら、『発掘！あるある大事典』のような捏造や視聴率至上主義の弊害、さらには政治(家)との関係のありようなど、さまざまな課題に直面している。

放送ジャーナリズムでは、こうしたテレビについて、影響力が大きいがために法の規制を受ける放送制度と言論・表現の自由や「知る権利」を中心とするジャーナリズムの原理原則との狭間で試行錯誤を繰り返している現状を検証し、テレビの社会的な機能や役割について考える。

また、テレビが伝えるさまざまなニュースを分析することによって、授業をテレビ報道の背後にある複雑な現代(史)を読み解く場としても位置づける。

#### 内容

1. ジャーナリズムとは～タイタニック号遭難から9・11米同時多発テロ・イラク戦争の今日まで
2. 「放送」とは～届かなければ放送じゃない 「あまねく論」「ユニバーサルサービス」
3. 放送と通信の融合(連携)～デジタル技術が可能にしたもの
4. 報道被害とBPO～メディアスクラム 送り手の論理と受け手の勝手 番組基準
5. 放送と政治～多様性の確保と所有規制問題 ケネディ対ニクソンTV討論から「小泉劇場」まで トナム戦争とマスメディア 放送の有事対応
6. 言論・表現の自由&知る権利と制約～名誉毀損とプライバシーの保護 少年法と少年犯罪報道
7. 戦争報道のありよう～ベトナム戦争から9・11同時多発テロ&イラク戦争 テレビの戦争報道ガイドライン ”ロボット戦争”とペン&カメラの力
8. 誰のための放送か～放送の公共性 視聴率至上主義

以上のようなテーマについて、それぞれ1回ないし数回に分けて授業を行う。

#### 評価

期末試験 = 50点 レポート(随時) = 30点 出席 = 20点 計100点 合格は60点以上

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書として授業で使う書物は特にない。資料はその都度配布する。

- 【推薦書】松田 浩『NHK』(岩波新書)  
 佐藤卓巳『メディア社会』(岩波新書)  
 平敷安常『キャパになれなかったカメラマン』(講談社)

NHK放送文化研究所 『放送の20世紀』（日本放送出版協会）

科目名	活字ジャーナリズム		
担当教員名	佐藤 公正		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	1,2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

本も新聞も読まない。読むのが苦痛 こんな若い世代の「活字離れ」が問題視されて久しい。「なぜ読まなきゃなんない？ ネット情報で間に合うのに」という声が皆さんからも聞こえてきそうです。でも、本当にそうでしょうか。この授業を受けたあとでは、そのような声は消えてしまうに違いありません。

私たちは、多くのメディアがもたらすおびただしい量の「情報」に囲まれて暮らしています。意識しないまま「情報」の渦に押し流され、おぼれてしまう危険と隣り合わせに生きているといっても大げさではありません。「活字」の代表である新聞を賢く、批判的に読み解くことは、この虚実とりまぜた情報の海を泳ぎ切るための強力な方位磁石を手に入れることだと考えます。「現在」を示し、「歴史」を証言する報道ジャーナリズムに焦点をあわせて、それが私たちの民主的な社会において担う役割、歴史と現状、直面する課題などについて多くの事例をもとに考察します。それらを通じて、この情報社会で自立した個人として生きていくための基本的な判断力を身につけましょう。

#### 内容

1. 新聞を手にとってみる(内容と構成)
2. ニュースとは何か(だれが、どのようにして判断するのか)
3. ジャーナリズムとは(その役割と特質)
4. 新聞記者の取材(政治・経済・社会・事件・国際・スポーツなど各分野の報道現場では)
5. 取材システムと課題(客観報道、記者クラブ、調査報道、誤報など)
6. 活字情報と映像情報の違い(戦争報道などをめぐって)
7. 表現の自由と人権の調整(公権力による規制と情報操作。世論とは)
9. 出版ジャーナリズム(雑誌媒体の特徴)
10. マスコミで働くということ(どんな心構えと能力が必要か)

授業のはじめに、新聞報道をもとに「その週のニュース」について意見発表を求めます。また毎回、授業への質問と意見をリアクションペーパーに書いてもらい、次回に答えて議論することで双方向性を保ちます。

#### 評価

期末のペーパーテスト70点、リアクションペーパーの内容30点とし、総計60点以上を合格とします。なお、原則として4回以上の欠席は履修放棄とみなします。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

##### 【推薦書】

- 『新・現場からみた新聞学』天野勝文、橋場義之編著(学文社)
- 『ジャーナリズムの思想』原寿雄著(岩波書店) 070.1/H
- 『新聞と戦争』朝日新聞取材班著(朝日新聞出版)

科目名	エンターテイメント映像論		
担当教員名	三枝 孝臣		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	1,2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

テレビ、映画、CM、音楽といったメディアの現実は刻々と変わろうとしています。

これからのマスメディアはどうなっていくのか？

テレビやインターネット、そして携帯の未来は皆さんの生活にどのような変化を与えていくのか？

この授業では、日本、そして世界のエンターテイメントがどのように作られ、現場ではどういったことが起こっているのか、を実際にVTRや映像を使いながら実践的に学んでいきます。又、マスコミで働く様々なゲストを招いたり、実際の撮影現場にフィールドワークに行く事も交えて進めていきます。

その中から、実際にマスコミで働くメディア表現者と同様の基礎知識を身に付けていく事を目的としています。

番組製作現場の見学など、フィールドワークやゲストによる講演といった授業の性格上、初回の授業に必ず出席の上、オリエンテーションを受け、簡単なレポートを提出してもらい、受講人数を20名から30名に絞って授業を行っていきます。

## 内容

1. テレビはどのように作られるのか
2. 企画作りから放送まで
3. 製作現場の現実
4. NHKと民間放送
5. 視聴率とはなんなのか
6. CMはいかにつくられるか
7. ハリウッドの映画作り
8. 日本映画は今どうなっているのか
9. 舞台はいかに作られるか
10. 音楽業界最先端事情
11. 出演者とエンターテイメント
12. ネットはいかにエンターテイメントを変えていくか
13. 放送の未来
14. あのクリエイターのヒット作りの秘密
15. エンターテイメント業界の夢と現実

## 評価

出席及び授業への積極的な参加60点。レポート及び実習40点により評価を行い、60点以上を合格とします。

## 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

特になし



科目名	サイバージャーナリズム		
担当教員名	平井 智尚		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2,3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

本講義ではインターネット上のジャーナリズム(サイバージャーナリズム)の問題について考える。ジャーナリズムと聞くと、マス・メディア組織に所属する専門家が行う活動のように思える。だが、「時事的な問題を記録し、その意味について解説・批評する活動」というジャーナリズムの定義にのっとるならば、個人のホームページ、ブログ、電子掲示板、SNSなどに書かれた内容もジャーナリズムに含まれる。すなわち、現代社会においてインターネットを利用する者は、誰しもがジャーナリズムと密接に関係しているのである。このように考えると、どことなく程遠い「ジャーナリズム」がとても身近に感じるのではないだろうか。本講義では日常生活におけるインターネット利用・経験との結びつきをふまえながら、サイバージャーナリズムの問題を考えていきたい。

内容

1	1 ガイダンス
2	2 サイバージャーナリズム概論
3	3 ニュースサイト :ポータルサイト、新聞社のウェブ展開、インターネット新聞
4	4 ニュースサイト :個人ニュースサイト
5	5 電子掲示板とジャーナリズム :NHK『日本の、これから ネット社会』視聴
6	6 電子掲示板とジャーナリズム :2ちゃんねる
7	7 ネットと「祭り」:NHK『特報首都圏 ネットの“祭り”が暴走する』視聴
8	8 ブログ・ジャーナリズムとブログ炎上
9	9 ウェブ日記の文化とSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)
10	10 検索エンジンとサイバージャーナリズム:NHK『グーグル革命の衝撃』視聴
11	11 動画サイトとジャーナリズム~YouTube、ニコニコ動画を事例として
12	12 諸外国のサイバージャーナリズム
13	13 ネットにおけるマスコミ批判の諸相
14	14 インターネット利用とリテラシー
15	15 講義のまとめ

評価

出席と授業内レポート(2~3回を予定)を平常点として40点、期末レポートを60点として評価を行い、60点以上を合格とする。なお受講者が多数の場合には期末レポートを試験に変更する場合もある。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】なし

【推薦書】なし

【参考図書】授業内で適宜紹介する

科目名	マス・コミュニケーションの社会心理学		
担当教員名	加藤 徹郎		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2,3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

「人間とメディアは、切っても切り離せないほど、密接な関係にある」。こういっても良いほど、私たちは日々、インターネットやテレビ、ラジオ、新聞など、様々なメディアに接触しています。そしてメディアが、社会的/文化的メッセージを送り続けている以上、私たちはメディアの映し出す「現実」や価値観に、少なからず影響を受けているのではないのでしょうか。あるいは、逆に私たちがメディアに影響を与えていくこともあるのかもしれません。本講義では、こうした「問い」を起点にし、マス・コミュニケーション論における「効果研究」を解説していくことで、メディアの影響力について様々な角度から考えていきます。理論的な問題の解説が中心となりますが、できる限り身近な具体例を取り上げて考察することで、メディアに対して幅の広い視野を形成することが、本授業の目的です。

#### 内容

1. オリエンテーション
2. 身のまわりのメディアについて問い直す - 情報行動 -
3. なぜ大衆はメディアに説得されてしまうのか? - 弾丸効果モデル -
4. メディアの影響力を疑ってみる - コミュニケーション2段階の流れ -
5. 遠くのメディアより近くの知人 - オピニオン・リーダー論 -
6. 複雑な「社会」をメディアはいかに映し出すのか? - 擬似環境論 -
7. 「何を考えるべきか」と「何に「ついて」考えるべきか」 - アジェンダ設定モデル -
8. 世論はいかに形成されるのか? - アジェンダ設定モデルの展開 -
9. 世間知、あるいは「空気」としてのメディア - 沈黙の螺旋モデル -
10. 長時間メディアに接していると、人間不信になる? - 培養効果モデル -
11. 視聴者によるメディア評価 利用と満足研究 -
12. 送り手の責任/受け手の責任 - カルチュラル・スタディーズ -
13. インターネット上のコミュニティ
14. 期末試験
15. まとめ/フィードバック

#### 評価

【レポート40点, 期末テスト60点, これに出席点を加えた総合評価】

期末試験の範囲は全ての講義内容とします。

#### 【注意事項】

映像資料を使用する関係上、遅刻・私語は厳禁とします。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

特になし(毎回、プリントを配布。参照資料はそのつど提示します。)

科目名	メディア文化研究		
担当教員名	加藤 徹郎		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2,3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

本講義ではテレビドラマを題材にし、映像の表現様式を、その物語構造を読み解くことで学んでいきます。映画やテレビドラマというのは、語り手が物語を語ると同時に、それを映像によって示すことで成立しているといえます。したがって講義ではまず、物語の構造と、それを効果的に映し出す映像手法を学び、そこから、これらのビジュアル・コンテンツが、私達の社会・文化的価値観とどのように影響しあい、結びついているのかについて学びます。

内容

毎回、映像資料を使用するので、1単元を2回に分けて講義していきます。

また、予定は変更する場合があります。

1	第1回	オリエンテーション	
2	第2回	テレビ・テキストの進行	統辞構造
3	第3回	テレビ・テキストの進行	統辞構造
4	第4回	テレビ・テキストの登場人物	範列構造
5	第5回	テレビ・テキストの登場人物	範列構造
6	第6回	テレビ・テキストの映像表現	
7	第7回	テレビ・テキストの映像表現	
8	第8回	テレビ・テキストにおける語りと視点	
9	第9回	テレビ・テキストにおける語りと視点	
10	第10回	テレビ・テキストの時間構造	
11	第11回	テレビ・テキストの時間構造	
12	第12回	相互テキスト性	
13	第13回	テキストの責任 / 視聴者の責任	相互テキスト性
14	第14回	期末試験	
15	第15回	まとめ / フィードバック	

評価

【中間レポート40%、期末テスト50%、これに出席点10%を加えた総合評価。60点以上単位修得。】

・レポート課題は、第5回までの講義で学んだ分析手法をもとにして、各自で自由に選んだドラマを実際に分析してもらいます(A4用紙1~2枚程度)。また期末試験の範囲は全ての講義内容とします。

【注意事項】

・映像資料をもとに講義を進めていく関係上、遅刻・私語は厳禁とします。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】藤田真文『ギフト、再配達 テレビ・テキスト分析入門』せりか書房 2006

科目名	ドキュメンタリー映像論		
担当教員名	小河原 正己		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2,3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択,選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

20世紀は、「映像の世紀」と言われている。19世紀末に登場した新しいメディア「映画」は、やがて大衆の人気に支えられ、娯楽の王様となる。その「映画」の大きな柱として、いわゆる「ドキュメンタリー映画」が登場する。この草創期に、何人もの先駆者たちが、ドキュメンタリー的な映像表現の手法を駆使して、数々の記録や作品を残した。20世紀半ばになると、テレビが登場。「ドキュメンタリー」は、フィルムからビデオに移行し、これまでに、様々な分野で、知られざる事実や隠された真相を記録、放送してきた。そこで、

1. 100年を越えるドキュメンタリーの歩みをたどり、その先駆者たちの映像表現の思想と手法を理解させる。
2. 講師が制作に関わっている番組を例に、番組制作の体験的、実践的な方法論を理解させる。
3. ドキュメンタリーをどう読みとるか、メディア・リテラシーについて理解を深めるとともに、ドキュメンタリーの今後の可能性について考察させる。

内容

1	「映像の世紀」の黎明・シネマの発明～リュミエール兄弟とG・メリエス(フランス)
2	ドキュメンタリー映画の先駆者(1)～ドキュメンタリーの父・R・フラハティ(アメリカ)
3	ドキュメンタリー映画の先駆者(2)～近代映画の父・D・W・グリフィス(アメリカ)
4	ドキュメンタリー映画手法の確立(1)～モンタージュ理論S・エイゼンシュテイン(ロシア)
5	ドキュメンタリー映画手法の確立(2)～美の祭典・L・リーフェンシュタール(ドイツ)
6	ドキュメンタリー映画理論の確立～J・グリアソンとP・ローサ(イギリス)
7	日本のドキュメンタリー映画の先駆者～戦う映画監督・亀井文夫
8	「映像の世紀」・テレビの登場～テレビ最初期のフィルム・ドキュメンタリー
9	ドキュメンタリーは、「音」をどう取り込んできたか～フィルムからビデオへ
10	ビデオは、テレビ・ドキュメンタリーをどう変えたか(1)～「NHK特集」凝視するカメラ
11	ビデオは、テレビ・ドキュメンタリーをどう変えたか(2)～「NHK特集」が記録したもの
12	テレビは、「ヒロシマ」をどう記録したか(1)～空白の記録
13	テレビは、「ヒロシマ」をどう記録したか(2)～爆心地の記憶
14	デジタル・メディア時代、ドキュメンタリーをどう見るか
15	デジタル・メディア時代、ドキュメンタリーはどうか

評価

期末のレポート50点、および出席50点により評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

- 【参考書】(1) ポール・ローサ著「ドキュメンタリー映画」(1936年)  
(2) エリック・バーナウ著「世界ドキュメンタリー史」(1974年)

- 【推薦書】(1) 吉田直哉著「映像とは何だろうか～テレビ制作者の挑戦」(岩波新書、2003年刊) 699/Y  
(2) NHK出版編「ヒロシマはどう記録されたか」(NHK出版、2003年刊) 210.75/H

科目名	メディア広告論		
担当教員名	志賀 道夫		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2,3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

広告に使われるメディアの特性を理解すること。  
情報流通の産業としての仕組みを把握すること。  
広告理論の基本として、マーケティングの基礎理論を理解すること。

今期は「マーケティング・コミュニケーション戦略」という考え方を講義します。  
口コミの発展型としてのブログがメディアになってきました。  
広告メディアミックスに、新しい潮流が生まれてきています。

まず、マスメディアを理解して、広告メディアのニュータイプを検討しましょう。

#### 内容

- 1 マーケティング基礎 第一週～第五週  
消費者行動モデル・標的市場モデル・製品ライフサイクル・競争戦略
- 2 メディアごとの各論 第七週から第十四週  
新聞社・テレビ局・雑誌社・屋外広告会社・ウェブメディア・POP
- 3 総括・コミュニケーション理論 第十五週

広告表現には深入りしません。  
マーケティング手法としては取り上げます。

日本能率協会マネージメントセンターの「広告ハンドブック」(井徳正吾編著)を資料とします。  
ダイヤモンド社の「新版マーケティング原理」(フィリップ・コトラー)に基づきます。  
いずれも、購入する必要はありません。  
松柏社の「新版入門コミュニケーション論」(宮原哲著)2300円+税、  
技術評論社の「小さなニュースに火を付けて売る」(松本拓也著)1480円+税  
いずれも、買ってでも読んでみてください。

#### 評価

レポート(100点満点)で評価します。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【推薦書】メディア、マーケティングについての100ページ以上の本を読んでおいてください。

- 1 . 宣伝会議刊 吉良俊彦著「ターゲット・メディア・トルネード」
- 2 . 日経広告研究所編 「基礎から学べる広告の総合講座」

科目名	メディア産業論		
担当教員名	小田 貞夫		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2,3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

デジタル技術の急速な進歩とブロードバンドの普及とによって、情報社会は劇的な変化を遂げ、メディアが果たす機能と役割も大きく変わってきました。契約数が1億件を超えた携帯電話は多様な情報を受発信するメディアとして通信市場を支配しています。新聞はウェブとの関わりを無視しては経営そのものが成り立っていかなくなりそうです。基幹メディアとされるテレビも、通信との融合で新しいビジネスモデルの構築を模索しています。映画や音楽産業はインターネット配信と携帯機器への蓄積によって、その構造が変わろうとしています。

なかでも新聞、出版、テレビなど旧来のメディアは、メディア環境の急激な変化の中で「構造不況」とでも言うべき危機的な状況に追い込まれています。

この授業では、放送、新聞、出版、映画、広告、音楽、通信、インターネットなど各メディアの現況と問題点を、産業構造や市場の動向と関連させながら概観します。将来マスコミの分野で働きたいという人にとって、いわば入門に当たるものでもあります。

#### 内容

1. 変革期を迎えたメディア産業
2. メディアビジネスとコンテンツ
3. 放送産業の生成と発展
4. テレビをめぐる問題
5. 構造不況 - 負のスパイラル -
6. 通信産業の変貌
7. モバイル時代のメディア
8. インターネットの急成長
9. ウェブ2.0の展開
10. 曲がり角の新聞産業
11. 出版不況と脱出への展望
12. 広告産業の現状と課題
13. 映像コンテンツの現況
14. ネット時代の音楽産業
15. 試験

#### 評価

出席点(40%) + 毎回提出を求める「今日の授業の感想と質問」(20%) + 期末のテストもしくはレポート(40%)

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

各テーマに関するレジュメを作成して配布します。

【参考図書】総務省編「平成21年版 情報通信白書」(ぎょうせい)

このほか授業の進行に合わせて参考図書を指示します。



科目名	演劇論A		
担当教員名	渡辺 保		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2,3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

今日の日本で上演されている演劇には、さまざまなかたちのものがあります。能狂言から文楽、歌舞伎のような古典劇。小さな空間で演じられて若者の熱狂的な支持を集めているいわゆる小劇場演劇。それとは対照的に一ヶ月十万人の人を集める大衆的な、かつ豪華絢爛たるエンターテインメント。あるいはシェイクスピアやチェーホフのような翻訳劇。それにこれも現代ではもっとも人気の高いミュージカルなど。その中からミュージカルの代表的な作品を選んで、演劇の楽しさ、魅力を味わって貰うのが、この授業のねらいです。むろん単に楽しさを知るだけではなく、演劇がギリシャから現代までたえず人間に愛されて来た理由 人間にとってなぜ演劇が必要なのか、そのことを考えます。昔の人は演劇は「心の糧」だといいました。「心の糧」とはなんでしょう。その意味は、芝居を見ることによって、人は自分自身を、そして自分の住む社会をふりかえり、そうすることによって生きていく勇気を得、人生の意味を知ることです。人はパンのみで生きるにあらざ。人間が生きていくためには精神的な「食糧」も必要なのです。シェイクスピアもいったように「芝居は人生の鏡」なのです。舞台に描かれた他人の人生を見ることによって自分を見つめ直すチャンスなのです。たとえば私たちはミュージカル「マイ・フェア・レディ」のイライザの恋の行方に一喜一憂しながら、恋とはなにかを知るのです。社会の仕組みを知ること、そして自分探しの最大のチャンスこそ演劇の魅力です。

#### 内容

三日間の集中講義ですから多くの作品をやることはできません。私が厳選した今日の演劇の成果のうち、三谷幸喜の喜劇「笑いの大学」、「オケピ」。現代劇の鈴木忠志の「別冊 谷崎潤一郎」。松田正隆作、平田オリザ演出の「月の岬」、ミュージカルの「マイ・フェア・レディ」と「シカゴ」。そして蜷川幸雄演出の「ロミオとジュリエット」と「近松心中物語」。以上の舞台を具体的に分析し、そこにかくされた魅力、意味をさぐりたいと思っています。これらの作品は、いずれも現代演劇の傑作であり、非常にすぐれた内容をもっています。その作品を分析することによって、演劇の本質的な魅力を考えようとするわけです。この授業を通して、演劇の見方、ひいては自分の人生、自分の住んでいる社会の見方を学んでほしいと思います。その他のことについては、第一時限に質問して下さい。なお、私の教室の規則は二つしかありません。一つは私語厳禁、もう一つは遅刻厳禁です。出席はとりません。その他は自由です。

#### 評価

テストは、最後の時間に行いますが、範囲は授業を行った全作品が対象になります。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テキスト、参考書は一切ありません。

科目名	演劇論 B		
担当教員名	島村 豊博、森 美栄、向後 朋美		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2,3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

---西洋演劇を通してみる西洋文化---

シェイクスピアの『お気に召すまま』のジェイクウィーズの台詞に、「この世はすべて一つの舞台」というのがあります。これは、演劇には社会を映す鏡であるという一面があるということを示す台詞です。そこで、この授業では、古代ギリシャから現代までの西洋演劇の流れを通して、ヨーロッパの演劇がどのように時代や社会を映し出し、人々にどのような影響を与えてきたのかを検討したいと思います。

## 内容

古代ギリシャ・ローマ演劇から現代劇までを取り上げて講義します。古代から現代までのそれぞれの時代におけるヨーロッパの代表的作家及び代表的戯曲を紹介するとともに、さまざまな演劇形態や演劇の種類を具体的に概説した上で、それぞれの時代の社会背景からヨーロッパの文化を探ります。さらに、各々の演劇に対する具体的なイメージを持てるように、図版やビデオを活用したいと思います。また、半期の授業期間に一本の西洋演劇の上演を観劇し、そのレポートを提出してもらいたいと思いますので、テキスト代とは別に観劇代がかかりますので、あらかじめ承知していただき。劇なんか観たこともない、演劇なんて知らない学生も大歓迎です。

1. 演劇の起源
2. 古代ギリシャ劇
3. 古代ローマ劇
4. 中世演劇
5. エリザベス朝演劇
6. スペインの黄金世紀
7. コメディア・デラルテ
8. フランス古典主義演劇
9. ロマン主義演劇
10. 近代劇
11. 現代劇

## 評価

出席点(15%)、レポート(35%)、定期試験(50%)。

## 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】ロペール・ピニャール著『改定新版 世界演劇史』(文庫クセジュ)、白水社、¥ 951 + 税

科目名	民俗歌謡の世界		
担当教員名	平野 多恵		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2,3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

歌謡とは韻律を伴って歌われたうたのことである。人々の中ではぐくまれてきた歌謡は、それが歌われた時代や地域の生活と密接に関わっている。

本講義では、日本を中心としてアジアの歌謡を取り上げ、歌謡を生み出す母体の一つであった信仰との関わりについて考えていく。

#### 内容

以下のようなテーマで授業を進める。

##### 民俗歌謡とは何か

民俗歌謡の定義について概説

##### 祭りのなかの歌謡

日本各地の祭りにおける神楽についての検討と考察

##### 神仏の託宣としての歌謡

日本・韓国・沖縄等における巫者による託宣と歌謡の関係についての検討と考察

授業では毎回リアクションペーパーを書いてもらい、次の授業でフィードバックする。

#### 評価

平常の受講態度(10点)、授業中に提出するリアクションペーパー(30点)、学期末試験(60点)により、総合的に評価する。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

適宜、プリントを配布します。

科目名	音楽とコミュニケーション		
担当教員名	棚谷 祐一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2,3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

音楽は非言語的コミュニケーション手段のひとつとして絶えず私たち人間のそばにあった。メディアやテクノロジー、あるいは産業構造の変遷に伴って私たちと音楽の関係は変化し続け、作曲や作品という従来の固定的な概念すら再定義を迫られているというのが現状である。

J-Pop、R&B、ロック、ヒップホップ、テクノ、ジャズ……私たちが日常的に接する音楽の多くは(音楽を仮にポピュラー音楽とそうでないものに分けるとすると)、広い意味でのポピュラー音楽と呼んでいいが、大多数の人々にとってそれらは「ポピュラー音楽」であると意識されることもなく、ごく当たり前の音楽のあり方として享受されている。だがいったい、私たちにとってもっとも身近である「ポピュラー音楽」とは何で、どこからやって来たのか？この問いを検証することは、21世紀に入って早10年近くを経ようとしている現在、多少誇張して言えば私たちの文化の足元を見つめ直す意味でも意義深いはずだ。そのためにはやはり20世紀アメリカを起点とするポピュラー音楽という膨大で果てしのない森の中に足を踏み入れていくことをためらってはならないだろう。様々な音楽のスタイルについてCDやDVDなど音源、映像資料を用いながら考察を加えていくことで、音楽のみならずそれらの形成された時代背景や文化全般に対する認識を深めることをねらいとする。また、テクノロジー環境の変化が音楽にもたらす影響についても考察する。

#### 内容

- ・ポピュラー音楽はどこからやって来たのか？
- ・ブルーズとジャズ
- ・ロックの50年史
- ・ソウルとファンク
- ・フォークとシンガー・ソングライター
- ・アイルランドの音楽
- ・ブラジルの音楽
- ・テクノロジーと音楽～現状と展望～

などを扱う予定(内容は都合により一部変更することがあります)

#### 評価

出席 70% 平常点とレポート 30%  
総合60点以上を合格とする

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

推薦図書(必携ではない)

大衆音楽史 森 正人 著 中公新書  
ポピュラー音楽へのまなざし 東谷護 著 勁草書房

音楽未来形 増田聡・谷口文和 著 洋泉社

科目名	日本語学		
担当教員名	松永 修一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2,3,4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本語の面白さを知る！

この授業は、アクティブラーニング(学生が自ら正解を探す「能動的学習スタイル」)による参加型授業です。母国語として特に気づくこともなく使っている日本語を、何で? どうして? を大切に言語研究でわかってきたさまざまな成果を元に考察していきます。単なる知識の伝授だけでなく、考えるプロセスも訓練しましょう。また、ことばや文化との関わりについて考えながら、情報の目利きとして生きることの楽しさについても考えていきましょう。みなさんの様々なアイデア・思考を期待します。大学での学び・気づきのきっかけになると嬉しいですね。

## 内容

- 第1回 インストラクション(授業の方法と評価の仕方)
- 第2回 言語とは何?
- 第3回 日本語っていつからはじまったの?
- 第4回 言語とコミュニケーション
- 第5回 音声言語としての日本語(音声記号を書けるようにしよう!)
- 第6回 日本語音声の特徴
- 第7回 日本語方言の音声
- 第8回 音響分析と日本語
- 第9回 アクセントとイントネーション
- 第10回 方言とアクセント
- 第11回 文字の歴史
- 第12回 変体仮名を読む(古今集の恋の歌を読む)
- 第13回 表記のゆれと変化
- 第14回 日本語を考える
- 第15回 フィードバック

## 評価

獲得したポイントにより下記のように評価します。\* 毎回授業後48時間以内に まとめ&感想(質問含む) Self-evaluationクラスの「良い点」「気になる点」「ネクストステップ(具体的な修正アイデア)」をメールで送信。 日常出席まとめ感想メール...1~7ポイント(提出【基礎点】...1ポイント、まとめ&感想...1~3ポイント、Self-evaluation1~3ポイント) レポート・課題...3~8ポイント(6回以上[授業2回につき1つ程度]課す) 最終課題or試験...5~10ポイント 合計ポイントと評価...D<60 C<70 B<80 A (4回以上の欠席は受講放棄とみなします)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業中に指示します。

科目名	日本語学		
担当教員名	松永 修一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2,3,4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択,選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本語の面白さを知る！

この授業は、アクティブラーニング(学生が自ら正解を探す「能動的学習スタイル」)による参加型授業です。母国語として特に気づくこともなく使っている日本語を、何で? どうして? を大切に言語研究でわかってきたさまざまな成果を元に考察していきます。単なる知識の伝授だけでなく、考えるプロセスも訓練しましょう。また、ことばや文化との関わりについて考えながら、情報の目利きとして生きることの楽しさについても考えていきましょう。みなさんの様々なアイデア・思考を期待します。大学での学び・気づきのきっかけになると嬉しいですね。

## 内容

- 第1回 インストラクション(授業の方法と評価の仕方)
- 第2回 流行語・ことばの変化
- 第3回 正しいことば・間違ったことば
- 第4回 語彙1
- 第5回 語彙2
- 第6回 敬語・待遇表現
- 第7回 ことばのスタイル
- 第8回 ことばを調べる1
- 第9回 ことばを調べる2
- 第10回 ことばを調べる3
- 第11回 ワークセッション1
- 第12回 ワークセッション2
- 第13回 外国語と日本語
- 第14回 日本語を考える
- 第15回 フィードバック

## 評価

獲得したポイントにより下記のように評価します。\* 毎回授業後48時間以内に まとめ&感想(質問含む) Self-evaluationクラスの「良い点」「気になる点」「ネクストステップ(具体的な修正アイデア)」をメールで送信。  
 日常出席まとめ感想メール...1~7ポイント(提出【基礎点】...1ポイント、まとめ&感想...1~3ポイント、Self-evaluation1~3ポイント) レポート・課題...3~8ポイント(6回以上[授業2回につき1つ程度]課す) 最終課題or試験...5~10ポイント 合計ポイントと評価...D<60 C<70 B<80 A  
 (4回以上の欠席は受講放棄とみなします)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業中に指示します。

科目名	ことばの心的メカニズム A		
担当教員名	向後 朋美		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2,3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（英語） / 中学校教諭一種免許状（英語） / マスメディアコース		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

対象言語としては主に英語を取り上げながら、心理言語学・社会言語学・通時言語学の諸分野に関する基本的な概念や考え方を学びます。

なお、統語論・意味論・形態論・語用論等の言語学の諸分野については「ことばの心的メカニズム C」で、音声学・音韻論の分野については「ことばの心的メカニズム B・D」で扱うので、4科目すべてを履修すれば英語学・言語学に関する主要な概念・考え方を学ぶことが可能となります。英語の教職課程を履修している学生はできる限り4科目すべてを履修してください。

#### 内容

以下の各トピックに関して基本的な概念・考え方等の説明を講義形式で行います。また毎授業の最初に前回の授業の復習小テストを行ないます。

##### (1) オリエンテーション（第1週）

言語学のめざすもの

##### (2) 言語とは何か？（第2～5週）

（人間）言語の特性、動物の「言語」と人間言語

##### (2) 言語の習得＜心理言語学＞（第6～10週）

母語の習得（英語の資料を中心に）、第二言語の習得（第二言語が英語の場合を中心に）

##### (3) 言語の多様性＜社会言語学＞（第11～13週）

使用地域・使用者の性別・年齢・属する社会などによる違い

##### (4) 言語と脳＜神経言語学＞（第14～15週）

人間は脳のどの部分を使ってことばを発し、理解するのか

#### 評価

下記の割合で点数化し、60%以上の得点を合格とします。

(1) 期末試験： 60%

(2) 小テスト： 30%

(3) 出席・平常点： 10%

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】プリントを配布します。

【推薦書】『ことばの科学ハンドブック』, 郡司隆男・西垣内泰介編, 研究社, 2800円. 801/K

『言語研究入門』, 大津由紀雄・池内正幸・今西典子・水光雅則編, 研究社, 3500円. 801/G

【参考図書】『言語学の方法』, 郡司隆男・坂本勉著, 岩波書店, 3000円.

『言語の科学入門』, 松本祐治他著, 岩波書店, 3400円.

『言語の獲得と喪失』, 橋田浩一他著, 岩波書店, 3400円.



科目名	ことばの心的メカニズムB		
担当教員名	設楽 優子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2,3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（英語） / 中学校教諭一種免許状（英語） / マスメディアコース		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

言語の個々の音（母音・子音・半母音）の詳細は、「ことばの心的メカニズムD」で扱うが、本科目では、個々の音から自然な話しことばへの橋渡しを行う。英語の音連続から文の発音へと体系的にリズムとイントネーションを学んで効率よく練習をし、これを通じて日本語の音声の特徴も浮かび上がらせたい。

外国語として英語を学ぶ者が、自然な英語を話すようになるには、勘にたよってまねをするしか方法がない訳ではない。一般に、幼い子どもが言語を習得する際は、個々の音の正確な発音よりも、複数の音にわたって起こるリズムとイントネーション（韻律）の方を先に習得するといいい、まさにトップダウンで発音を身につけている。しかし、外国語として英語を学ぶ者が、そのイントネーションを自然なものに近付けるには、いきなり「リズムよく練習」するのではなく、地道にボトムアップをした方が効率がよいのである。

\*なお、「ことばの心的メカニズムA~D」をあわせると英語学・言語学に関する主要な概念・考え方を学ぶことができるので、英語の教職課程を履修している学生はできる限り4科目すべての履修が望ましい。

#### 内容

主に、教科書第V章以降を扱う。本科目で詳しく扱えない第I - IV, IX章の各章は、本年度後期「ことばの心的メカニズムD」で扱う。また、来年度開講予定の別名称の科目でも第I - IV, IX章の内容は扱う（予定）。

1	教科書「III. 母音」と「IV. 子音」の要点の紹介
2	【朗読】： 英語の歌の歌詞などを使って録音・提出していただきます
3	V. 音の連続 その1（音節）
4	V. 音の連続 その2（/str-/などの同一音節内の子音連続）
5	V. 音の連続 その3（単語間のリエゾンなど、音連続について）
6	V. 音の連続 その4（音脱落）
7	V. 音の連続 その5（同化などの音変化）
8	VI. アクセント その1（語、句、文のアクセント）
9	VI. アクセント その2（文の中の弱音節などについて）
10	VI. イントネーション その1（音調群と核音節）
11	VI. イントネーション その2（イントネーションの意味について）
12	VI. イントネーション その3（注意すべき英語イントネーションのパターン）
13	【朗読】： 物語文などを使って録音・提出していただきます
14	復習
15	期末試験

#### 評価

第2週の提出物を20点、第13週の提出物を20点、期末試験（音調群の核の聞きとりなどを含む）を20点、出席点を40点として、合計60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】竹林滋 / 斎藤弘子著 (2008)、新装版『英語音声学入門』（音声CD付）、大修館書店。（「ことばの心的メカニズムD」でも教科書として使用します。）

科目名	ことばの心的メカニズムC		
担当教員名	向後 朋美		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2,3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

英語を科学的に分析・研究する対象として扱い、英語学の中核をなす形態論(英語の単語の構造)、統語論(英語の文の構造)、意味論(意味の構造)を中心に、さらに語用論などの分野も含めて、英語学の基本的な概念を学びます。適宜、大多数の学生の母国語である日本語と比較することにより英語という言語の持つ特徴を浮き彫りにできるようにしたいと考えています。また講義科目ではありますが、実際に演習課題を行うという作業も多く取り入れて、言語に関する科学的な見方を養うことを目標とします。

なお、言語学の関連分野については「ことばの心的メカニズムA」で、音声学・音韻論の分野については「ことばの心的メカニズムB・D」で扱うので、4科目すべてを履修すれば英語学・言語学に関する主要な概念・考え方を学ぶことが可能となります。英語の教職課程を履修している学生は4科目すべてを履修してください。

#### 内容

以下の各トピックに関して基本的な概念・考え方等の説明を講義形式で行います。理解を深めるための演習や課題の提出、毎授業の最初に前回の授業の復習小テストがあります。

- (1) 形態論(第1週~5週): 語はどのような構造をもっているのか、語形成の規則性
- (2) 統語論(第6週~10週): 句・文はどのような構造をもっているのか
- (3) 意味論(第11週~13週): 語や文の意味はどのように記述されるのか
- (4) 語用論(第14週~15週): 言語はどのように使用されるのか

#### 評価

下記の割合で点数化し、60%以上の得点を合格とします。

- (1) 期末試験: 60%
- (2) 小テスト: 30%
- (3) 出席・平常点: 10%

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】プリントを配布します。

【推薦書】『ことばの科学ハンドブック』, 郡司隆男・西垣内泰介編, 研究社, 2800円. 801/K

『言語研究入門』, 大津由紀雄・池内正幸・今西典子・水光雅則編, 研究社, 3500円. 801/G

『文法』, 益岡隆志他著, 岩波書店, 3400円. 801.08/1/5

【参考図書】『言語学の方法』, 郡司隆男・坂本勉著, 岩波書店, 3000円.

『言語の科学入門』, 松本祐治他著, 岩波書店, 3400円.

科目名	ことばの心的メカニズムD		
担当教員名	設楽 優子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2,3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*,選必,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)/マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

言語の個々の音(母音・子音・半母音)の発音をしているときの口の中の各部分の動きを考えて、図などで説明できるようにし、発音記号も読み書きできるようにする。個々の発音で英語と日本語の違いを客観的に説明できるようにし、自らの英語の発音を改善する。また、英語の聞き取り力の向上もねらう。本科目を通して、日本語の発音についての理解も深める。

\*なお、「ことばの心的メカニズムB」では、より時間の長い発音(音連続・リズム・イントネーション)を扱う。「ことばの心的メカニズムA・C」と合わせれば英語学・言語学に関する主要な概念・考え方を学ぶことができるので、英語の教職課程を履修している学生はできる限り4科目すべての履修が望ましい。

#### 内容

日本人にとって混同しやすい英語の発音(rとlなど)の聞き分けができ、また、自分でも発音し分けられるようになるには、ネイティブスピーカーの発音をただ単に聞き流すだけでは不十分な場合が多い。青年の年齢になってからは特にそうである。まず口の各部分の動きなどを理解してから、自分で聞き分けができなくても発音の区別をつけて練習していくことによって、だんだんと聞き分けられるようにする。発音分析には知的ゲームの要素もあるが、応用・実践を心がけて取り組んでいただきたい。

1	I. 現代英語の標準発音 II. 音声器官と音の分類 IX. 綴り字と発音
2	III. 母音-短母音 その1 (KIT, DRESS, TRAP)
3	III. 母音-短母音 その2 (LOT, STRUT, FOOT)
4	III. 母音-長母音 その1 (FLEECE, PALM, BATHの英米音)
5	III. 母音-長母音 その2 (THOUGHT, CLOTHの英米音, GOOSE, NURSE)
6	III. 母音-二重母音 (FACE, PRICE, CHOICE, MOUTH, GOATなど)
7	III. 母音-二重母音 (rの二重母音)
8	III. 母音-弱母音
9	IV. 子音-閉鎖音(帯気とsの影響)
10	IV. 子音-摩擦音 その1 (唇歯音と歯音と歯茎音)
11	IV. 子音-摩擦音 その2 (硬口蓋歯茎音と声門音)
12	IV. 子音-破擦音と鼻音
13	IV. 子音-流音と半母音
14	復習
15	期末試験

#### 評価

期末試験(聞き分けテストや発音記号の理解を含む)を60点、出席点を40点として、合計60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】竹林滋 / 斎藤弘子著 (2008)、新装版『英語音声学入門』（音声CD付）、大修館書店。（「ことばの心的メカニズムB」でも教科書として使用します。）

科目名	英米文学史		
担当教員名	島村 豊博		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2,3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

英米の歴史を背景に両国の文学の流れを概観し、それぞれの時代の特徴と文学の関わりを、小説を中心にしながらいくつかの項目に絞って概説します。そして文学作品を単なる知識として歴史の中に位置付けるのではなく、各時代の潮流の中で作品が人間の生の営みをどのような形で反映し、また新しい時代をどのように切り拓いていったのかを探ってみます。とくに小説は結果が重要なのではなく、結末に至るまでの過程を味読しながら思索すべきものです。その意味からもこの講義が聞きっぱなしに終わらないで、実際に作品に当たってその面白さを直に味わいながら、さまざまな人間像についての理解を深める契機になることを望みます。そのために原則として邦訳のある作品で話を進め、また名場面をビデオで鑑賞したりして、作品を身近なものにします。

#### 内容

##### 《英文学》

- (1) 英米の歴史の流れおよび英語の特徴
- (2) 欽定英訳聖書と英文学
- (3) エリザベス朝演劇とシェイクスピア(人間の発見)
- (4) 18世紀・・・小説の始まり(写実と諷刺の精神)
- (5) ゴシックロマンスとジェーン・オースティン(非日常と日常)
- (6) ローマン派詩人(感情の解放)
- (7) ヴィクトリア朝の小説(ディケンズとブロンテ姉妹)
- (8) 世紀末文学(審美主義)
- (9) 20世紀「意識の流れ」の小説(ジョイスとウルフ)
- (10) 生命の哲学(ロレンスとフォスター)

##### 《米文学》

- (11) 19世紀のピューリタニズムと小説(ホーソンとメルヴィル)
- (12) 20世紀20年代の「失われた世代」(虚無と退廃の戦後文学)
- (13) 30年代の社会主義文学とその後(現代文明批判)

#### 評価

課題レポート70点、出席状況15点、授業への参加状況15点の割合で評価をし、60点以上を合格とします。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

毎回、プリントを配布します。

参考書については授業時に適宜紹介します。

科目名	アメリカ文学		
担当教員名	森 美栄		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2,3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選必,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)/マスメディアコース		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

戯曲を読む---

文学の一形式である劇(戯曲)の読み方・味わい方を学びます。劇は、小説と異なり対話形式で書かれており、本来は舞台の上演台本をなすものです。したがって、状況や登場人物の説明および背景描写はト書きに一部現れるのみで、ほとんどは台詞から判断しなければなりません。そこで、この授業では、演劇の約束事を理解した上で、アメリカの代表的な戯曲を精読し、戯曲の読み方を学ぶとともに、そこに描かれている世界や人間関係がどのようなものかを考察したいと考えています。さらに、戯曲の台詞から、日常会話に役立つ表現を学びます。

## 内容

アメリカの現代劇作家あると同時に俳優でもあるサム・シェパード(Sam Shepard)の1982年度初演の『フール・フォア・ラブ』(Fool for Love)を取り上げます。この作品は、異母兄弟の許されない恋を描いたもので、そこに潜む暴力性を読み取りたいと思います。できれば、ビデオ鑑賞も含め、翻訳や芝居パンフレットなどを参考資料として使用する予定です。難解であるかもしれませんが、精読していきたいと思います。

## 評価

出席点(15%)、平常点(15%)、定期試験(70%)。

## 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】Fool for Love by Sam Shepard, 鶴見書店, ¥1,000 + 税

科目名	感性文化表現 A (手話)		
担当教員名	谷 千春		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2,3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

聴覚に障害を持った人たちのことばである「手話」について学びます。

また、「読唇」、「筆談」、「空書」、など手話以外のコミュニケーション手段も同時に体験し、人と人とがコミュニケーションすること全体について考察します。

聴覚障害について医学、教育、文化、心理の面から理解を深めます。

#### 内容

1. あいさつ
2. 名前
3. 趣味
4. 曜日
5. 自己紹介
6. 実技試験
7. 指文字
8. 人物
9. 名前
10. 数字
11. 食事
12. 動物
13. スポーツ
14. 地名
15. 筆記試験

#### 評価

出・欠席、遅刻、授業態度(30%)、実技試験(40%)、定期試験(30%)での合計で評価します。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【推薦書】谷千春監修『実用手話ハンドブック』新星出版社 378.28/J



科目名	感性文化表現 A (手話)		
担当教員名	谷 千春		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2,3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

聴覚に障害を持った人たちのことばである「手話」について学びます。

また、「読唇」、「筆談」、「空書」、など手話以外のコミュニケーション手段も同時に体験し、人と人とがコミュニケーションすること全体について考察します。

聴覚障害について医学、教育、文化、心理の面から理解を深めます。

#### 内容

1. あいさつ
2. 名前
3. 趣味
4. 曜日
5. 自己紹介
6. 実技試験
7. 指文字
8. 人物
9. 名前
10. 数字
11. 食事
12. 動物
13. スポーツ
14. 地名
15. 筆記試験

#### 評価

出・欠席、遅刻、授業態度(30%)、実技試験(40%)、定期試験(30%)での合計で評価します。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【推薦書】谷千春監修『実用手話ハンドブック』新星出版社 378.28/J

科目名	感性文化表現 B (朗読)		
担当教員名	川野 一字		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2,3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

「朗読」とは、作品（ここでは文学作品）の内容を声に出して聞き手に伝える事。声に出す事で、「黙読」とはまた違った生き生きとした世界が広がり、古典文学作品もより身近になる。この科目は、一人一人の声を通して様々な作品をじっくり味わう実践講座である。また「朗読」は、自分にとって最も無理のない発声を基に、「自分の声」を探す道でもある。「自分の声を見つけることは、自分の可能性を広げ、自分を深く知ること」につながる。この講座を通じて、自らの感性を磨いていただきたい。

#### 内容

1. 「朗読」の基礎を学ぶ。向田邦子『父の詫び状』などの作品  
モンゴメリー『赤毛のアン』、浦松佐美太郎『たった一人の山』など
2. 「ことば」による豊かなイメージをつかむ。  
中 勘助 『銀の匙』
3. 言葉の美しさを感じる。 古典文学の魅力  
樋口一葉『たけくらべ』  
清少納言『枕草子』 紫式部『源氏物語』桐壺など  
『平家物語』序章など

#### 評価

- 授業中の読み方。（事前に下読みをきちんとしているかどうか）（30%）  
講義の最終週に課題文の朗読を行い、評価する。（50%）  
出席日数。（20%）

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

- テキストはその都度事前にコピーを配布する。  
授業時に、自分用の録音のためカセットやMDなどを用意するのが望ましい。

科目名	感性文化表現 B (朗読)		
担当教員名	川野 一字		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2,3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

「朗読」とは、作品（ここでは文学作品）の内容を声に出して聞き手に伝える事。声に出す事で、「黙読」とはまた違った生き生きとした世界が広がり、古典文学作品もより身近になる。この科目は、一人一人の声を通して様々な作品をじっくり味わう実践講座である。また「朗読」は、自分にとって最も無理のない発声を基に、「自分の声」を探す道でもある。「自分の声を見つけることは、自分の可能性を広げ、自分を深く知ること」につながる。この講座を通じて、自らの感性を磨いていただきたい。

#### 内容

1. 「朗読」の基礎を学ぶ。向田邦子『父の詫び状』などの作品  
モンゴメリー『赤毛のアン』、浦松佐美太郎『たった一人の山』など
2. 「ことば」による豊かなイメージをつかむ。  
中 勘助 『銀の匙』
3. 言葉の美しさを感じる。 古典文学の魅力  
樋口一葉『たけくらべ』  
清少納言『枕草子』紫式部『源氏物語』桐壺  
『平家物語』序章など

#### 評価

- 授業中の読み方。（事前に下読みをきちんとしているかどうか）（30%）  
講義の最終週に課題文の朗読を行い、評価する。（50%）  
出席日数。（20%）

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

- テキストはその都度事前にコピーを配布する。  
授業時に、自分用の録音のためカセットやMDなどを用意するのが望ましい。

科目名	ダンスパフォーマンス		
担当教員名	飯田 路佳		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2,3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

ダンスと一口に言っても、ジャンルが多岐にわたっており、音楽に合わせてからだを揺らすことさえダンスであるとも言える。最近では再びダンスブームとも言われ、多くの人たちにも親しまれつつある現状もある。そしてダンスは人間の精神面、肉体面を同時に発育調和させる最適な運動文化である。この授業では、様々なダンスの特性や文化的背景を理解すると共に、実践を通してリズム感や体力向上に役立て、身体を感じ、心から楽しみ、実感を持って自分の感性につなげていくことをねらいとする。

また、コミュニティダンス(地域の人々が健康のために行っているダンス)を広め、指導にあたるインストラクター( )を目指す人のための授業内容をおりこむ。

(社)日本女子体育連盟ダンスムーブメント(ダンス的運動)インストラクターライセンスの受検資格が得られる。

#### 内容

- 1) 授業内容についてオリエンテーション
- 2) リズムエクササイズ...基本の練習、リズムに乗って動きを楽しむ
- 3) リズムムーブメント...動きのバリエーションを広げる
- 4) ダンスムーブメント...フィーリングを感じながら
- 5) 作品として仕上げ発表...技術や鑑賞能力を高める

#### 評価

出席状況(80%)、授業時の課題に対する意欲、関心、態度、毎回のまとめ(20%)など総合的に評価

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	ダンスパフォーマンス		
担当教員名	飯田 路佳		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2,3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択,選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

ダンスと一口に言っても、ジャンルが多岐にわたっており、音楽に合わせてからだを揺らすことさえダンスであるとも言える。最近では再びダンスブームとも言われ、多くの人たちにも親しまれつつある現状もある。そしてダンスは人間の精神面、肉体面を同時に発育調和させる最適な運動文化である。この授業では、様々なダンスの特性や文化的背景を理解すると共に、実践を通してリズム感や体力向上に役立て、身体を感じ、心から楽しみ、実感を持って自分の感性につなげていくことをねらいとする。

また、コミュニティダンス(地域の人々が健康のために行っているダンス)を広め、指導にあたるインストラクター( )を目指す人のための授業内容をおりこむ。

(社)日本女子体育連盟ダンスムーブメント(ダンス的運動)インストラクターライセンスの受検資格が得られる。

#### 内容

前期に習得した基本の動きをベースに更に進んだ段階を学び、情操豊かな身体表現へと応用、発展させていく。またクラシックバレエ、ストリートダンス、ジャズダンス等のプロダンサーによるレッスンを受講する機会に挑戦し、身体表現の幅を広げる。

- 1) エアロビクスの運動...その意義と効果について
- 2) リズムムーブメント...動きのバリエーションを広げ、動きの組み合わせを工夫する
- 3) ダンスムーブメント...フィーリングを感じながら、反復練習による動き込みによる技術研磨
- 4) 各種ジャンルの専門知識と運動...そしてその応用
- 5) 作品として仕上げ発表...空間構成、時間構成などへの挑戦

#### 評価

出席状況(80%)、授業時の課題に対する意欲、関心、態度、毎回のまとめ(20%)など総合的に評価

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	教育とメディアA		
担当教員名	角田 真二		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	1,2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

教育現場に視聴覚メディアが導入され、視聴覚メディアを使った教育も盛んに行なわれている。教育現場への視聴覚メディアの導入には賛否両論ある。担当者は、大学以前の教育への導入は否定的である。ここでは、学習者が視聴覚メディアを(で)学習するさい、困った問題にぶつからないように、できるだけわかりやすい、マニュアルなどを作成することを試みる。その作成過程を通して、教育現場における視聴覚メディアの持つ意味、特に、わかりやすさとは何か、について考察する。

#### 内容

1. オリエンテーション
2. 視聴覚メディアと教育方法の概説(1) 「視聴覚メディアと教育方法」の歴史、現状、課題について論じる。
3. 視聴覚メディアと教育方法の概説(2) 教職採用試験で実際に出題された、教育方法の分野に関連する重要単語について、解説する。最初に、重要単語を学ぶことによって、当該分野のイメージを明確にしてもらう。
4. 心理学的考察 わかりやすい表現を考えるさいの、色の使い方について、視覚心理学的な観点から考察する。聴覚心理学的影響についても考察する。
5. 言語学的考察 わかりやすい表現を考えるさいの、色の使い方について、言語学的な観点から考察する。
6. 福祉論的な考察 ユニバーサルカラーからの、色の使い方について、考察する。
7. 数学的な考察 数学的な観点から色の塗り分けを考察する。2次元と3次元の場合の違いも考察する。
8. 情報科学的な考察 情報科学的な観点から、色の作り方について、考察する。
9. 立体物における色の考察 折り紙を使って立体的な構造物を作成するさいの、色の使い方について、考察をする。
10. 立体物を作成するさいの表現 折り紙を使って立体的な構造物を作成するさいの、わかりやすい表現について、考察をする。
- 11、12. 紙芝居の作成(1)(2) 紙芝居を実際に作成しながら、わかりやすい、「せりふ」について考察する。
13. 立体的な絵本マニュアルの作成(1) マウスやキーボードを登場人物にしたキャラクターを作る。
- 14、15. 立体的な絵本マニュアルの作成(2)(3) ストーリーを考案する。絵本マニュアルを作成する

#### 評価

毎回提出してもらうレポート、150点満点(15回X10点満点)で、90点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	インターンシップ		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年		ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

インターンシップとは、学生が企業等において実習・研修的な就業体験をする制度のことである。大学における社会につながる人材育成の一環として、社会の変化や産業界のニーズに対応し、社会における能力発揮を目的とし、社会とのつながりを考えられる力を育成する。

インターンシップを活用し、職業活動なども視野に入れ、学生自らが職業適性や将来設計について考える貴重な機会としてほしい。

#### 内容

##### 1. 内容

特定企業での勤務体験をめざす「企業体験型」、特定の職種を限定した「職業体験型」、職種や企業にこだわらず職業体験を重視する「労働体験型」などがあり、自己の目的にあったものを行う。学生は企業でのインターンシップの学習プログラムにそって研修を行う。インターンシップはあくまで授業の一環として行われるものであり、アルバイトとは異なる。その意味から実習に対しては無報酬が原則。

##### 2. 実施手順

ガイダンス - 5月上旬に実施されるガイダンスで詳細の説明を行う。参加希望者は必ず出席すること。

実施 - 夏季休暇期間中(前期)、または春季休暇期間中(後期)を中心に約2週間(実質10日、実労60時間以上)

研修を行う。尚、休暇期間以外のインターンシップに参加する際は、ゼミ教員、または、担任教員に事前に相談すること。

申込 - キャリアセンターが受入先の情報提供を行うが、学生が自己開拓で企業を探すことも可能。受入先が確定次第、「インターンシップ申込書」をキャリアセンターに提出。

事前指導 - キャリアセンターがビジネスマナーなどの事前指導を行う。

担当教員 - 2年生はクラス担当教員、3・4年生はゼミ担当教員が期間中に訪問し、巡回指導を原則行う。

##### 3. 実施例

埼玉県庁、新座市役所、戸田市役所、日立製作所、リコー販売、オンワード樫山、蓼科情報、志正堂、  
 広告社、プリンスホテル、ベルク 他

#### 評価

学生 - 学習の成果をレポートにまとめる。インターンシップ終了後2週間以内に「科目追認願」を教務課に提出し、科目登録を行う。

受入先 - 受入先の担当責任者から実習内容の評価を記した「評価表」を徴求する。又、実施期間中に担当教員が受入先を訪問する巡回指導を原則行い、実施状況をとらえる。

以上、学生のレポート(40点)、受入先評価(40点)、教員による巡回指導の状況確認(20点)を総合的に判断して評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	インターンシップ		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年		ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

インターンシップとは、学生が企業等において実習・研修的な就業体験をする制度のことである。大学における社会につながる人材育成の一環として、社会の変化や産業界のニーズに対応し、社会における能力発揮を目的とし、社会とのつながりを考えられる力を育成する。

インターンシップを活用し、職業活動なども視野に入れ、学生自らが職業適性や将来設計について考える貴重な機会としてほしい。

#### 内容

##### 1. 内容

特定企業での勤務体験をめざす「企業体験型」、特定の職種を限定した「職業体験型」、職種や企業にこだわらず職業体験を重視する「労働体験型」などがあり、自己の目的にあったものを行う。学生は企業でのインターンシップの学習プログラムにそって研修を行う。インターンシップはあくまで授業の一環として行われるものであり、アルバイトとは異なる。その意味から実習に対しては無報酬が原則。

##### 2. 実施手順

ガイダンス - 5月上旬に実施されるガイダンスで詳細の説明を行う。参加希望者は必ず出席すること。

実施 - 夏季休暇期間中(前期)、または春季休暇期間中(後期)を中心に約2週間(実質10日、実労60時間以上)

研修を行う。尚、休暇期間以外のインターンシップに参加する際は、ゼミ教員、または、担任教員に事前に相談すること。

申込 - キャリアセンターが受入先の情報提供を行うが、学生が自己開拓で企業を探すことも可能。受入先が確定次第、「インターンシップ申込書」をキャリアセンターに提出。

事前指導 - キャリアセンターがビジネスマナーなどの事前指導を行う。

担当教員 - 2年生はクラス担当教員、3・4年生はゼミ担当教員が期間中に訪問し、巡回指導を原則行う。

##### 3. 実施例

埼玉県庁、新座市役所、戸田市役所、日立製作所、リコー販売、オンワード樫山、蓼科情報、志正堂、廣告社、プリンスホテル、ベルク 他

#### 評価

学生 - 学習の成果をレポートにまとめる。インターンシップ終了後2週間以内に「科目追認願」を教務課に提出し、科目登録を行う。

受入先 - 受入先の担当責任者から実習内容の評価を記した「評価表」を徴求する。又、実施期間中に担当教員が受入先を訪問する巡回指導を原則行い、実施状況をとらえる。

以上、学生のレポート(40点)、受入先評価(40点)、教員による巡回指導の状況確認(20点)を総合的に判断して評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)



科目名	キャリアサポート		
担当教員名	若山 皖一郎		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

大学教育とその後の社会人としてのキャリア形成を支援するために、キャリアサポート では就職活動に関わる具体的な基礎力向上を目指した授業を行う。就職活動においてSPIや一般常識は重要な第一歩であり、それをクリアーすることは必要条件となる。こうした基礎知識を、解説を含めてわかりやすく学習し、基礎力向上につなげる。就職活動に必要な学習であるので、多くの学生が受講することが望まれる。

#### 内容

1. SPI概要-SPIとは、SPIの考え方、使われ方など
2. 非言語分野の学習
  - 年齢算、仕事算、旅人算、流水算
  - グラフ・領域、資料解釈、空間把握
  - 順列組み合わせ、確率、n進法
  - 運動力学など
3. 言語分野の学習
  - 同意語、反対語、ことわざ・慣用句
  - 包含関係、行為関係、原料関係、用途関係
  - 複数の意味、長文問題など

各ステージで言語、非言語の両分野を事例にもとづき解説する。

#### 評価

出席状況(60点)、小テスト(20点)、試験(20点)をもとに総合的に評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業時に紹介

科目名	演習		
担当教員名	岡本 卓		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

演習は、一人ひとりのゼミ生が” 主役 ” である。各ゼミ生が今、テレビが抱えるさまざまな課題に対して自分なりの問題意識をもって向き合う( =テレビを見る ) ことから始まる。

テレビは、インターネットに追い上げながらも人々が真に必要とする社会装置としての地位を保ち続けているか。その社会装置としてのテレビは、「快適なもの」として人々に受け入れられているか。テレビが提供する情報( ニュース ) や番組、そのありように対して視聴者から寄せられるさまざまな疑問や批判にきちんと応えているか。例えば、このような問題意識を持って日々のテレビを見ることから始まる。

ゼミ生は、テレビを通して感知した関心分野からそれぞれ研究テーマを選び出し、自分なりの「テレビ論」「ジャーナリズム論」にまとめ上げ、最終学年での卒論執筆につなげていく。そのためにもゼミ生には出来るだけ多くの、しかも優れたテレビ番組を見ることを求める。

なお、卒業研究で執筆する卒論は、必ずしもテレビや放送、ジャーナリズムに直結したテーマでなくてもよい。世界には、日本にはさまざまな問題が山積している。それらの問題を直視し、卒業研究として取り組むことは、むしろ歓迎するものである。

#### 内容

\* とにかくテレビを見ること。ただ漫然と見るのではなく、考えながら見るのが重要。例えば、「もし、自分が番組ディレクターだったら」「もし、現場に派遣された記者やカメラマンだったら」という仮説をたててテレビを見て考えることである。

\* テレビやジャーナリズムに関する本をできるだけ沢山読むこと。

\* テレビを見る 本を読む 考える ゼミで議論する

#### 評価

出席・意見発表・調査・資料収集 = 60点 レポート( 随時 ) = 40点 計100点 60点以上が合格

#### 教科書・推薦書( 著者名・書名・出版社名)

デイヴィッド・ハルバースタム『メディアの権力』1, 2, 3, 4 朝日文庫

エリス・クラウス『NHKvs日本政治』東洋経済新報社

授業中に随時紹介する。

科目名	演習		
担当教員名	角田 真二		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

ユニバーサルデザイン、ヒューマンインタフェースの分野について学ぶ。コンピュータなどの道具よりも道具を使う人間を中心に考え、人間に優しい道具のデザインを考える。よりわかりやすく言うと、年齢、性別、障害の有無などに関わらず、日常の全ての道具を、使う人間にとって使いやすく、わかりやすい、学びやすい道具のデザインを考える。さらに言えば、遊園地にいるかのように、人間が思わず使いたくなる楽しい道具のデザインにすることを狙う。単なる思い付きではなく、人間の心理過程の考察に基づき、道具のデザインについて考える。

#### 内容

##### 1. 研究

各自が選択した研究テーマについて考察を進め、論文や試作品を作成する。

世の中には、使いにくい道具、わかりにくい表現があふれている。自分の興味のある道具や表現などを一つ選択し、そのテーマについて、人間の心理過程の考察を行ない、道具のデザインについて考える。学習、思考といった高次認知機能だけではなく、視聴覚機能、運動機能、まで含めて総合的な考察を行なう。例えば、高齢者が情報機器の使い方を学習する場合に生じる問題、がある。

##### 2. コミュニケーション

自分一人で自分の研究テーマについて考察を進めるだけではなく、他の学生の研究テーマの発表を聞いて、積極的にコメント、質問をして欲しい。それによって、他の学生の研究を促進させる、自分の研究を別の角度から考察するきっかけとして欲しい。

#### 評価

提出してもらった論文で評価する。100点満点で60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	演習		
担当教員名	向後 朋美		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	10クラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

言語学の研究領域のうち、形態論、統語論、意味論、語用論を中心に基本的な文献を読むことに加え、資料を集め、整理・分析するといった作業を通して、ことばを科学的に分析する力を養います。この演習を通して各自興味のあるテーマを見つけ、4年次の卒業研究につながるようにします。

2年次に専門科目の「ことばの心的メカニズムA(前期)」を履修していない学生は、3年次に履修してください。

#### 内容

基本文献の内容をレポーターが報告し、全員で問題点を検討するという形式で演習を行います。また、コーパスを使った資料の検索の方法、インフォーマントチェックの方法を実際の作業を通して身につけることも行いたいと思います。

#### 評価

下記の割合で点数化し、60%以上の得点を合格とします。

- (1) 期末レポート： 50%
- (2) 平常点(毎授業での発表)： 30%
- (3) 出席点： 20%

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業内で指示します。

科目名	演習		
担当教員名	佐藤 公正		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	1Dクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

新聞、テレビ、雑誌、インターネットなど多様なメディアが伝える情報はどこまで事実で、また真実なのでしょうか。このゼミではマスメディアの機能と役割を考察し、とくに新聞を中心とした報道ジャーナリズムの現状を具体的な事例の考察を通じて、またテレビ報道との対比も試みながら「情報を賢く、批判的に読み解く」能力を高めることをめざします。同時に、情報の受け手としてだけでなく、送り手としての能力を身につけるため、プレゼンテーションなど自己表現の基礎的な技法も訓練します。

4年の卒業研究は、以上のねらいと下記の内容に沿って各自がテーマを選び、論文にまとめることになります。したがって3年の演習 ・ と4年の卒業研究 ・ は連続した研究活動ですので、それぞれの科目シラバスを参照して理解すること。

#### 内容

1. このゼミでは、履修生の自主的な活動を求め、その興味関心にこたえて、運営方法や内容を組み立てます。
2. 演習 では、日本のマスメディアの歴史、現状と課題、新聞の機能、出版、広告などのマスコミ全般の状況について参考図書の輪読などを通じて大づかみに学びます。この際、各自の報告と相互の議論をもとに進めていく。さらに事例に即して分析を深めます。
3. 新聞記事を中心にニュースの読み取り方と情報収集・分類整理、利用の方法を身につけ、並行して論文作成の基本的な技法を理解します。
4. 演習 では、以上を基礎に卒業研究のテーマ選択に向けて、資料・文献の収集や実証的な調査の下準備にとりかかり、テーマを決定します。
5. 参考までに卒業研究の分野やテーマの実例をあげると、報道と人権、各新聞社の「社論」の差異、誤報と訂正、調査報道、新聞とネット、テレビと新聞の報道比較、全国紙と地方紙、戦争報道、記者クラブ、情報操作、雑誌や書籍の出版物、漫画やアニメ、広告、ケータイネットなどと多くの課題が想定されます。それぞれに興味ある事例を見つけて、次第に実証的な研究の方向を絞り込んでいきます。
6. 卒業研究の対象は、活字メディアにとどまる必要はなく、その他幅広くマスメディア全般について取りあげることができます。

日々の新聞報道にきちんと目を通しておくことを責務とします。3年の演習では毎回、直近のニュースを題材に3分間報告を求めます。

夏合宿のほか、日本新聞博物館や新聞社などの見学を予定しています。

3年の12月初旬までに卒業研究のテーマを決定すること。

#### 評価

課題に対するレポート60点、ゼミでの報告発表40点とし、総計60点以上を合格とします。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

それぞれの関心テーマと議論内容に応じて随時、必要な文献図書、資料などを紹介します。

科目名	演習		
担当教員名	松永 修一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	1Eクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

この演習では、日本語の変化やバリエーションなど言語研究を通しての専門的知識獲得と、社会に出てから必要とされる「自ら問題を発見し、解決する能力」を身につけることを目標とします。

方言調査旅行研修や新語流行語の収集分析など実際にフィールドワークを行いながら自ら発信できるオリジナルコンテンツ(就活での自己PRの内容)を作ります。Mind-Map思考法、プレゼンテーションなどPCを用いた技能も併せて身につけ、言語化、可視化の訓練を行います。自らの変化を希望しそれに向かって努力する学生をサポートし育てます。体験重視型自己成長促進ゼミを目指します。ゴールは「人としての素敵さの獲得!」です。

#### 内容

- 第1回 自己分析と現状分析
- 第2回 言語研究とは何か
- 第3回 プレゼンテーション、レジメ、論文作成法
- 第4回 自己分析の実際
- 第5回 プレゼンテーション1
- 第6回 プレゼンテーション2
- 第7回 フィールドワーク方法論1
- 第8回 フィールドワーク計画
- 第9回 ライフビジョンとキャリアビジョン
- 第10回 調査データ分析法
- 第11回 目標設定と達成のための方法
- 第12回 研究計画作成1
- 第13回 ライフビジョン・キャリアビジョン作成1
- 第14回 研究計画作成2
- 第15回 ライフビジョン・キャリアビジョン作成2

#### 評価

獲得したポイントにより下記のように評価します。\* 毎回授業後48時間以内に まとめ&感想(質問含む) Self-evaluationクラスの「良い点」「気になる点」「ネクストステップ(具体的な修正アイデア)」をメールで送信。 日常出席まとめ感想メール...1~7ポイント(提出【基礎点】...1ポイント、まとめ&感想...1~3ポイント、Self-evaluation1~3ポイント) レポート・課題...3~8ポイント(6回以上[授業2回につき1つ程度]課す) 最終課題or試験...5~10ポイント 合計ポイントと評価...D<60 C<70 B<80 A (4回以上の欠席は受講放棄とみなします)

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業中に指示します。

科目名	演習		
担当教員名	森田 勝之		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	1Fクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

脳はすべての身体機能を制御しています。私たちのもとも基本的な行動(食べる、寝る、体温を保つなど)を制御し、最も進化した行動、文学や音楽、美術や科学、言語の創造までもつかさどっています。こうした機能はどのようにして可能なのでしょう。私たちの希望や思想、感情や個性、これらもすべて脳の中に宿っています。では、これらはどうして表に現れるのでしょうか。また、私たちがコーヒーを飲みながら音楽を聴き、携帯メールを送信するとき、頭はどのような働きをしているのでしょうか。間違えないで処理できるのも、思い違いをするのも脳でこの授業で見えていくのは、英語を通して描き出されるこの脳の世界です。前期で脳の構造や発達の基礎を学びます。

#### 内容

<前期>

1. 導入
2. 脳の構造と働き(1)脳は何をすところか
3. 脳の構造と働き(2)左脳と右脳の役割
4. 脳の機能の種類:脳は幾つもある
5. 脳の働き:男女差はあるのか(1)
6. ニューロンの役割:スポーツにも脳が大切
7. 覚える、学ぶ、考える脳
8. 目と脳の関係(1)
9. 目と脳の関係(2)
10. 耳と脳の関係(1)
11. 耳と脳との関係(2)
12. 脳を鍛える
13. 脳と老化
14. まとめ(1)
15. まとめ(2)

#### 評価

レポートとディスカッション

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

プリント、指定図書(順次推薦)

科目名	演習		
担当教員名	森 美栄		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	1Gクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

----演劇とは何か---

演劇とは何かを考えるには、演劇を成立させる、演劇の構成要素から考察をはじめする必要があります。演劇の構成要素とは、演じる人(俳優)、見る人(観客)、演じられる場所(劇場空間)、演じられるもの(アクション)であり、その中で最も重要なのは、もちろん「演じられるもの」です。舞台上で何が演じられるか、すなわちどのようなアクションが起こるのかを検討すれば、演劇が社会といかに深く関わり、人々に影響を与えてきたかが見えてきます。

そこで、本演習では、演劇の基本文献書を輪読することによって、学生各自が卒業研究に向けて、演劇をどのように捉えればよいのかを考える一助としたいと考えています。

## 内容

演劇理論の発端といえるアリストテレスの『詩学』を輪読します。『詩学』の悲劇論を検討しながら、演劇の本質を検討します。レポーター制を採用し、各自の担当個所のレジュメを作成し発表した上で、みんなで討論していきます。

## 評価

平常点(50%)、レポート(50%)。

## 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】アリストテレス、ホラーティウス著、松本仁輔・岡道男訳『アリストテレス詩学・ホラーティウス詩論』(岩波文庫)、岩波書店、¥ 840



科目名	演習		
担当教員名	設楽 優子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	1Hクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

言語音声やその習得について自分なりの疑問・問題を発見し、仮説をたて、事実を観察したり実験を行ったりし、結論を出し、それを文章で表現することを通して、自分で思考する練習をする。

## 内容

もし言語音声に関連する科目である「ことばの心的メカニズムB」(前期)をまだ履修していなければ、演習Iと並行して履修してほしい。

本科目は、演習IIと合わせて4年次の卒業研究へとつなげられるようにしたい。

【3年次前期】： 紙のノート(ルースリーフでないほうが望ましい)でもパソコンのファイルのプリントアウトでも良いので、ゼミ研究ノートをつける。このようなノートは、就職活動でゼミでは何をしているかと聞かれたときに役立つであろう。ゼミ担任と関心が合わない場合は、ゼミ研究ノートは自分の関心に沿ったことだけを書いてもよい。

ゼミ生の希望に沿った内容を授業中に扱いたい、特になければ、下記の指定教科書別売CD音声と原著者の朗読CDや図書館所蔵のDVD映画『モリー先生との火曜日』を使いながら、その内容をあじわうとともに、3種類の音声を英語音声学の基本的考え方を学びながら比較する。推薦書に掲げた『こころの音読』にも、この原作の抜粋が入っている。

なお、設楽ゼミではこれまで懇親会や旅行を催して、協力関係を育てている。就職活動を前に、基礎的な学力の養成にも力を入れたい。

【3年次夏休み】： シラバスで「演習II」の内容を参照のこと。

## 評価

研究日誌を40点、授業中に確かめるゼミへの積極的な参加度を30点、出席点を30点として、合計60点以上を合格とする。

## 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】Mitch Albom著、新井ひろみ他編注、Tuesdays with Morrie, 南雲堂

【推薦書】Mitch Albom朗読CD、Tuesdays with Morrie: and old man, a young man, and life's greatest lesson, Time Warner AudioBooks.

DVD 『モリー先生との火曜日 (Tuesdays with Morrie)』(1999), (株)トランスフォーマー発売(絶版)

齋藤兆史著、『こころの音読』CDつき、講談社インターナショナル

科目名	演習		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年		ク ラ ス	11クラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

優れた小説が面白いのはなぜでしょう。小説は人間を問題にします。ですから、小説を読む面白さとは、人生について、人間についての面白さです。わたしたちは一度の人生しか歩めません。そこで経験は限られています。小説を読めば、自分以外の、まとまりのある個別的な人生を経験することができます。小説の中の人物の追体験をすることで、彼らと感情を共有し、人間についての知識を蓄え、彼らと同じように喜んだり、哀しんだりしながら、その完結した物語に感動するのです。虚構の世界での経験ではありますが、これが現実のわれわれに影響を与えないわけがありません。一冊の小説がその人の一生を決定づけることだって珍しくはありません。

小説家は社会の制約や既成の道徳にとらわれない、新しい人間像を示そうとします。常に人間の自由、解放を目指すからです。ですから小説は人生の新しい経験をわたしたちに与えてくれます。わたしたちの現実生活の中の不純物を取り除いたかたちで、そのエッセンスだけをわかりやすいかたちで与えてくれます。ところでこうした新しい人間像を示すには、人物造型に新しい描き方、新しい方法が必要になります。作家はこの新しい方法を見つけ出すことに精魂を傾けます。新しい人物像に新しい描き方がぴったり合ったときは、そこに調和のとれた美的世界が出現し、わたしたちは知的充足感とともに美的快感に酔うことができるのです。こうした小説の機能をイギリス小説で検討します。

#### 内容

- 19世紀以降のイギリス小説の流れを俯瞰します。
- イギリス文学には優れた女流作家が多いが、男性原理の支配する社会の中で、家庭内を唯一の自己表現の場としていた女性たちが、いかにして自己に目覚め、魂の自由をもとめ、ついには自己実現の達成に至るのかを、オースティン、プロンテ姉妹、ジョージ・エリオット等で検証します。
- 20世紀のE・M・フォスター、D・H・ロレンス、ヴァージニア・ウルフ等とモダニズムの関係をとらえつつ、これらの作家によっていかなる新しい人間像が提示されているのかを考えます。
- これらの作家を中心にその代表作を個別に取り上げ、作家の伝記的事実、作品鑑賞、評価の面から皆で論じ合います。この過程を通して卒業研究へと対象を絞り込むようにします。
- 論文の書き方については、(1)そもそも論文とはどんなものか、(2)なぜ書くのか、(3)テーマはどうして選ぶのか、(4)作品をどう読むのか、(5)参考資料はどのように集め、利用するのか、(6)論文をどのような手順と形式で書くのか、などの観点から扱います。

#### 評価

以下の割合で点数化し、60点以上を合格とします。

レポート提出：40%、発表：40%、出席点：20%

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

必要に応じてプリントを配布します。参考図書は授業時間に随時指示します。

科目名	演習		
担当教員名	飯田 路佳		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	1Kクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

芸術表現の一分野である身体表現は、人間の精神面、身体面を同時に発育調和させる最適な運動文化である。また、身体表現・ダンスは身体を動かすことで各人の思想や感情を表現することであるが、様々な側面からダンスや身体表現についてアプローチする。

内容

- 1) オリエンテーション(自己紹介、面接等)
- 2) 身体表現とは何か?
- 3) 身体表現・ダンスの特性や歴史、背景などを調べる
- 4) 様々なダンスに挑戦
- 5) 桐華祭における身体表現発表のための実技の時間を設ける

評価

出席状況(60%)、レポート提出(20%)、発表・討議(20%)等の総合評価とする

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	演習		
担当教員名	北原 俊一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	1Lクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

自然の中で起こること - 太陽の運行、地球の環境、動物や植物の暮らし - などを対象にする学問を自然科学という。自然を観察したり、客観的な実験をしたりして一般的な“きまり”を見つけることが自然科学の主題になる。得られた結論は、多くの場合、誰が再調査・再実験しても同じ結論となる。演習 では、自然に関して問題意識を持つ。ゆくゆくは卒業研究につなげることを念頭に置きながら、様々なメディアを通して自分の興味を探そう。

#### 内容

まず自然に関して問題意識をもつことが重要である。考えられるメディア、例えば、科学雑誌、新聞テレビ(ビデオまたはDVD)、博物館・科学館等、ネットワーク上の情報などを通して、自分の興味・テーマを探そう。テーマを見つかることができたら、そのことに関してさらに文献を調べて詳しく学ぼう。

演習 では、皆で調べたことを発表し合い、議論し理解を深めよう。プレゼンテーションは、自分の考えをまとめるよい機会になる。また、議論をすることにより、自分の調べたことに関しての過不足に気づくであろう。他人の発表は、自分にとって視野を広げるよい機会になると考える。

#### 評価

出席状況20%、提出物・プレゼン等40%、授業への参加度40%

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業中に指示する。

科目名	演習		
担当教員名	鈴木 弘貴		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	1Mクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

担当教員の専門である、国際マスコミュニケーションやグローバル・ジャーナリズムについて、講義では詳しく説明できなかった部分を、ビデオ、インターネット、現地で蒐集した資料などを見せながら、より深く学んでいきます。その中で、各人が4年時の卒業研究につながる自分のテーマを見つけるよう、はなむけすることが狙いです。

#### 内容

各人の関心に沿った基本文献の読み込みを中心に、ビデオ、時には映画などをみんなで見ながら、卒業論文のテーマを絞っていきます。と同時に、「マスメディアやマスコミをどのようにすれば研究できるか」という方法論を身につけてもらいます。具体的なテレビ番組や新聞などを使いながら、グループで調べ、発表し、議論します。夏休みには合宿を行い、各人の卒論テーマ案を発表してもらいます。

#### 評価

ゼミでの議論(60%)および提出物(40%)

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	演習		
担当教員名	岡本 卓		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

演習は、一人ひとりのゼミ生が” 主役 ” である。各ゼミ生が今、テレビが抱えるさまざまな課題に対して自分なりの問題意識をもって向き合う(=テレビを見る)ことから始まる。

テレビは、インターネットに追い上げながらも人々が真に必要とする社会装置としての地位を保ち続けているか。その社会装置としてのテレビは、「快適なもの」として人々に受け入れられているか。テレビが提供する情報(ニュース)や番組、そのありように対して視聴者から寄せられるさまざまな疑問や批判にきちんと応えているか。例えば、このような問題意識を持って日々のテレビを見ることから始まる。

ゼミ生は、テレビを通して感知した関心分野からそれぞれ研究テーマを選び出し、自分なりの「テレビ論」「ジャーナリズム論」にまとめ上げ、最終学年での卒論執筆につなげていく。そのためにもゼミ生には出来るだけ多くの、しかも優れたテレビ番組を見ることを求める。

なお、卒業研究で執筆する卒論は、必ずしもテレビや放送、ジャーナリズムに直結したテーマでなくてもよい。世界には、日本にはさまざまな問題が山積している。それらの問題を直視し、卒業研究として取り組むことは、むしろ歓迎するものである。

#### 内容

\*とにかくテレビを見ること。ただ漫然と見るのではなく、考えながら見るのが重要。例えば、「もし、自分が番組ディレクターだったら」「もし、現場に派遣された記者やカメラマンだったら」という仮説をたててテレビを見て考えることである。

\*テレビやジャーナリズムに関する本をできるだけ沢山読むこと。

\*テレビを見る 本を読む 考える ゼミで議論する

#### 評価

出席・意見発表・調査・資料収集 = 60点 レポート(随時) = 40点 計100点 60点以上が合格

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

デイヴィッド・ハルバースタム『メディアの権力』1, 2, 3, 4 朝日文庫

エリス・クラウス『NHKvs日本政治』東洋経済新報社

授業中に随時紹介する。

科目名	演習		
担当教員名	角田 真二		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

ユニバーサルデザイン、ヒューマンインタフェースの分野について学ぶ。コンピュータなどの道具よりも道具を使う人間を中心に考え、人間に優しい道具のデザインを考える。よりわかりやすく言うと、年齢、性別、障害の有無などに関わらず、日常の全ての道具を、使う人間にとって使いやすく、わかりやすい、学びやすい道具のデザインを考える。さらに言えば、遊園地にいるかのように、人間が思わず使いたくなる楽しい道具のデザインにすることを狙う。単なる思い付きではなく、人間の心理過程の考察に基づき、道具のデザインについて考える。

#### 内容

##### 1. 研究

各自が選択した研究テーマについて考察を進め、論文や試作品を作成する。

世の中には、使いにくい道具、わかりにくい表現があふれている。自分の興味のある道具や表現などを一つ選択し、そのテーマについて、人間の心理過程の考察を行ない、道具のデザインについて考える。学習、思考といった高次認知機能だけでなく、視聴覚機能、運動機能、まで含めて総合的な考察を行なう。

例えば、高齢者が情報機器の使い方を学習する場合に生じる問題、がある。

##### 2. コミュニケーション

自分一人で自分の研究テーマについて考察を進めるだけでなく、他の学生の研究テーマの発表を聞いて、積極的にコメント、質問をして欲しい。それによって、他の学生の研究を促進させる、自分の研究を別の角度から考察するきっかけとして欲しい。

#### 評価

提出してもらった論文で評価する。100点満点で60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)



科目名	演習		
担当教員名	向後 朋美		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

言語学の研究領域のうち、形態論、統語論、意味論、語用論を中心に基本的な文献を読むことに加え、資料を集め、整理・分析するといった作業を通して、ことばを科学的に分析する力を養います。この演習を通して各自興味のあるテーマを見つけ、4年次の卒業研究につながるようにします。

2年次に専門科目の「ことばの心的メカニズムA(前期)」を履修していない学生は、3年次に履修してください。

#### 内容

各自興味・関心のあるトピックについて先行文献を読み、資料を集め、整理・分析するといった作業を行い、レポートを書きます。

#### 評価

下記の割合で点数化し、60%以上の得点を合格とします。

- (1) 期末レポート： 50%
- (2) 平常点(毎授業での発表)： 30%
- (3) 出席点： 20%

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業内で指示します。

科目名	演習		
担当教員名	佐藤 公正		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	2Dクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

新聞、テレビ、雑誌、インターネットなど多様なメディアが伝える情報はどこまで事実で、また真実なのでしょうか。このゼミではマスメディアの機能と役割を考察し、とくに新聞を中心とした報道ジャーナリズムの現状を具体的な事例の考察を通じて、またテレビ報道との対比も試みながら「情報を賢く、批判的に読み解く」能力を高めることをめざします。同時に、情報の受け手としてだけでなく、送り手としての能力を身につけるため、プレゼンテーションなど自己表現の基礎的な技法も訓練します。

演習 ・ との連続した研究活動として4年の卒業研究 ・ があり、以上のねらいと下記の内容に沿って各自がテーマを選んで論文にまとめることとなりますので、それぞれの科目シラバスを参照して理解すること。

#### 内容

1. 演習 に引き続き履修生の自主的な活動を求め、その興味関心にこたえて、運営方法や内容を組み立てます。
2. 演習 で理解した日本のマスメディアの歴史、現状と課題、新聞の機能、出版、広告などのマスコミ全般の状況、論文作成の基本的な技法を再確認します。
3. 卒業研究のテーマを決めるため、広く資料・文献の収集や実証的な調査を進めます。
4. それぞれのテーマに応じて、次第に個別指導に入っていきます。
5. 卒業研究の対象については、演習 の内容で詳述してありますが、活字メディアにとどまる必要はなく、その他幅広くマスメディア全般について取りあげることができます。

日々の新聞報道にきちんと目を通しておくことを責務とします。演習 に続きプレゼンテーションの訓練として随時、直近のニュースを題材に3分間報告と議論を求めます。

3年の12月初旬までに卒業研究のテーマを決定すること。

#### 評価

課題に対するレポート60点、ゼミでの報告発表40点とし、総計60点以上を合格とします。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

それぞれの関心テーマと議論内容に応じて随時、必要な文献図書、資料などを紹介します。

科目名	演習		
担当教員名	松永 修一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	2Eクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

この演習では、日本語の変化やバリエーションなど言語研究を通しての専門的知識獲得と、社会に出てから必要とされる「自ら問題を発見し、解決する能力」を身につけることを目標とします。

方言調査旅行研修や新語流行語の収集分析など実際にフィールドワークを行いながら自ら発信できるオリジナルコンテンツ(就活での自己PRの内容)を作ります。Mind-Map思考法、プレゼンテーションなどPCを用いた技能も併せて身につけ、言語化、可視化の訓練を行います。自らの変化を希望しそれに向かって努力する学生をサポートし育てます。体験重視型自己成長促進ゼミを目指します。ゴールは「人としての素敵さの獲得!」です。

#### 内容

- 第1回 自己分析と現状分析
- 第2回 言語研究とは何か
- 第3回 プレゼンテーション、レジメ、論文作成法
- 第4回 自己分析の実際
- 第5回 プレゼンテーション1
- 第6回 プレゼンテーション2
- 第7回 フィールドワーク方法論1
- 第8回 フィールドワーク計画
- 第9回 ライフビジョンとキャリアビジョン
- 第10回 調査データ分析法
- 第11回 目標設定と達成のための方法
- 第12回 研究計画作成1
- 第13回 ライフビジョン・キャリアビジョン作成1
- 第14回 研究計画作成2
- 第15回 ライフビジョン・キャリアビジョン作成2

#### 評価

獲得したポイントにより下記のように評価します。\* 毎回授業後48時間以内に まとめ&感想(質問含む) Self-evaluationクラスの「良い点」「気になる点」「ネクストステップ(具体的な修正アイデア)」をメールで送信。 日常出席まとめ感想メール...1~7ポイント(提出【基礎点】...1ポイント、まとめ&感想...1~3ポイント、Self-evaluation1~3ポイント) レポート・課題...3~8ポイント(6回以上[授業2回につき1つ程度]課す) 最終課題or試験...5~10ポイント 合計ポイントと評価...D<60 C<70 B<80 A(4回以上の欠席は受講放棄とみなします)

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業中に指示します。

科目名	演習		
担当教員名	森田 勝之		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	2Fクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

脳はすべての身体機能を制御しています。私たちのもとも基本的な行動(食べる,寝る,体温を保つなど)を制御し、最も進化した行動、文学や音楽、美術や科学、言語の創造までもつかさどっています。こうした機能はどのようにして可能なのでしょうか。私たちの希望や思想、感情や個性、これらもすべて脳の中に宿っています。では、これらはどうして表に現れるのでしょうか。また、私たちがコーヒーを飲みながら音楽を聴き、携帯メールを送信するとき、頭はどのような働きをしているのでしょうか。間違えないで処理できるのも、思い違いをするのも脳でこの授業で見えていくのは、英語を通して描き出されるこの脳の世界です。後期のテーマは記憶、音楽、色、健康、ストレスなどと脳の間接関係を扱います。

#### 内容

後期はプレゼンテーションとプリ卒論が入ります

1. 記憶
2. 睡眠と脳:
3. 音楽と脳(1)
4. 音楽と脳(2)
5. 脳と色(1)
6. 脳と色、絵画(2)
7. 脳と健康(1)
8. 脳と健康(2)
9. 言葉と注意(1)
10. 言葉と注意(2)
11. プレゼン(1)
12. プレゼン(2)
13. プレゼン(3)
14. プレゼン(4)
15. まとめ

#### 評価

出席60%、レポート評価40%

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	演習		
担当教員名	設楽 優子、森 美栄		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	2Gクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

戯曲が、発表された時代に人々にどのような影響を与えたのか、社会とどのようなつながりがあったのかなどを、西洋の代表的な戯曲を丹念に読むことで、考えます。

#### 内容

西洋演劇の代表的戯曲を輪読し、各作品のテーマに迫ります。一人一幕ずつあらすじを発表し、みんなで、作品の登場人物やテーマなどについて議論して、作品を深く理解したいと思います。さらに、卒業研究に向けて、テーマの立て方、参考資料などの文献検索の方法、卒業論文の書き方などを指導します。

#### 評価

平常点(50%)、レポート(50%)。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

日本演劇学会分科会西洋比較演劇研究会編、『ベスト・プレイズ 西洋古典戯曲』, 相田書房, ¥4,725

科目名	演習		
担当教員名	設楽 優子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	2Hクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

言語音声やその習得について自分なりの疑問・問題を発見し、仮説をたて、事実を観察したり実験を行ったりし、結論を出し、それを文章で表現することを通して、自分で思考する練習をする。

## 内容

もし言語音声に関連する科目である「ことばの心的メカニズムD」(後期)、「サウンド処理演習」(後期)をまだ履修していなければ、演習IIと並行して履修してほしい。

本科目の研究内容を4年次の卒業研究へとつなげるために、演習Iに引き続いてゼミ研究ノートをつけ、それを使って学期末のレポートを作成する。

【3年次夏休み】：各自、自分の関心を第一に考えて、自由に演習 のレポートのテーマを考える。自分の好きな事柄でないと卒業論文につながらないので、言語音声に関係ないテーマでもよい。テーマをきめるために、当然この時期の読書や取材も必要である。

【3年次後期】：ゼミ生の関心にできるだけ沿った書籍の一部分や論文を数点読む。ゼミ生はその都度研究日誌に書き足していく。研究日誌を使って、演習 の最終レポートをつくる。これは、卒業研究論文の一部へと発展することが望ましい。

## 評価

最終レポートを40点、研究日誌を30点、出席点を30点として、合計60点以上を合格とする。

## 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【推薦書】川越 いつえ 著(2007)、『英語の音声を科学する』新装版、大修館書店

窪蘭 晴夫 著、西光 義弘 編(1998)、『音声学・音韻論(日英語対照による英語学演習シリーズ)』、くろしお出版

ジョン・カニソン キャットフォード 著、竹林 滋・設楽 優子・内田 洋子 訳(2006)、『実践音声学入門』、大修館書店

科目名	演習		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年		ク ラ ス	21クラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

優れた小説が面白いのはなぜでしょう。小説は人間を問題にします。ですから、小説を読む面白さとは、人生について、人間についての面白さです。わたしたちは一度の人生しか歩めません。そこで経験は限られています。小説を読めば、自分以外の、まとまりのある個別的な人生を経験することができます。小説の中の人物の追体験をすることで、彼らと感情を共有し、人間についての知識を蓄え、彼らと同じように喜んだり、哀しんだりしながら、その完結した物語に感動するのです。虚構の世界での経験ではありますが、これが現実のわれわれに影響を与えないわけがありません。一冊の小説がその人の一生を決定づけることだって珍しくはありません。

小説家は社会の制約や既成の道徳にとらわれない、新しい人間像を示そうとします。常に人間の自由、解放を目指すからです。ですから小説は人生の新しい経験をわたしたちに与えてくれます。わたしたちの現実生活の中の不純物を取り除いたかたちで、そのエッセンスだけをわかりやすいかたちで与えてくれます。ところでこうした新しい人間像を示すには、人物造型に新しい描き方、新しい方法が必要になります。作家はこの新しい方法を見つけ出すことに精魂を傾けます。新しい人物像に新しい描き方がぴったり合ったときは、そこに調和のとれた美的世界が出現し、わたしたちは知的充足感とともに美的快感に酔うことができるのです。こうした小説の機能をイギリス小説で検討します。

#### 内容

- 19世紀以降のイギリス小説の流れを俯瞰します。
- イギリス文学には優れた女流作家が多いが、男性原理の支配する社会の中で、家庭内を唯一の自己表現の場としていた女性たちが、いかにして自己に目覚め、魂の自由をもとめ、ついには自己実現の達成に至るのかを、オースティン、プロンテ姉妹、ジョージ・エリオット等で検証します。
- 20世紀のE・M・フォースター、D・H・ロレンス、ヴァージニア・ウルフ等とモダニズムの関係をとらえつつ、これらの作家によっていかなる新しい人間像が提示されているのかを考えます。
- これらの作家を中心にその代表作を個別に取り上げ、作家の伝記的事実、作品鑑賞、評価の面から皆で論じ合います。この過程を通して卒業研究へと対象を絞り込むようにします。
- 論文の書き方については、(1)そもそも論文とはどんなものか、(2)なぜ書くのか、(3)テーマはどうして選ぶのか、(4)作品をどう読むのか、(5)参考資料はどのように集め、利用するのか、(6)論文をどのような手順と形式で書くのか、などの観点から扱います。

#### 評価

以下の割合で点数化し、60点以上を合格とします。

レポート提出：40%、発表：40%、出席点：20%

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

必要に応じてプリントを配布します。参考図書は授業時間に随時指示します。

科目名	演習		
担当教員名	飯田 路佳		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	2Kクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

芸術表現の一分野である身体表現は、人間の精神面、身体面を同時に発育調和させる最適な運動文化である。また、身体表現・ダンスは身体を動かすことで各人の思想や感情を表現することであるが、様々な側面からダンスについてアプローチする。前期にひきつづきさらに深める。

## 内容

- 1) ダンスとコミュニケーション
- 2) 鑑賞
- 3) 身体表現発表
- 4) 卒業研究を視野に入れ、参考文献、資料文献探索
- 5) 卒業研究の書き方
- 6) 各自テーマに沿った課題そして卒業研究へ

## 評価

出席状況(60%)、レポート提出(20%)、発表・討議(20%)等の総合評価とする

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)



科目名	演習		
担当教員名	北原 俊一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	2Lクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

自然の中で起こること - 太陽の運行、地球の環境、動物や植物の暮らし - などを対象にする学問を自然科学という。自然を観察したり、客観的な実験をしたりして一般的な“きまり”を見つけることが自然科学の主題になる。得られた結論は、多くの場合誰が再調査・再実験しても同じ結論となる。演習 では、自分のテーマの方向性を絞っていくと同時に、卒業研究の表現形態について考えよう。論文形式、ホームページ形式、2D または3D のデジタルメディア形式、画像またはビデオなど、自分に合った表現方法を見出し、それを習得していく。

#### 内容

まず自然に関して問題意識をもつことが重要である。考えられるメディア、例えば、科学雑誌、新聞テレビ(ビデオまたはDVD)、博物館・科学館等、ネットワーク上の情報などを通して、自分の興味・テーマを探そう。テーマを見つけることができれば、そのことに関してさらに文献を調べて詳しく学ぼう。

演習 では、前期で学習したことを継承しさらに発展させていく。まずは自分のテーマを絞っていこう。自分のテーマの方向性が決まったら、その表現方法を決めていこう。論文形式をとる場合は、まず文献を多く探す。Web を活用して論文を検索し、必要であれば取り寄せることを覚えよう。また、自分の論文の書き方をもう一度見直しておこう。必要に応じて論文作成のための文献も探すことになる。

ホームページ形式をとる場合は、その作成方法を身につける。必要な文献を探し、その作成方法を学習しよう。デジタルメディアでの表現を考える場合は、ソフトウェアの選択が重要である。Photoshop、SketchUpなど自分のテーマにあったソフトを選択し、その操作方法を習得しよう。その際に、自分でソフトの使い方を習得できる文献を探すことも大事なプロセスである。画像やビデオによる場合は、その編集方法、整理方法を確立しておく。

#### 評価

出席状況20%、提出物・プレゼン等40%、授業への参加度40%

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業中に指示する。

科目名	演習		
担当教員名	鈴木 弘貴		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3	ク ラ ス	2Mクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

担当教員の専門である、国際マスコミュニケーションやグローバル・ジャーナリズムについて、講義では詳しく説明できなかった部分を、ビデオ、インターネット、現地で蒐集した資料などを見せながら、より深く学んでいきます。その中で、各人が4年時の卒業研究につながる自分のテーマを見つけるよう、はなむけすることが狙いです。

#### 内容

夏合宿で発表してもらった、各人の卒業論文テーマ案に沿って、各自に研究テーマを与え、その成果を発表していきます。発表された内容をゼミ生みんなで討論することで、新たな視点を獲得し、研究内容が深化していくことを目指します。

#### 評価

ゼミでの議論(60%)および提出物(40%)

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

各人の関心に合わせて随時推薦します

科目名	卒業研究		
担当教員名	岡本 卓		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	4	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

3年次の演習を通して各ゼミ生が決めたテーマに基づいて、卒業論文・卒業研究の執筆・制作に専念する。

卒論や卒研は、料理に例えれば何よりも「素材が命」であるということである。集めた素材が、いかに新鮮でボリュームがあるかで、卒論は80%以上が決まる。後は、集めた素材をいかに料理して盛り付けるかである。

ゼミの進捗度やゼミ生の個人差にもよるが、テーマが決まれば、早ければ3年次から素材やデータ集めにとりかかる。次は独自の視点で分析し、他のゼミ生と議論して、足りないところや自分では気がつかなかったところを補っていく。

こうした作業を通して執筆(制作)を進め、夏休み明けには初稿を書き上げる。その後は、12月の「完成版」提出に向けて推敲、補筆を重ねていくことになる。

なお、ゼミ生が扱うテーマの選択については、「演習」のシラバスを参照すること。

#### 内容

取り組むテーマが決まった後は、素材やデータの収集、分析、議論に集中する。

こうした作業を経て、執筆・制作、議論、推敲を重ねて「完成版」に近づけていく。

#### 評価

テーマ設定の問題意識 = 10点 素材・データの質と量 = 40点 分析・視点の独自性 = 30点

論述 = 20点 計100点 60点以上が合格

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

随時、紹介する。

科目名	卒業研究		
担当教員名	角田 真二		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	4	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

ユニバーサルデザイン、ヒューマンインタフェースの分野について学ぶ。コンピュータなどの道具よりも道具を使う人間を中心に考え、人間に優しい道具のデザインを考える。よりわかりやすく言うと、年齢、性別、障害の有無などに関わらず、日常の全ての道具を、使う人間にとって使いやすく、わかりやすい、学びやすい道具のデザインを考える。さらに言えば、遊園地にいるかのように、人間が思わず使いたくなる楽しい道具のデザインにすることを狙う。単なる思い付きではなく、人間の心理過程の考察に基づき、道具のデザインについて考える。

#### 内容

##### 1. 研究

各自が選択した研究テーマについて考察を進め、論文や試作品を作成する。

世の中には、使いにくい道具、わかりにくい表現があふれている。自分の興味のある道具や表現などを一つ選択し、そのテーマについて、人間の心理過程の考察を行ない、道具のデザインについて考える。学習、思考といった高次認知機能だけでなく、視聴覚機能、運動機能、まで含めて総合的な考察を行なう。

例えば、高齢者が情報機器の使い方を学習する場合に生じる問題、がある。

##### 2. コミュニケーション

自分一人で自分の研究テーマについて考察を進めるだけでなく、他の学生の研究テーマの発表を聞いて、積極的にコメント、質問をして欲しい。それによって、他の学生の研究を促進させる、自分の研究を別の角度から考察するきっかけとして欲しい。

#### 評価

提出してもらった論文で評価する。100点満点で60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	卒業研究		
担当教員名	向後 朋美		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	4	ク ラ ス	10クラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

「演習Ⅰ・Ⅱ」の内容をふまえた上で、言語学の研究領域のうち、形態論、統語論、意味論、語用論を中心に、各自が興味を持った分野について、基本的な文献を読むことに加え、資料を集め、整理・分析するといった作業を通して、卒業論文の執筆を始めます。

#### 内容

研究内容にかかわる先行研究を丁寧に読み、まとめるという作業を行ないます。

#### 評価

下記の割合で点数化し、60%以上の得点を合格とします。

- (1) 先行研究のまとめのレジュメ： 70%
- (2) 平常点(毎授業での発表)： 20%

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

各自の卒業研究のテーマに合わせて授業内で指示します。

科目名	卒業研究		
担当教員名	佐藤 公正		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	4	ク ラ ス	1Dクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

このゼミでは、「情報を賢く、批判的に読み解く」能力を高めることをめざしています。卒業研究 ・ は、3年の演習の延長上にあり、その最終ゴールとして各自がテーマを選び、調査研究の成果を論文にまとめます。したがって、この一連のゼミ活動の内容をよく理解するためには演習 ・ のシラバスを同時に参照する必要があります。

#### 内容

1. 3年の演習 ・ に引き続いて、基本的にゼミ生の自主性が求められます。その興味関心にこたえて、個別的な指導を考えていきます。
2. 3年前期の演習 で身につけた日本のマスメディア状況と研究方法(情報収集・分類整理など)をもとに、演習 で資料・文献の収集や実証的な調査の下準備を終えて、3年12月初旬までに研究テーマを決定。具体的なテーマ例や分野は、演習の内容で詳述した通りで、活字メディアに限らず幅広くマスメディア全般について対象とします。
3. そのうえで迎える4年前期では、とくに当事者と「現場」に直接触れて材料を集めること、つまり実証的な研究を大事にして進めて行きます。
4. 原則として毎時間、各自の調査研究の進展状況を報告してもらい、相互の議論を通じて切磋琢磨していきます。  
10月末に第1次草稿を提出すること。

#### 評価

課題に対するレポート50点、ふだんの報告発表50点とし、総計60点以上を合格とします。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

それぞれの関心と研究テーマに応じて、必要な文献図書、資料などを紹介します。

科目名	卒業研究		
担当教員名	松永 修一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	4	ク ラ ス	1Eクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本語の変化やバリエーションなど言語研究を通しての専門的知識獲得と、社会に出てから必要とされる「自ら問題を発見し、解決する能力」を身につけることを目標とします。

卒業論文作成を行いながら自ら発信できるオリジナルコンテンツ(就活での自己PRの内容)の完成を目指します。Mind-Map思考法の発展、プレゼンテーションなどPCを用いた技能も併せて身につけ、言語化、可視化の訓練を行います。自らの変化を希望しそれに向かって努力する学生をサポートし育てます。体験重視型自己成長促進ゼミを目指します。ゴールは「人としての素敵さの獲得!」です。

#### 内容

- 第1回 自己分析と現状分析
- 第2回 論文作成技法
- 第3回 卒論プレゼンテーション1
- 第4回 就活サポート1
- 第5回 卒論プレゼンテーション2
- 第6回 ゼミ共同プロジェクトフィールドワーク計画1
- 第7回 ゼミ共同プロジェクトフィールドワーク計画2
- 第8回 調査データ分析法1
- 第9回 調査データ分析法2
- 第10回 卒論プレゼンテーション3
- 第11回 共同プロジェクト準備1
- 第12回 共同プロジェクト準備2
- 第13回 ライフビジョン・キャリアビジョン完成
- 第14回 PC論文作成サポート
- 第15回 フィードバック

#### 評価

獲得したポイントにより下記のように評価します。\* 毎回授業後48時間以内に まとめ&感想(質問含む) Self-evaluationクラスの「良い点」「気になる点」「ネクストステップ(具体的な修正アイデア)」をメールで送信。 日常出席まとめ感想メール...1~7ポイント(提出【基礎点】...1ポイント、まとめ&感想...1~3ポイント、Self-evaluation1~3ポイント) レポート・課題...3~8ポイント(6回以上[授業2回につき1つ程度]課す) 最終課題or試験...5~10ポイント 合計ポイントと評価...D<60 C<70 B<80 A (4回以上の欠席は受講放棄とみなします)

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業中に指示します。

科目名	卒業研究		
担当教員名	森田 勝之		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	4	ク ラ ス	1Fクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

三年生で養った力をさらに深く、自分が選んだテーマに沿って応用出来ることをめざす。

## 内容

テーマによって3つの時期に分けられる。

1. 導入
2. 脳波について
3. 脳波の種類と計測方法
4. 脳波の分析
5. データの組み入れ方
  
6. データグラフ処理
7. 論文への導入
8. データ処理と論文構成
9. 統計と活かし方
10. 組み立て方
  
11. データの解析
12. 解釈
13. 比較
14. 論文への組み入れ
15. まとめ

## 評価

随時提出の卒論資料 出席50%、レポート評価50%

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

プリント



科目名	卒業研究		
担当教員名	森 美栄		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	4	ク ラ ス	1Gクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

卒業研究では、演習で学んだことを発展させ、各自の選んだテーマに沿った卒業論文の指導を行います。

内容

卒研究に向けて、テーマの立て方、参考資料などの文献検索の方法、卒業論文の書き方などを指導します。卒業研究では、学生各自のテーマを設定し、それに添った形で発表をしてもらいます。毎週、それを添削します。積極的な授業参加が望まれます。

評価

平常点(50%)、レポート(50%)。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	卒業研究		
担当教員名	設楽 優子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	4	ク ラ ス	1Hクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

パーソナルコミュニケーション・音声コミュニケーションに関する自分なりの疑問・問題を発見し、仮説をたて、事実を観察したり実験を行ったりし、考察・結論付けを行い、筋道をつけて文章化する。情報の出典の明記には特に注意する。

## 内容

3年次演習Iでは、英語の小説の朗読とメディアミックス化された音声数種類をあつかい、日本語音声言語習得に関する論文も読んだ。演習IIでは、英語の絵本2点(音声付きとなしのもの)を読んだ。ゼミ研究ノートをチェック・指導できなかったなので、早く卒業研究ノートの充実に努めてほしい。これまでの設楽ゼミ生の卒論の例は次の通り。

- \* 日本の戯曲とその英訳の比較
- \* 80年代、90年代、2000年代のテレビドラマのせりふに現れる日本語の男女差を終助詞に注目して分析した論文
- \* 英語の同音異義語が聞き取り問題に与える影響を実験した論文

このような研究や、『ロミオとジュリエット』『オリバーツイスト』『キングコング』など、リメイク版のある映画作品を使って、新旧の発音が異なっているかどうかを調べるというのは卒論テーマの候補としていかがだろうか。

卒業研究の進捗状況のチェックは次のように行う。

- \* 4年次4月～6月： 問題の分析、過去の研究の分析、問題の修正、仮説の明確化、  
\_\_\_\_\_ 観察・実験の計画
- \* 4年次7月～10月： 観察・実験・取材
- \* 4年次11月～12月初旬： 文章化・添削

卒業論文執筆・就職活動・内定先研修・卒業旅行などの時間配分を計画的に行っていただきたい。他大学で卒業研究が選択制なところも多いため、就職内定企業が卒業論文執筆時期に研修を勧めることがあるので、執筆時間を確保することには特に注意していただきたい。

## 評価

卒業研究ノートの評価を50点、出席点を50点とし、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【参考書】「ことばの心的メカニズムB・D」、「サウンド処理演習」の教科書・推薦書等を参照のこと。

科目名	卒業研究		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年		ク ラ ス	11クラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

英米の小説、児童文学、英語研究、それぞれの研究テーマを3年次の演習から発展させ、卒業研究としてまとめます。

内容

毎週ゼミでそれぞれの論文の進捗状況を報告し、他学生と意見交換します。必要があれば個別指導を受け、論文の軌道修正をしながら卒業研究の完成を目指します。

評価

以下の割合で点数化し、60点以上を合格とします。

卒業研究の成果：80%、レポート提出、発表、出席点：20%

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

必要に応じてプリントを配布します。参考図書は随時、個別的に指示します。

科目名	卒業研究		
担当教員名	島村 豊博		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	4	ク ラ ス	1Jクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

卒業研究とは、言うまでもなく学士という学位の請求論文である。そのため、(1)先行文献、(2)研究主題、(3)独自の見解の三点を特に重視した授業を行う。また必要に応じて合宿を行い、卒論の遅れとその一層の充実を図る。

#### 内容

<ねらい>を達成するには、それらへの方法論を身につけなくてはならない。前期の においては全体的なものを扱い、は個別指導に移る。やり方としては、(1)主題(研究課題)のあり方、(2)方法論の是非、(3)独自性の発見、創造ということであるが、過去に創作作品もあったので、例外的にこれを扱うこともある。

要は、レベルをどの様に高めるか、ということである。

#### 評価

本人の意欲と、その成果如何による。但し、止むを得ない場合を除き、出席50点、卒論50点で卒論ゼミに出席しないものはこれを評価しない。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

それぞれの卒論テーマに応じた先行文献、論文等の指示表現の方法に適したものをその都度指示する。

科目名	卒業研究		
担当教員名	飯田 路佳		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	4	ク ラ ス	1Kクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

身体表現ゼミであるが、ダンスにとらわれず身体活動を通して人間のあらゆる角度から幅広く表現することの意味、実践することの意義に焦点をあて、各人が興味を持って調べ、4年間の集大成として卒業研究をまとめる。

#### 内容

自分の興味のあることを楽しみながら調べ、知識を深めていくことが重要である。

1. 研究テーマの設定
2. 研究計画作成(卒業研究提出日までの内容計画、中間発表、研究発表)
3. テーマに応じ、文献等を活用し取り組む
4. 卒業研究発表(全て仮題) (ゼミ関係2・3年生に呼びかける)

着物について

TPO演技? 演じる先にみえるもの?

日本国内の劇団データベース

血液型と性格に関する研究? 血液型本から見えてくるもの?

宝塚歌劇に関する研究 宝塚歌劇「スカーレット・ピンパーネル」

アイドルに対するファンの心理行動に関する調査? ジャニーズ 彼女達がハマる理由?

高校野球の審判について

異性に好かれる男性の特徴とは

デジタルカメラの現状? コンパクトデジタルカメラからデジタル一眼レフへの変遷?

チアダンスについて? 高校生チームの分析?

振り付けを覚えるということとは?? 振り付けの実験から?

各種データから体のリズムを知る

カラーイメージと効果について

#### 評価

卒業研究・・・取り組む姿勢とその成果が発表や論文に現れていることが評価につながる。常に担当者やゼミの仲間達と連絡を取り合い、研究経過を報告しているかどうか(40%)、研究内容及び提出(60%)

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	卒業研究		
担当教員名	北原 俊一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	4	ク ラ ス	1Lクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

卒業論文の執筆に向けて各自学習を進める。学期中に一度は途中経過の発表を行い、ゼミの中での討論を通して理解を深める。卒業論文の執筆についてはその指導を行う。

#### 内容

3年次の「演習」により決めたテーマにつき、文献収集、まとめと発表を通してその内容を深めていく。ゼミナールには積極的に参加し、他の人の発表を理解し、自分の考えをまとめて意見を言うことができる力も養って欲しい。卒業論文執筆にあたっては、推敲する時間を考え、余裕を持って計画的に行っていくことが望まれる。

#### 評価

出席状況20%、提出物・プレゼン等40%、授業への参加度40%

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	卒業研究		
担当教員名	鈴木 弘貴		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	4	ク ラ ス	1Mクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

卒業研究を完成させる中で、自分の企画力、計画性、行動力、構成力、克己心などを向上させます。

内容

各人の研究成果の進捗状況を報告し、指導を受けます。

評価

プレゼン内容( 70% )および討論内容( 30% )

教科書・推薦書( 著者名・書名・出版社名 )

科目名	卒業研究		
担当教員名	岡本 卓		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	4	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

3年次の演習を通して各ゼミ生が決めたテーマに基づいて、卒業論文・卒業研究の執筆・制作に専念する。

卒論や卒研は、料理に例えれば何よりも「素材が命」であるということである。集めた素材が、いかに新鮮でボリュームがあるかで、卒論は80%以上が決まる。後は、集めた素材をいかに料理して盛り付けるかである。

ゼミの進捗度やゼミ生の個人差にもよるが、テーマが決まれば、早ければ3年次から素材やデータ集めにとりかかる。次は独自の視点で分析し、他のゼミ生と議論して、足りないところや自分では気がつかなかったところを補っていく。

こうした作業を通して執筆(制作)を進め、夏休み明けには初稿を書き上げる。その後は、12月の「完成版」提出に向けて推敲、補筆を重ねていくことになる。

なお、ゼミ生が扱うテーマの選択については、「演習」のシラバスを参照すること。

#### 内容

取り組むテーマが決まった後は、素材やデータの収集、分析、議論に集中する。

こうした作業を経て、執筆・制作、議論、推敲を重ねて「完成版」に近づけていく。

#### 評価

テーマ設定の問題意識 = 10点 素材・データの質と量 = 40点 分析・視点の独自性 = 30点

論述 = 20点 計100点 60点以上が合格

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

随時、紹介する。



科目名	卒業研究		
担当教員名	角田 真二		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	4	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

ユニバーサルデザイン、ヒューマンインタフェースの分野について学ぶ。コンピュータなどの道具よりも道具を使う人間を中心に考え、人間に優しい道具のデザインを考える。よりわかりやすく言うと、年齢、性別、障害の有無などに関わらず、日常の全ての道具を、使う人間にとって使いやすく、わかりやすい、学びやすい道具のデザインを考える。さらに言えば、遊園地にいるかのように、人間が思わず使いたくなる楽しい道具のデザインにすることを狙う。単なる思い付きではなく、人間の心理過程の考察に基づき、道具のデザインについて考える。

#### 内容

##### 1. 研究

各自が選択した研究テーマについて考察を進め、論文や試作品を作成する。

世の中には、使いにくい道具、わかりにくい表現があふれている。自分の興味のある道具や表現などを一つ選択し、そのテーマについて、人間の心理過程の考察を行ない、道具のデザインについて考える。学習、思考といった高次認知機能だけでなく、視聴覚機能、運動機能、まで含めて総合的な考察を行なう。

例えば、高齢者が情報機器の使い方を学習する場合に生じる問題、がある。

##### 2. コミュニケーション

自分一人で自分の研究テーマについて考察を進めるだけでなく、他の学生の研究テーマの発表を聞いて、積極的にコメント、質問をして欲しい。それによって、他の学生の研究を促進させる、自分の研究を別の角度から考察するきっかけとして欲しい。

#### 評価

提出してもらった論文で評価する。100点満点で60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	卒業研究		
担当教員名	向後 朋美		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	4	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

「演習Ⅰ・Ⅱ」の内容をふまえた上で、言語学の研究領域のうち、形態論、統語論、意味論、語用論を中心に、各自が興味を持った分野について、基本的な文献を読むことに加え、資料を集め、整理・分析するといった作業を通して、卒業論文を完成させます。

#### 内容

先行研究のまとめをふまえ、問題点、疑問点などを発展させ、論文を仕上げていきます。。

#### 評価

下記の割合で点数化し、60%以上の得点を合格とします。

- (1) 卒業論文： 80%
- (2) 平常点(毎授業での発表)： 20%

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

各自の卒業研究のテーマに合わせて授業内で指示します。

科目名	卒業研究		
担当教員名	佐藤 公正		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	4	ク ラ ス	2Dクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

ゼミの最終段階です。演習 ・ との連続した研究活動として、この4年の卒業研究 ・ があり、卒業研究 ではそれまでの活動の成果を論文に書き上げることになります。このゼミ活動のありかたとねらいを段階を追って理解するためには、3年の演習からのシラバスを参照してください。

#### 内容

1. このゼミでは、演習から引き続き履修生の自主的な活動を求め、その興味関心にこたえて、運営方法や内容を組み立てます。
  2. 3年の12月初旬までに卒業研究のテーマを決めたあと、4年前期までに広く資料・文献の収集や実証的な調査をもとに研究の全体像が見え始めてきます。
  3. それぞれのテーマに応じて個別指導に重点が置かれます。同時に、毎回のゼミではそれぞれの間報告が求められます。
- 10月末日に第1次草稿、11月20日までに第2次草稿を提出すること。論文の決定稿提出締め切り日は年度によって異なりますが、おおむね12月初旬です。

#### 評価

卒業研究の内容80点、ゼミ報告発表20点とし、総計60点以上を合格とします。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

それぞれの関心テーマと議論内容に応じて随時、必要な文献図書、資料などを紹介します。

科目名	卒業研究		
担当教員名	松永 修一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	4	ク ラ ス	2Eクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本語の変化やバリエーションなど言語研究を通しての専門的知識獲得と、社会に出てから必要とされる「自ら問題を発見し、解決する能力」を身につけることを目標とします。

卒業論文作成を行いながら自ら発信できるオリジナルコンテンツ(就活での自己PRの内容)の完成を目指します。Mind-Map思考法の発展、プレゼンテーションなどPCを用いた技能も併せて身につけ、言語化、可視化の訓練を行います。自らの変化を希望しそれに向かって努力する学生をサポートし育てます。体験重視型自己成長促進ゼミを目指します。ゴールは「人としての素敵さの獲得!」です。

#### 内容

- 第1回 自己分析と現状分析
- 第2回 論文作成技法
- 第3回 卒論プレゼンテーション1
- 第4回 卒論プレゼンテーション2
- 第5回 卒論プレゼンテーション3
- 第6回 ゼミ共同プロジェクトフィールドワーク計画1
- 第7回 ゼミ共同プロジェクトフィールドワーク計画2
- 第8回 調査データ分析法1
- 第9回 調査データ分析法2
- 第10回 卒論プレゼンテーション4
- 第11回 共同プロジェクト準備1
- 第12回 共同プロジェクト準備2
- 第13回 ライフビジョン・キャリアビジョン完成
- 第14回 PC論文作成サポート
- 第15回 フィードバック

#### 評価

獲得したポイントにより下記のように評価します。\* 毎回授業後48時間以内に まとめ&感想(質問含む) Self-evaluationクラスの「良い点」「気になる点」「ネクストステップ(具体的な修正アイデア)」をメールで送信。 日常出席まとめ感想メール...1~7ポイント(提出【基礎点】...1ポイント、まとめ&感想...1~3ポイント、Self-evaluation1~3ポイント) レポート・課題...3~8ポイント(6回以上[授業2回につき1つ程度]課す) 卒業論文...5~10ポイント 合計ポイントと評価...D<60 C<70 B<80 A(4回以上の欠席は受講放棄とみなします)

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業中に指示します。

科目名	卒業研究		
担当教員名	森田 勝之		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	4	ク ラ ス	2Fクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

前期で絞り込んだテーマにそって、データを解析し、論文を仕上げていきます。論文を提出後、各自が発表を行います。研究会で発表することで、研究内容がさらに深くなると思われます。

## 内容

後期はプレゼンテーションが入ります

1. 論文の構成
2. データ処理：
3. 解析
4. 推敲
5. 構築
6. 仕上げ
7. 発表

## 評価

出席60%、レポート評価40%

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	卒業研究		
担当教員名	向後 朋美、森 美栄		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	4	ク ラ ス	2Gクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

毎週、卒論の進捗状況を発表し、問題点を解決します。

内容

毎週、論文を添削し、論文を期限内に仕上げていきます。

評価

教科書・推薦書( 著者名・書名・出版社名 )

科目名	卒業研究		
担当教員名	設楽 優子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	4	ク ラ ス	2Hクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

パーソナルコミュニケーション・音声コミュニケーションに関する自分なりの疑問・問題を発見し、仮説をたて、事実を観察したり実験を行ったりし、考察・結論付けを行い、筋道をつけて文章化する。情報の出典の明記には特に注意する。

## 内容

これまでの設楽ゼミ生の卒論の例は次の通り。

- \* 日本の戯曲とその英訳の比較
- \* 80年代、90年代、2000年代のテレビドラマのせりふに現れる日本語の男女差を終助詞に注目して分析した論文
- \* 英語の同音異義語が聞き取り問題に与える影響を実験した論文

このような研究や、『ロミオとジュリエット』『オリバーツイスト』『キングコング』など、リメイク版のある映画作品を使って、新旧の発音が異なっているかどうかを調べるというのは卒論テーマの候補としていかがだろうか。

卒業論文の進捗状況のチェックは次のように行う。

- \* 4年次7月～10月： 観察・実験・取材
- \* 4年次11月～12月初旬： 文章化・添削

卒業論文執筆・就職活動・内定先研修・卒業旅行などの時間配分を計画的に行っていただきたい。他大学で卒業研究が選択制なところも多いため、就職内定企業が卒業論文執筆時期に研修を勧めることがあるので、執筆時間を確保することには特に注意していただきたい。

## 評価

卒業研究論文(または作品)の評価を50点、出席点を50点とし、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【参考書】「ことばの心的メカニズムB・D」、「サウンド処理演習」の教科書・推薦書等を参照のこと。

科目名	卒業研究		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年		ク ラ ス	21クラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

英米の小説、児童文学、英語研究、それぞれの研究テーマを3年次の演習から発展させ、卒業研究としてまとめます。

内容

毎週ゼミでそれぞれの論文の進捗状況を報告し、他学生と意見交換します。必要があれば個別指導を受け、論文の軌道修正をしながら卒業研究の完成を目指します。

評価

以下の割合で点数化し、60点以上を合格とします。

卒業研究の成果：80%、レポート提出、発表、出席点：20%

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

必要に応じてプリントを配布します。参考図書は随時、個別的に指示します。



科目名	卒業研究		
担当教員名	飯田 路佳		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	4	ク ラ ス	2Kクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

身体表現ゼミであるが、ダンスにとらわれず身体活動を通して人間のあらゆる角度から幅広く表現することの意味、実践することの意義に焦点をあて、各人が興味を持って調べ、4年間の集大成として卒業研究をまとめる。

## 内容

自分の興味のあることを楽しみながら調べ、知識を深めていくことが重要である。

1. 研究テーマの設定
2. 研究計画作成(卒業研究提出日までの内容計画、中間発表、研究発表)
3. テーマに応じ、文献等を活用し取り組む
4. 卒業研究発表(全て仮題) (ゼミ関係2・3年生に呼びかける)

着物について

TPO演技? 演じる先にみえるもの?

日本国内の劇団データベース

血液型と性格に関する研究? 血液型本から見えてくるもの?

宝塚歌劇に関する研究 宝塚歌劇「スカーレット・ピンパーネル」

アイドルに対するファンの心理行動に関する調査? ジャニーズ 彼女達がハマる理由?

高校野球の審判について

異性に好かれる男性の特徴とは

デジタルカメラの現状? コンパクトデジタルカメラからデジタル一眼レフへの変遷?

チアダンスについて? 高校生チームの分析?

振り付けを覚えるということとは?? 振り付けの実験から?

各種データから体のリズムを知る

カラーイメージと効果について

## 評価

卒業研究・・・取り組む姿勢とその成果が発表や論文に現れていることが評価につながる。常に担当者やゼミの仲間達と連絡を取り合い、研究経過を報告しているかどうか(40%)、研究内容及び提出(60%)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	卒業研究		
担当教員名	北原 俊一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	4	ク ラ ス	2Lクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

卒業論文の執筆に向けて各自学習を進める。学期中に一度は途中経過の発表を行い、ゼミの中での討論を通して理解を深める。卒業論文の執筆についてはその指導を行う。

内容

3年次の「演習」により決めたテーマにつき、文献収集、まとめと発表を通してその内容を深めていく。ゼミナールには積極的に参加し、他の人の発表を理解し、自分の考えをまとめて意見を言うことができる力も養って欲しい。卒業論文執筆にあたっては、推敲する時間を考え、余裕を持って計画的に行っていくことが望まれる。

評価

出席状況20%、提出物・プレゼン等40%、授業への参加度40%

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	卒業研究		
担当教員名	鈴木 弘貴		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	4	ク ラ ス	2Mクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

卒業研究を完成させる中で、自分の企画力、計画性、行動力、構成力、克己心などを向上させます。

内容

各人の研究成果の進捗状況を報告し、指導を受けます。

評価

卒業論文( 100% )

教科書・推薦書( 著者名・書名・出版社名 )

科目名	キャリアサポート		
担当教員名	岡本 卓		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	3,4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

マスメディア界は情報提供のいっそうのスピードアップを求められるとともに、情報の濃密度や内容の信頼性を問われ、メディアの選別時代に入ったと言える。われわれ現代人はそうした超情報化社会を生き抜くためにも、メディアごとのリテラシー(読解力)を備えなければならない。

メディアごとのリテラシーを身に付けていくひとつの道は、まずは新聞、放送、出版、インターネットといった各業界が今日の社会でどのように機能しているかを知ることから始まる。また、マスメディア界は人的資源が財産であり、いかに可能性を秘めた人材をそろえているかが業界での勝ち負け、生き残りを左右する。この意味でマスメディア界がどのような人材を求めているのか、その内部事情を知ることが不可欠である。

授業では、テレビ界出身の本学教員とマスコミへの就職最前線事情に詳しい専門家を中心にして、激変するマスメディア界の現状と将来に関する最新情報を提供する。

#### 内容

1. ガイダンス : マスコミで働くということはどういうことか
2. 現代マスコミ事情: 活字・放送・ネットの業界再編の動き
3. ジャーナリズム : ジャーナリズムの責任/ジャーナリストの仕事・役割
4. 放送局・広告業界の現状と展望
5. 報道(新聞・出版)の変遷
6. 雑誌トレンドファッション
7. 情報タウン誌メディアの興亡
8. 書籍文藝の現況と新たな挑戦
9. コミックアニメージュの変貌
10. 女性誌ヤングファッション考
11. 自己分析と自己表現
12. 企画の立て方・考え方
13. 女性誌市場マーケティング論
14. エントリーシートの現実と書き方
15. 面接試験とその対策

#### 評価

小テストまたはレポート(随時) = 50点 出席率 = 50点 計100点 60点以上が合格

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業時に紹介する。

注意: 受講希望者多数の場合は人数制限を行うことがある。

科目名	映像女性論		
担当教員名	松本 侑壬子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	1,2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

映画は楽しい娯楽であると同時に、巨額の制作費をかけたイメージ商品であり、その時代や社会の欲求の反映です。また人の心に直接に訴えかける強力なメディアであり、高度な総合芸術でもあります。映画を手がかりに社会と人間関係のあり方をジェンダーの視点で考えてみましょう。

19世紀末の映画の誕生から1世紀余の歴史の中で、女性の登場しない映画はごく稀(まれ)です。スクリーン上のヒロインは長い間理想の女性イメージとして描かれ、それは時代とともに変わってきたのです。改めて“作られた女の理想像”を見直し、時代背景との関係を考察します。

前期(1)は、ヒロイン像の変遷。映画史とからめながらスクリーンに描かれる女性像の変遷を中心に講義します。基本的に毎回実際の作品を手がかりに、映画をジェンダーの視点から主体的に見る基礎的な力(メディア・リテラシー)をつけることを目指します。

この授業は、学年、学部・学科を問わず広く受講可能です。

#### 内容

1. 映画の誕生とその時代 “動く画像”への挑戦、エジソンの発明、リュミエール兄弟のシネマトグラフへ。
2. 世界初の女性監督は23歳のパリジェンヌだった 映画黎明期の女性映画人たち。
3. ヒロイン像の変遷 ハリウッドの成り立ちと“夢の工場”で形成される“女の理想像”
4. ヒロイン像の変遷 “アメリカ映画の父”とグリフィス・ガールズ
5. ヒロイン像の変遷 最初の女優たち 対照的なハリウッド映画と日本映画
6. ヒロイン像の変遷 ヒロイン3条件は永遠か?
7. ヒロイン像の変遷 サイレントからトーキーへ 変わるスターの条件
8. ヒロイン像の変遷 “女らしさ”は作られる セックス・シンボルの系譜。
9. アニメのヒロインたち 白雪姫からポニョまで
10. CG時代の女性像は? -強く、賢く、美しいアクションウーマンたち
11. 女性解放運動と新女性映画
12. アカデミー賞 歴史と仕組み、受賞作品をジェンダーの視点で検討する。

また、映画評論家である本講師による最新映画情報など新鮮な映画の話題も随時取り上げる。

#### 評価

出席40点およびレポート、ペーパーテスト60点により評価を行ない、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】特になし。必要に応じて適切なものを紹介、資料配布する。

【推薦書】井上一馬著『アメリカ映画の大教科書』(上・下)(新潮社) 778.253/1/1-2

北野圭介著『ハリウッド100年史講義』(平凡社) 778.253/K

松本侑壬子著『シネマ女性学』(論創社) 778.04/M

エマニュエル・レヴィ著、浜口幸一訳『アカデミー賞全史』（文芸春秋）778.253/L

科目名	映像女性論		
担当教員名	松本 侑壬子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	1,2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

後期は、できれば前期の( )の授業を受けておいた方がより分かりやすいですが、この授業だけでも理解はできるように講義を進めます。

映画を手がかりに社会と人間関係のあり方をジェンダーの視点で考えること、実際の作品を手がかりに映画を主体的に見る基礎的な力(メディア・リテラシー)をつけるよう目指すのも前期と同様です。

後期は、比較的新しい作品を素材に“女らしさ”“男らしさ”の「性の境界線」を超える主人公たちに焦点を当ててジェンダーフリーな生き方とは、を考えます。

また、世界的に女性の映画産業界への進出が著しい中で、映画の作り手の中心となる女性監督たちについて学びます。とりわけ、これまで見過ごされ勝ちだった日本の女性監督たちの活躍に注目し、その人と作品を通して映画を身近なものとして理解することを目指します。時には現役の女性監督を招き、生きた映画製作の話をお聞きしましょう。

この授業は、学年配当1・2年となっていますが、実際には学年、学部・学科あるいはコースを問わず広く受講可能です。また、社会人の方々にも開講しています。

#### 内容

1. 映画におけるジェンダー問題とは何か “女性映画”というけれど。
2. “性の境界線”と伝統的ラブロマンス。
3. “性の越境者”たち “妊婦”になった(!)元ターミネーター
4. 男は喜劇、女は悲劇 異装の人々とその運命
5. 「性は変わっても、私は私」 時空を超えるオルランド
6. 女性自身で描く女性像 世界の女性監督たちとその仕事
7. 日本の女性監督 第1号映画への夢と現実。諦めない女たち。
8. マルチメディア時代の映画と女性 課題と展望

#### 評価

出席40点、レポート、ペーパーテストで60点により評価し、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】特になし。必要に応じて適切なものを紹介、資料配布する。

【推薦書】吉田・林・松本ら共著『女性監督映画の全貌』（パド・ウィメンズ・オフィス）R778.2/J

佐藤忠男著『日本映画史』（岩波書店）（ - ）778.21/S/1-4

松本侑壬子著『映画をつくった女たち 女性監督の100年』（シネマハウス）778.28/M

羽田澄子著『映画と私』（晶文社）778.21/H

浜野佐知著『女が映画を作るとき』（平凡社）778.04/



科目名	児童文学論 B		
担当教員名	武田 比呂男		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

児童文学とよばれる作品は、昔話などの口承文芸と、歴史的にも、また作品の構造としても深い関わりを持っています。この授業では、まず口承文芸の話形と機能について理解したうえで、それが児童文学作品とどう関わるかについて考察し、児童文学とは何かをあわせて考えたいと思います。関連した昔話などの口承文芸や児童文学作品、参考文献を授業時間以外に読む意欲を持って受講してください。

#### 内容

- . 児童文学と伝承文学  
（ 児童文学の定義 / お伽噺・童話・昔話 / 柳田国男の昔話研究 ）
- . 伝承の構造と話型  
（ 異界訪問譚 / 異類婚姻譚 / 継子いじめ譚 / など ）
- . 異形のモノと子ども  
（ 鬼 / 妖怪 / 怪獣 / 動物 / など ）
- . 児童文学と民俗的想像力  
（ 近代児童文学・アニメの分析 / 児童文学の機能 ）

#### 評価

レポート50%、平常点（授業時に行う小レポートや課題など）30%、出席点20%の配分で評価します。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】テキストは開講時に指示します。

科目名	児童文学論C		
担当教員名	藤野 紀男		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-マスメディアコース		
学 年	1,2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	マスメディアコース		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

英語を勉強する目的は英語コミュニケーション能力の習得にありますが、そのためには英語の背景文化を理解することを欠かせません。そして、この背景文化の中では聖書、シェークスピア、マザーグースが三大基本要素だと言われているのです。

そこでこの講座ではマザーグースに関するさまざまな面を取り上げながら、どうしてマザーグースが英米人にとってそんなに重要な存在となっているのかを理解してもらうことを目標とします。

#### 内容

実のところマザーグースは英米人の言語感覚と生活感覚の根幹のところを押さえているのです。その上、間口は広いし、奥行きは深いし、さらに千変万化の様相を呈しているのですが、以下のような項目を通じて少しでもその実体に迫りたいと考えています。

・マザーグースとは何か？

1．由来、2．定義・訳、

・大変に多様な世界

1．数、2．種類、3．歴史、4．変遷、

・日常に生きている

1．大人と子供の共有性、2．日常習慣の中で、3．日常英語の中で、

・イラストが重要

1．イラストの意義、2．イラストの変遷、3．イラストの問題点、

・日本におけるマザーグース

1．翻訳の難しさ、2．紹介の歴史、3．誤訳・悪訳がいっぱい、

・イギリス人とマザーグース

1．王室から庶民まで、2．イギリス史とマザーグース、3．ふるさと訪ねて

資料も配布し、テープやビデオも使用しながら授業を進めていきます。

#### 評価

レポートを70点、出席点を30点の合計100点で評価し、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】『図説 マザーグース』(藤野紀男、河出書房新社) 1800円(+税)